

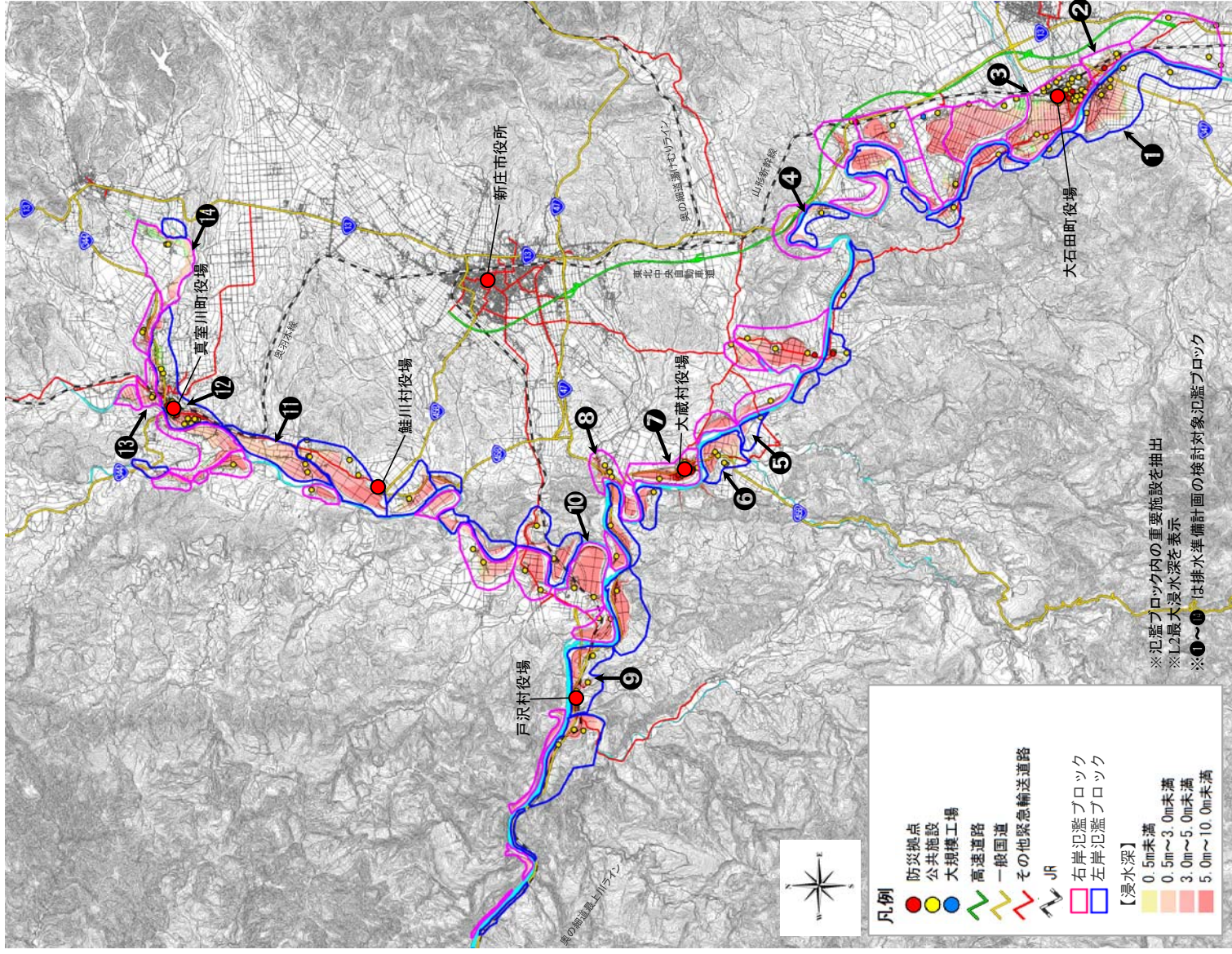
## 最上川中流 排水作業準備計画書(案)

- ・ブロック① 大石田町 横山地区 (MOL-1)
- ・ブロック② 大石田町 今宿地区 (MOR-2)
- ・ブロック③ 大石田町 大石田、豊田地区 (MOR-3)
- ・ブロック④ 尾花沢市 毒沢地区 (MOL-8)
- ・ブロック⑤ 舟形町 堀内地区 (MOL-10)
- ・ブロック⑥ 大蔵村 白須賀地区 (MOL-13)
- ・ブロック⑦ 大蔵村 清水地区 (MOR-13)
- ・ブロック⑧ 新庄市 鶴の子地区 (MOR-20)
- ・ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区 (MOL-17)
- ・ブロック⑩ 戸沢村 名高地区 (SR-7)
- ・ブロック⑪ 鮭川村 庭月地区 (SL-1)
- ・ブロック⑫ 真室川町 庭月、真室川、新田平岡地区 (KL-MAL-1)
- ・ブロック⑬ 真室川町 安久土地区 (KR-3)
- ・ブロック⑭ 金山町 凝山地区 (KR-1)

国土交通省 東北地方整備局  
新庄河川事務所

# 対象ブロック

- ・ブロック① 大石田町 横山地区 (MOL-1)
- ・ブロック② 大石田町 今宿地区 (MOR-2)
- ・ブロック③ 大石田町 大石田、豊田地区 (MOR-3)
- ・ブロック④ 尾花沢市 毒沢地区 (MOL-8)
- ・ブロック⑤ 舟形町 堀内地区 (MOL-10)
- ・ブロック⑥ 大蔵村 白須賀地区 (MOL-13)
- ・ブロック⑦ 大蔵村 清水地区 (MOR-13)
- ・ブロック⑧ 新庄市 鶴の子地区 (MOR-20)
- ・ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区 (MOL-17)
- ・ブロック⑩ 戸沢村 名高地区 (SR-7)
- ・ブロック⑪ 鮭川村 庭月地区 (SL-1)
- ・ブロック⑫ 真室川町 庭月、真室川、新田平岡地区 (KL-MAL-1)
- ・ブロック⑬ 真室川町 安久土地区 (KR-3)
- ・ブロック⑭ 金山町 凝山地区 (KR-1)



位置図

# 排水箇所概要(1/2)

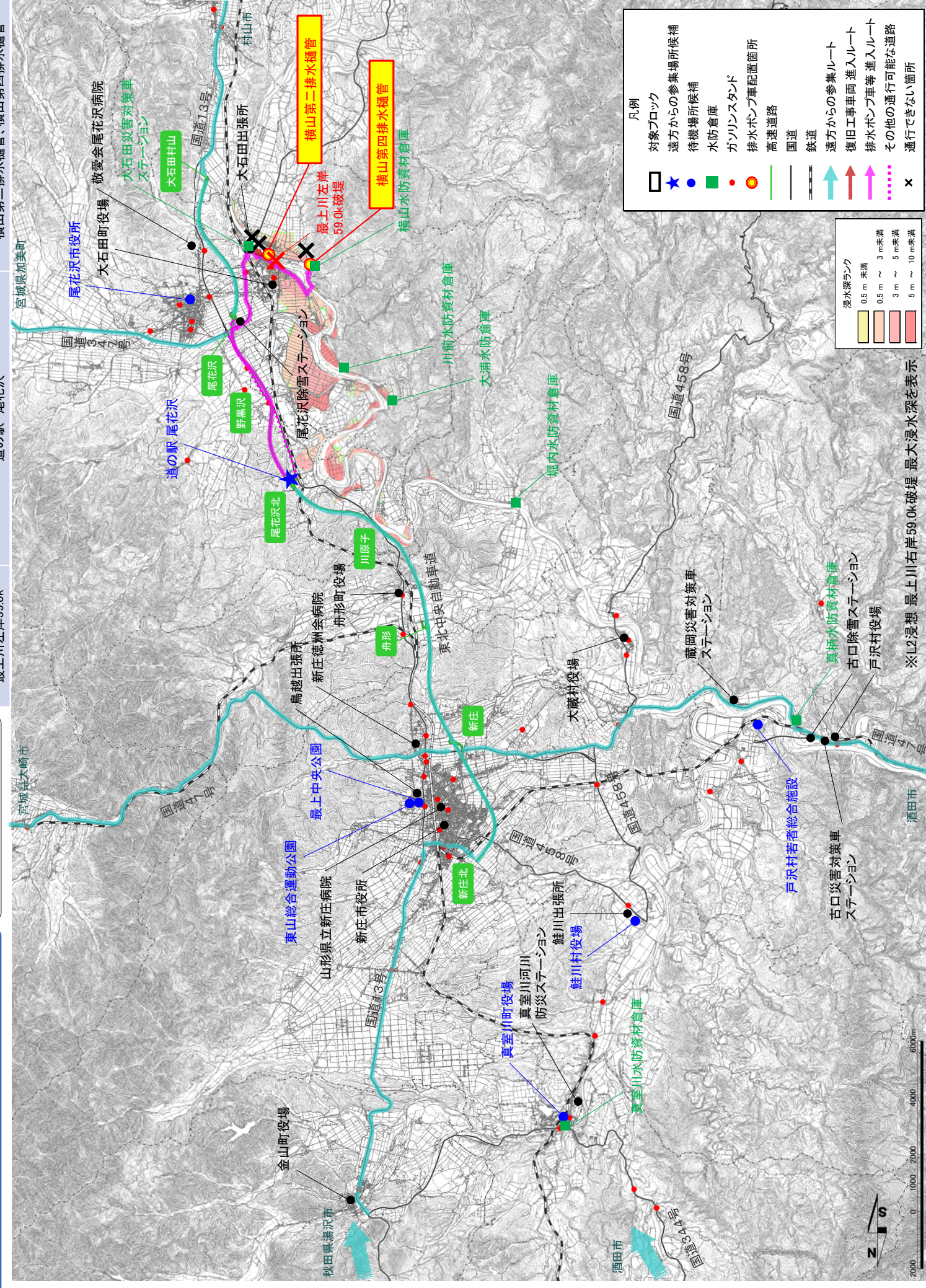
対象地区	排水施設		現地調査による確認結果				排水作業実施時の 注意事項	
	判定	現地状況	[2]		[3]			
			天端幅	現地状況		下流側		上流側
ブロック① 大石田町 横山地区 MOL-1	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	約5m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅が十分広い ・ 樋管付近には広いスペースがある	○	○	・ 下流側の黒滝橋からアクセス可能 ・ 上流側は大石田大橋から下流側が破堤していない場合に限り大石田大橋からアクセス可能	-
	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	約4m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・ 排水施設付近は特殊堤となっている	○	×	・ 下流側の大石田大橋からアクセス可能 ・ 上流側は虹の大橋の堤防下が低く、アクセス不可 ・ 下流側は浸水するためアクセス不可 ・ 鉄道下は狭く、浸水の恐れがありアクセス不可 ・ 上流側の国道347号からアクセス可能(ただし、破堤地点によっては不可となる)	
ブロック② 大石田町 今宿地区 MOR-2	○	・ 釜場に適した水路あり	約3m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は5m程度 ・ 樋管付近にスペースあり(望月橋等)	○	○	・ 下流側は浸水するためアクセス不可 ・ 上流側は虹の大橋から堤防先端が不通であり、堤内は浸水するためアクセス不可	望月橋等のスペースを活用
	○	・ 釜場に適した水路あり	約3m	・ 天端が未舗装であり、幅が3mと狭い ・ 最上川沿いに広いスペースあり	×	○	・ 下流側は浸水するためアクセス不可 ・ 上流側は虹の大橋から堤防先端が不通であり、堤内は浸水するためアクセス不可	
ブロック③ 大石田町 豊田地区 MOR-3	○	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	約4.5m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4.5m程度 ・ 亀井田橋へはアクセス可能であり、作業スペースや折り返し場所として活用可能	○	×	・ 下流側は丹生川左岸堤防を通りアクセス可能(ただし、破堤地点によっては不可となる) ・ 上流側からは浸水するためアクセス不可	-
	○	・ 排水ピット、釜場に適した水路あり	約5.5m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は5.5m程度 ・ 小段にも作業スペースあり	○	○	・ 下流側は対岸の堤内の浸水が解消した場合、または大石田大橋より上流が破堤しない場合に黒滝橋からアクセス可能 ・ 上流側は排水施設より上流側にて破堤しない場合にアクセス可能	
ブロック④ 尾花沢市 壽求地区 MOR-8	○	・ 釜場あり ・ 柵が設置されている ・ 氾濫流が集まりやすい	約3m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度	×	○	・ 下流側は堤内浸水するためアクセス不可 ・ 上流側は県道187号を通り進入可能	-
	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	約4m (舗装幅3m)	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・ 舗装幅は3m程度	○	×	・ 下流側は進入路入口付近が未舗装(車止めあり)だが県道36号堀内橋からアクセス可能 ・ 上流側は県道30号から堤防天馬への進入路において浸水の恐れあり	
ブロック⑤ 舟形町 堀内地区 MOL-10	○	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	約4.4m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・ 排水施設付近は特殊堤となっている	○	×	・ 下流側は進入路入口付近が未舗装(車止めあり)だが県道36号堀内橋からアクセス可能 ・ 上流側は県道30号から堤防天馬への進入路において浸水の恐れあり	進入路入口付近の未舗装箇所・ 車止めに注意
	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	約4.5m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4.5m程度	○	○	・ 下流側は大蔵橋からアクセス可能 ・ 国道458号からもアクセス可能となる見込み(工事中) ・ 上流側からもアクセス可能(鍋山川堤防より) ※ただし、破堤地点によっては不可となる	
ブロック⑥ 大蔵村 白須賀地区 MOL-13	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	約4.8m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4.8m程度	○	○	・ 下流側は国道458号からアクセス可能 ・ 上流側は大蔵橋からアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	-
	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	約4m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度	○	○	・ 下流側は国道458号からアクセス可能 ・ 本合海排水橋より下流側47号において浸水の恐れあり ※ただし、破堤地点によっては不可となる	
ブロック⑦ 新庄市 鶴の子地区 MOR-20	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 釜場に適した水路あり ・ ガードレールなどあり	約7m (国道47号)	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・ 樋管付近には広いスペースがある	○	×	・ 下流側は国道47号より下流側47号において浸水の恐れあり ・ 本合海排水橋より下流側47号を通りアクセス可能 ・ 新田川上流より下流側47号を通りアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	樋管付近のスペースを活用
	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	約7m (国道47号)	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・ 樋管付近には広いスペースがある	×	○	・ 下流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ・ 上流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	
ブロック⑧ 戸沢村 真柄、古口地区 MOL-17	○	・ 釜場に適した水路あり ・ 水路の一部に柵が設置されている	約4m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度	×	○	・ 下流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ・ 上流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	特殊堤のため、ホース設置に工 夫が必要
	○	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	約3.5m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は3.5m程度	○	○	・ 下流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ・ 上流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	
真柄第二排水樋管	○	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	約3.5m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は3.5m程度	○	○	・ 下流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ・ 上流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	-
	○	・ 釜場に適した水路はないが、 ・ 氾濫流が集まりやすいため、 ・ 浸水深が1.2m以上ある場合には適地	約3.5m	・ 排水施設箇所の堤防天端幅は3.5m程度	○	○	・ 下流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ・ 上流側は堤内浸水の浸水が解消した場合にアクセス可能 ※ただし、破堤地点によっては不可となる	

# 排水箇所概要(2/2)

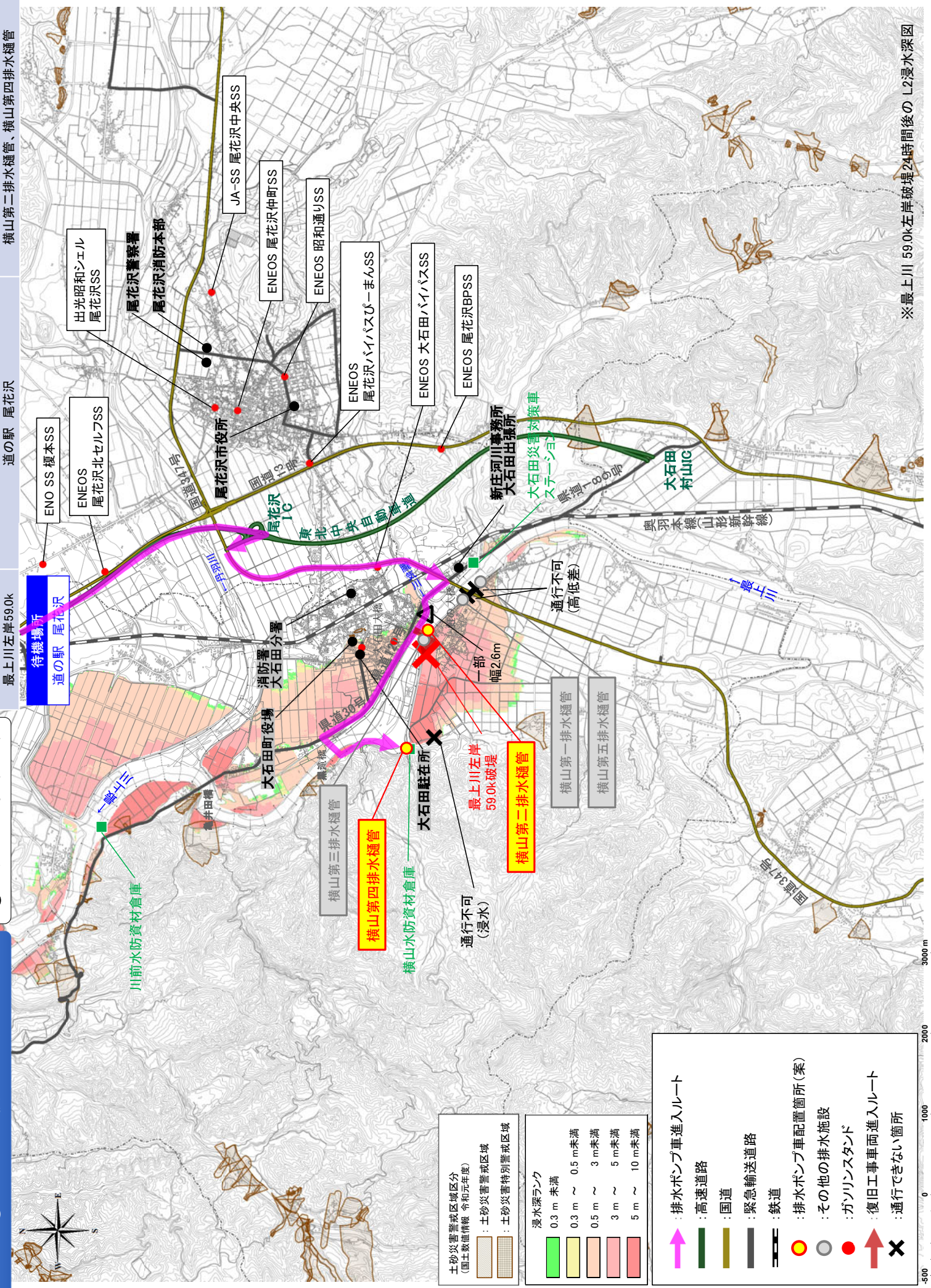
対象地区	排水施設	【1】現地状況			【2】現地状況			【3】現地状況			排水作業実施時の注意事項
		判定	天端幅	天端幅	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側		
ブロック⑩ 戸沢村 名高地区 SR-7	名高第二排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・谷口の一部に柵が設置されている ・児童流が集まりやすい	約7m (側帯含む) ※樋管付近は約3m	・上流側に4.2k付近まで広い側帯あり ・図上で確認していた破路は確認できず ・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度	○	○	○	下流側は、進入路が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、右高橋から堤防を通り進入可能 上流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能)	樋管近傍の側帯スペースを活用 燃料車等の移動のため、堤防上にホースブリッジを設置することが望ましい	
											名高排水樋管
	庭月第二排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	約3m	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 ・樋管付近にスペースあり(観音寺橋等)	○	○	○	○	観音寺橋等のスペースを活用	
	最上内川第一排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	約3m	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 ・樋管付近にスペースあり(最上内川合流点)	○	○	○	○	最上内川合流点付近のスペースを活用	
ブロック⑪ 鯉川村 庭月地区 SL-1	最上内川第二排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	約3m	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 ・樋管付近にスペースあり(樋管より下流側)	○	○	○	○	下流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能)	下流側にあるスペースを活用
	最上内川第三排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	約3m	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 ・樋管付近にスペースあり(樋管より下流側)	○	○	○	○	下流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能)	下流側にあるスペースを活用
	最上内川第四排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	約3m	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 ・樋管付近にスペースあり(樋管より下流側)	○	○	○	○	下流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能)	下流側にあるスペースを活用
	秋山沢川排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	約4m	・排水施設箇所の堤防天端幅は4m程度 ・上流側に広いスペースあり	○	○	○	○	下流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能)	上流側にあるスペースを活用
真室川町 庭月、真室川、新田平岡地区 KL-MAL-1	真室川第三排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・水路の一部に柵が設置されている	約3.5m	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 ・下流側の水防倉庫付近にスペースあり	○	○	○	○	下流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能)	下流側にあるスペースを活用
	安久土排水樋管	○	・釜場に適した水路あり ・谷口付近の水路には柵やゲレチクが設置されている ・児童流が集まりやすい	約4m	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 ・排水施設付近(真室川、金山川合流点付近及び真室川左岸3.6k付近)に広い側帯あり	○	○	○	○	下流側は、堤内が浸水するものの、24時間後には浸水深が30cm未満となり、堤内を通過して戸沢橋から進入可能 ルートの一部に土砂災害警戒区域があるため注意(新庄古口道路完成時に、下流側ルートはこれを回避可能)	安久土排水樋管から高沢橋間で破壊した場合、河川水位が低下した時点で高水敷にて排水作業を実施(ただし、安久土橋の上流側から高水敷へ進入する道路の整備が必要)
ブロック⑬ 金山町 凝山地区 KR-1	持越排水樋管	○	・釜場に適した水路あり	約3m	・排水施設箇所の堤防天端幅は3m程度 ・樋管付近に少スペースあり(進入路)	○	×	○	×	下流側は自然排水箇所があり浸水のためアークセス不可 上流側は堤防上は天端幅3m未満のため進入不可 24時間後には天端幅3m未満の進入路の浸水深が30cm未満となるため、進入可能	樋管付近のスペースを活用 進入路にて30cm未満の浸水発生

## ブロック① 大石田町 横山地区(MOL-1)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車等の配置図



※L2浸想定 最上川右岸59.0k破堤 最大浸水深を表示



土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

**排水ポンプ車進入ルート**

- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

↑ : 排水ポンプ車進入ルート  
— : 高速道路  
— : 国道  
— : 緊急輸送道路  
— : 鉄道  
● : 排水ポンプ車配置箇所(案)  
● : その他の排水施設  
● : ガソリンスタンド  
↑ : 復旧工事車両進入ルート  
✕ : 通行できない箇所

※最上川 59.0k左岸破堤24時間後のL2浸水深図





① 傾斜道から右折して県道189号を大石田方面へ



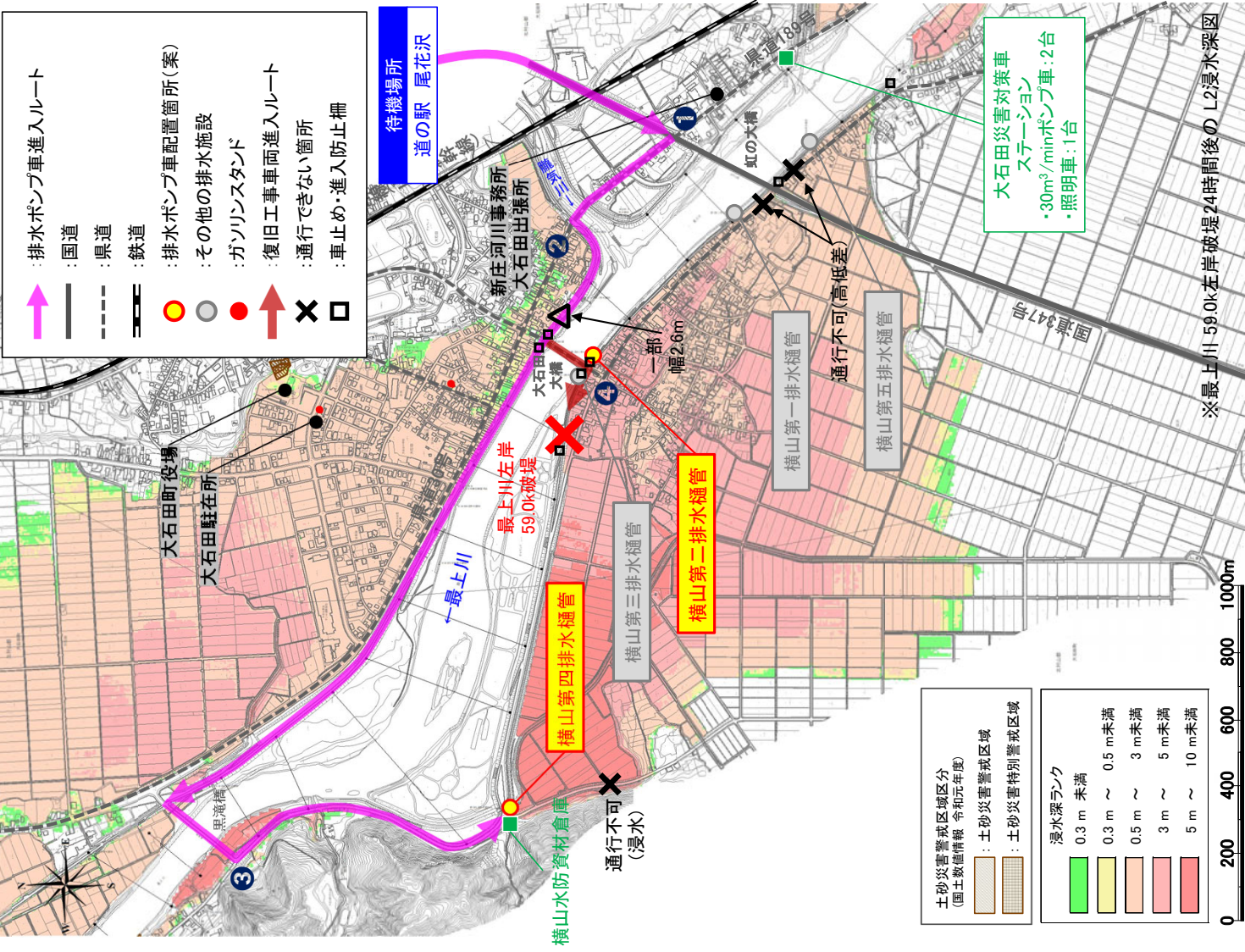
② 県道189望月橋を渡り左折、堤防天端へ



③ 黒滝橋を渡り左折、本笠ラインを進み横山第四排水涵管へ



④ 大石田大橋を渡り右折は破堤地点へ、左折は横山第二排水涵管へ



最上川左岸59.0k

道の駅 尾花沢

横山第二排水涵管、横山第四排水涵管

- : 排水ポンプ車進入ルート
- : 国道
- : 県道
- : 鉄道
- : 排水ポンプ車配置箇所(案)
- : その他の排水施設
- : ガソリンスタンド
- : 復旧工事車両進入ルート
- : 通行できない箇所
- : 車止め・進入防止柵

待機場所  
道の駅 尾花沢

土砂災害警戒区域区分  
(国土数値情報 令和元年度)

- : 土砂災害警戒区域
- : 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

	0.3 m	未済
	0.3 m ~	0.5 m 未済
	0.5 m ~	3 m 未済
	3 m ~	5 m 未済
	5 m ~	10 m 未済

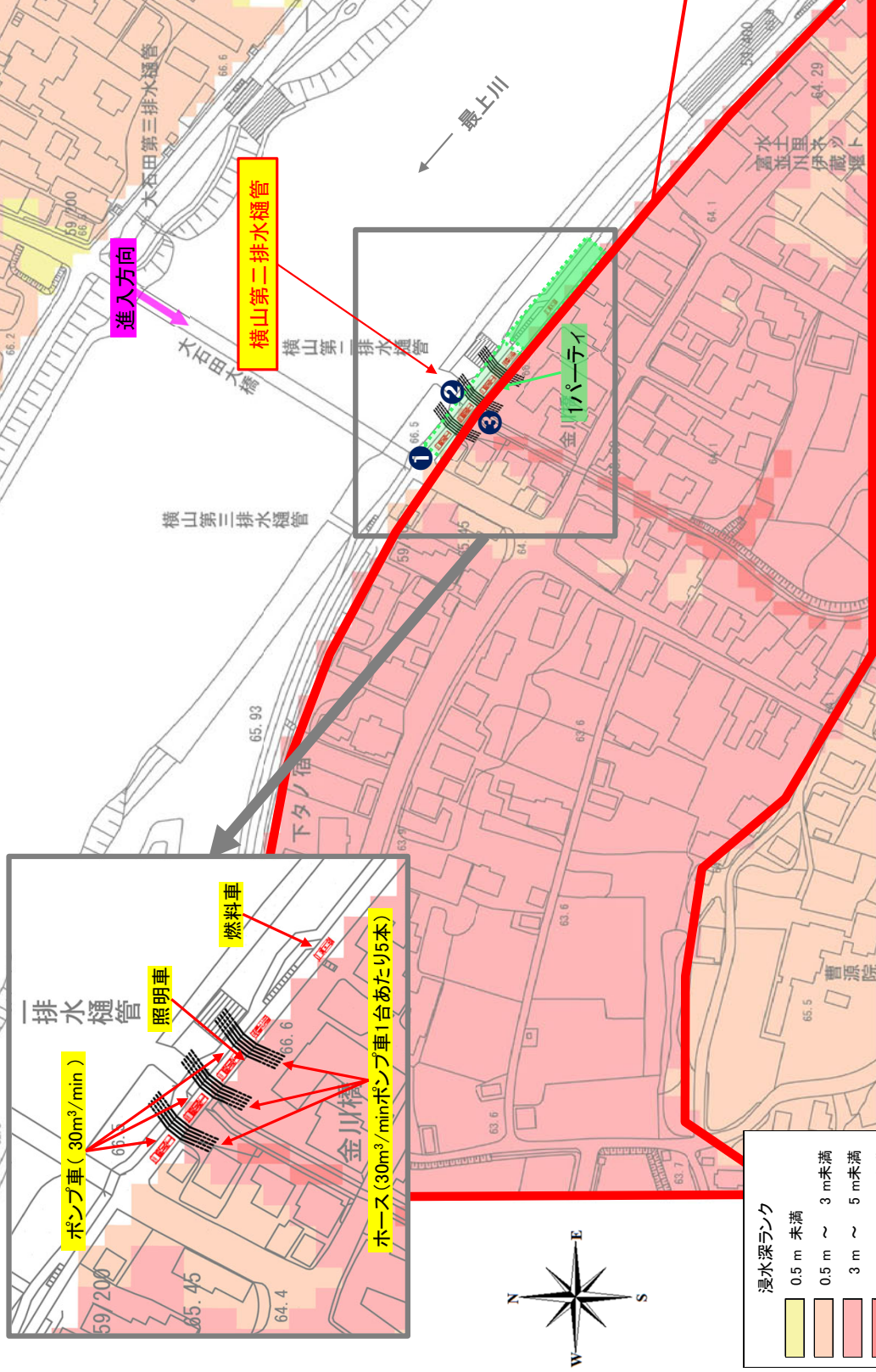
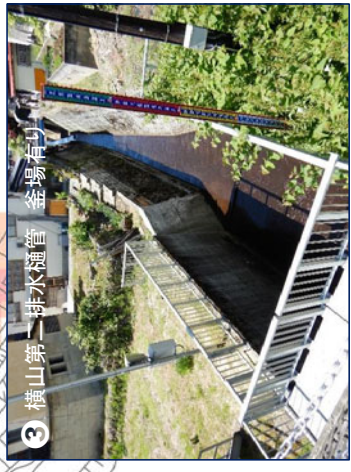
大石田災害対策車  
ステーション  
・30m<sup>3</sup>/minポンプ車:2台  
・照明車:1台

※最上川 59.0k左岸破堤24時間後の L2浸水深図

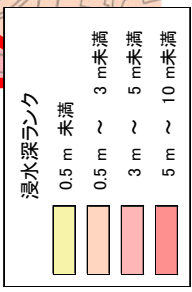


排水ポンプ車配置箇所	排水先	排水元	天端幅	天端幅
横山第二排水樋管	最上川左岸59.0k付近	横山第二排水樋管 水路	約4m	約4m
管理所管	TEL	門扉形式	担当出張所	TEL
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	ローラ ゲート	大石田 出張所	0233-22-0275
		動力	電動及び 手動	操作 規則等
		30m <sup>3</sup> /minポンプ車	○ 配置可能	有
		60m <sup>3</sup> /minポンプ車	× 配置不可	

TEL	0233-22-0275
担当出張所	大石田出張所
門扉形式	ローラゲート
動力	電動及び手動
操作規則等	有



氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施



1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

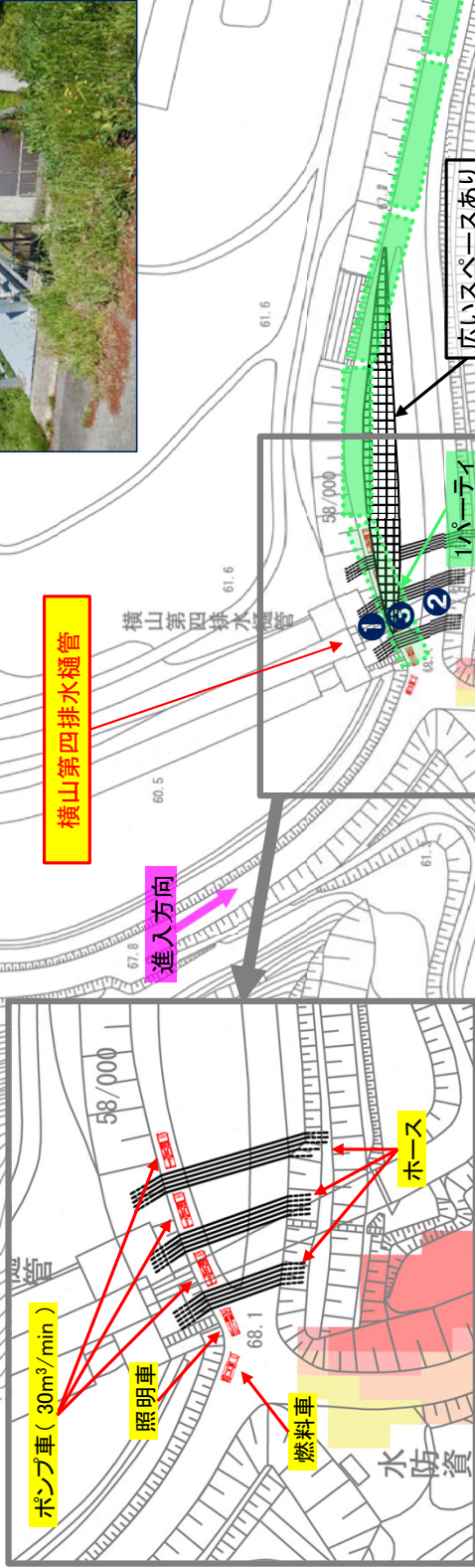
30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 6台  
(1パーティ3台 × 2パーティ = 6台)

最上川右岸59.0k

道の駅尾花沢

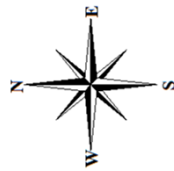
横山第二排水樋管、横山第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所 横山第四排水樋管	天端幅 約5m	排水元 横山第四排水樋管 水路	排水先 最上川左岸58.0k付近
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 大石田 出張所	ポンプ車 30m <sup>3</sup> /minポンプ車 60m <sup>3</sup> /minポンプ車
		門扉形式 ローラー ゲート	○ 配置可能
		動力 電動及び 手動	○ 配置可能
		操作 規則等	有



坂路付近まで配置

氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

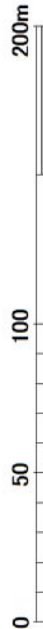


浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

：1パーティ目安

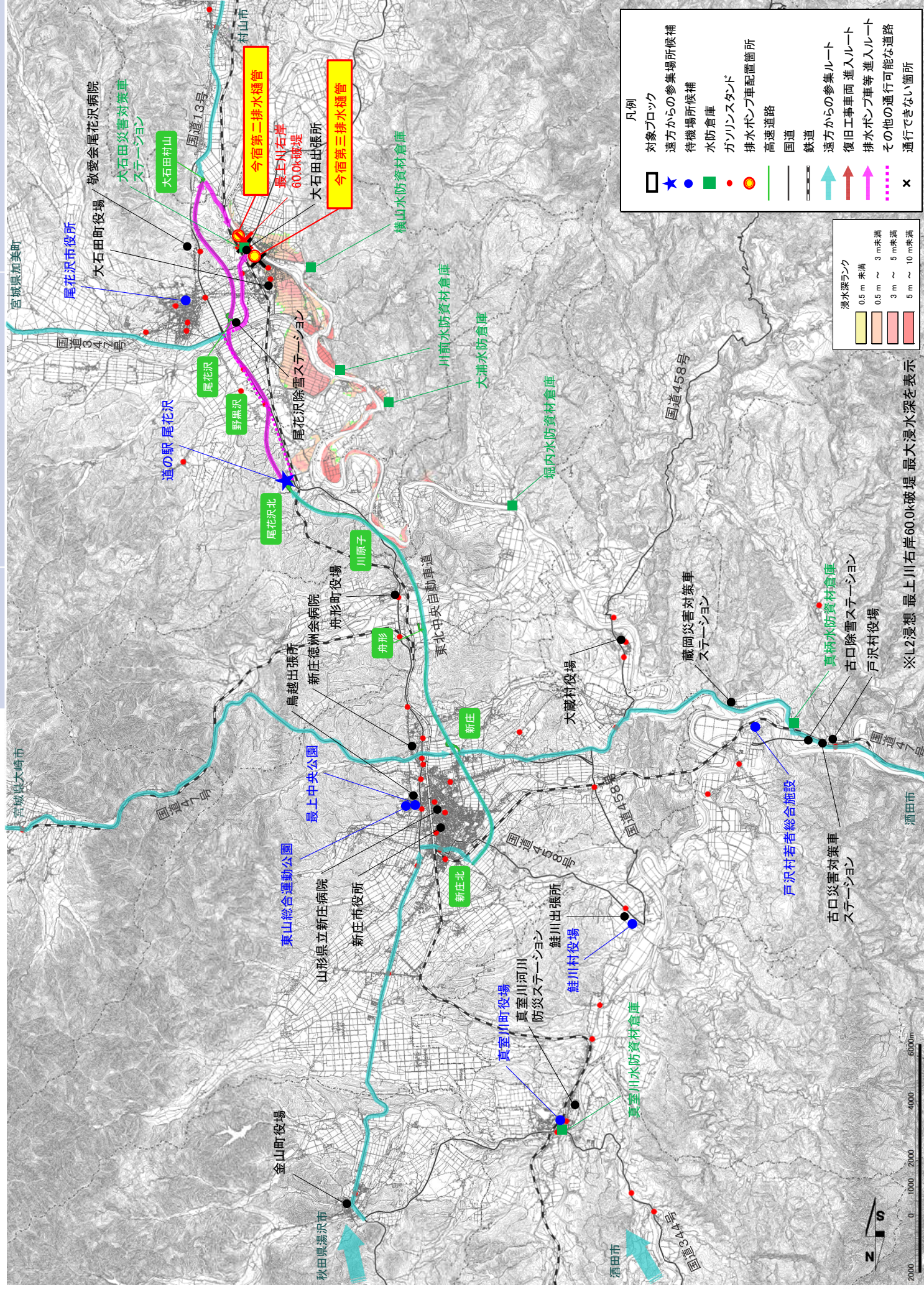
※L2浸想最大浸水深を表示



30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 30 台  
(1パーティ3台 × 10パーティ = 30台)

## ブロック② 大石田町 今宿地区(MOR-2)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車等の配置図



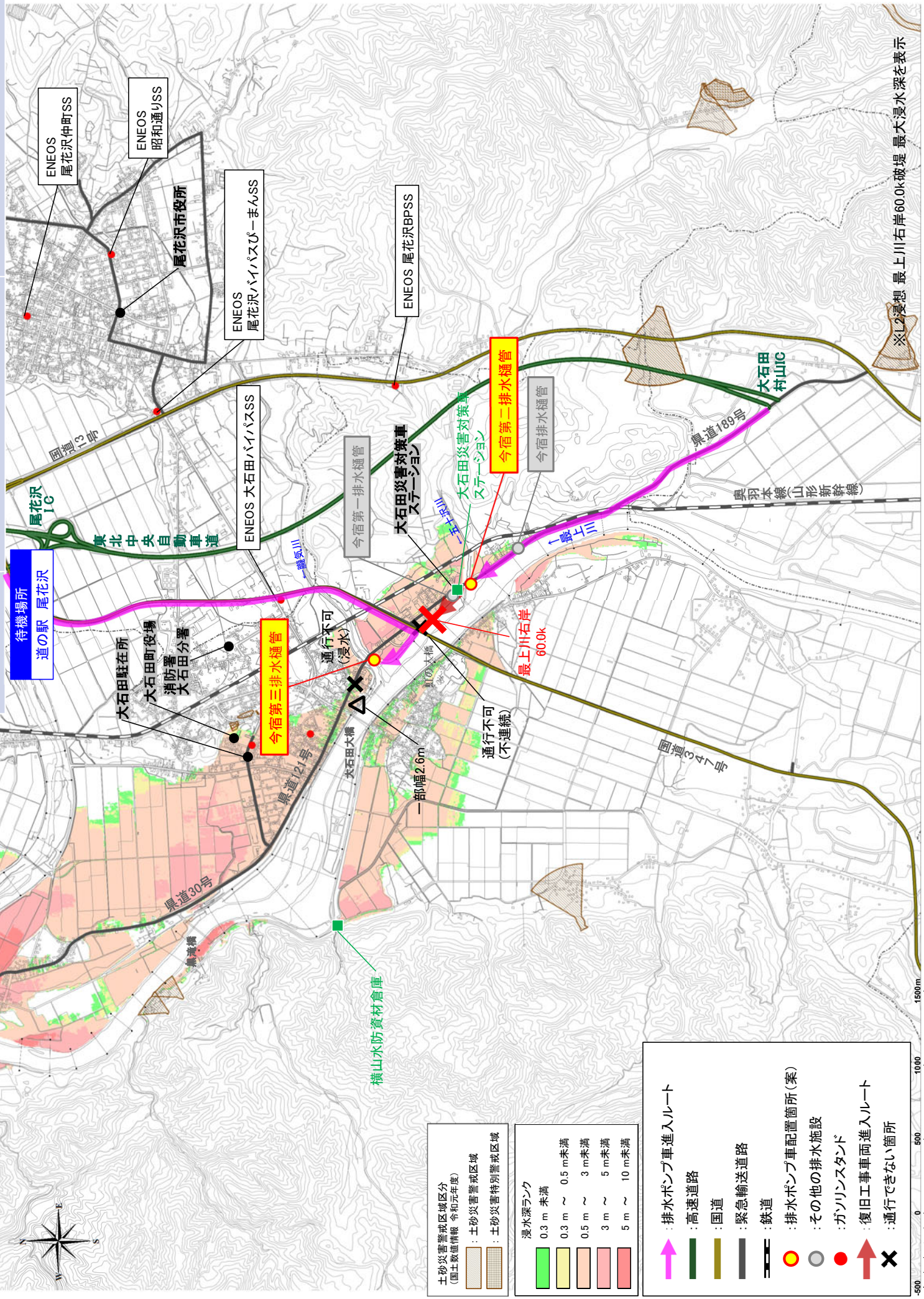
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所

浸水深ランク

- 0.5m 未満
- 0.5m ~ 3m未満
- 3m ~ 5m未満
- 5m ~ 10m未満

※L2浸想 最上川右岸60.0k破堤 最大浸水深を表示



土砂災害警戒区域区分  
(国土数値情報 令和元年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

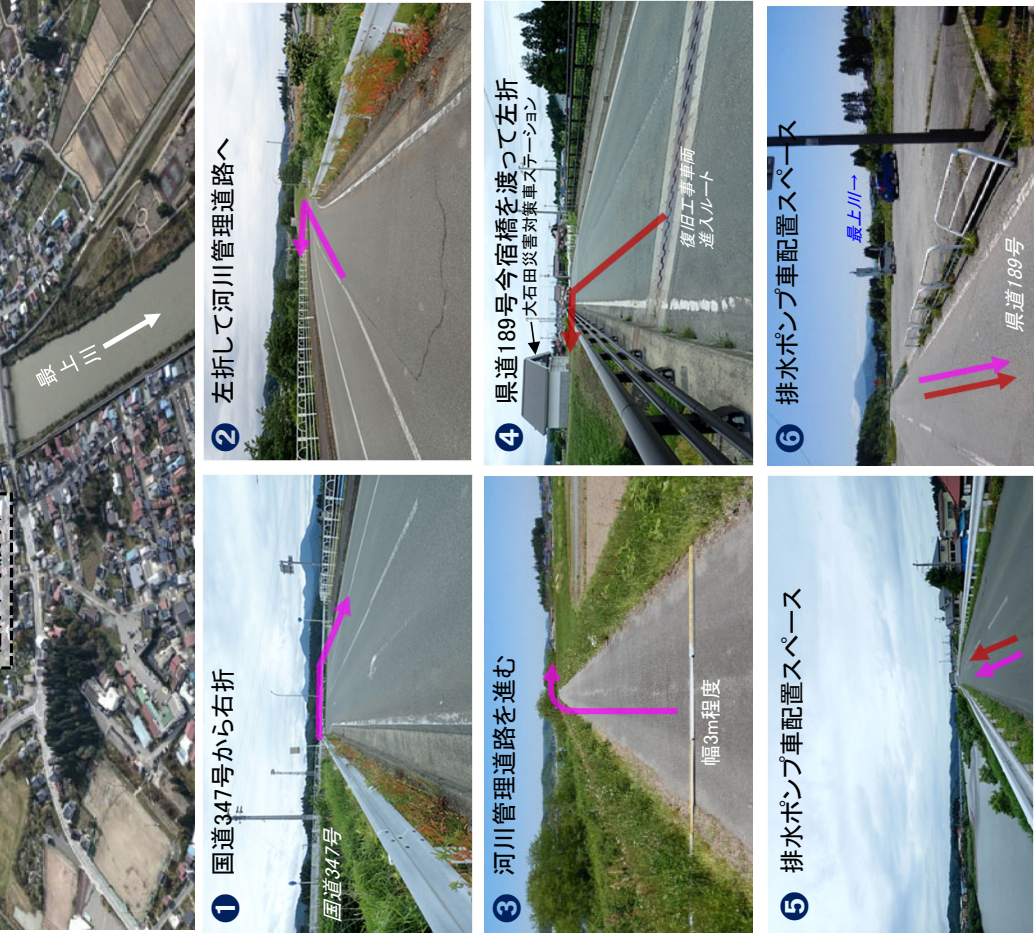
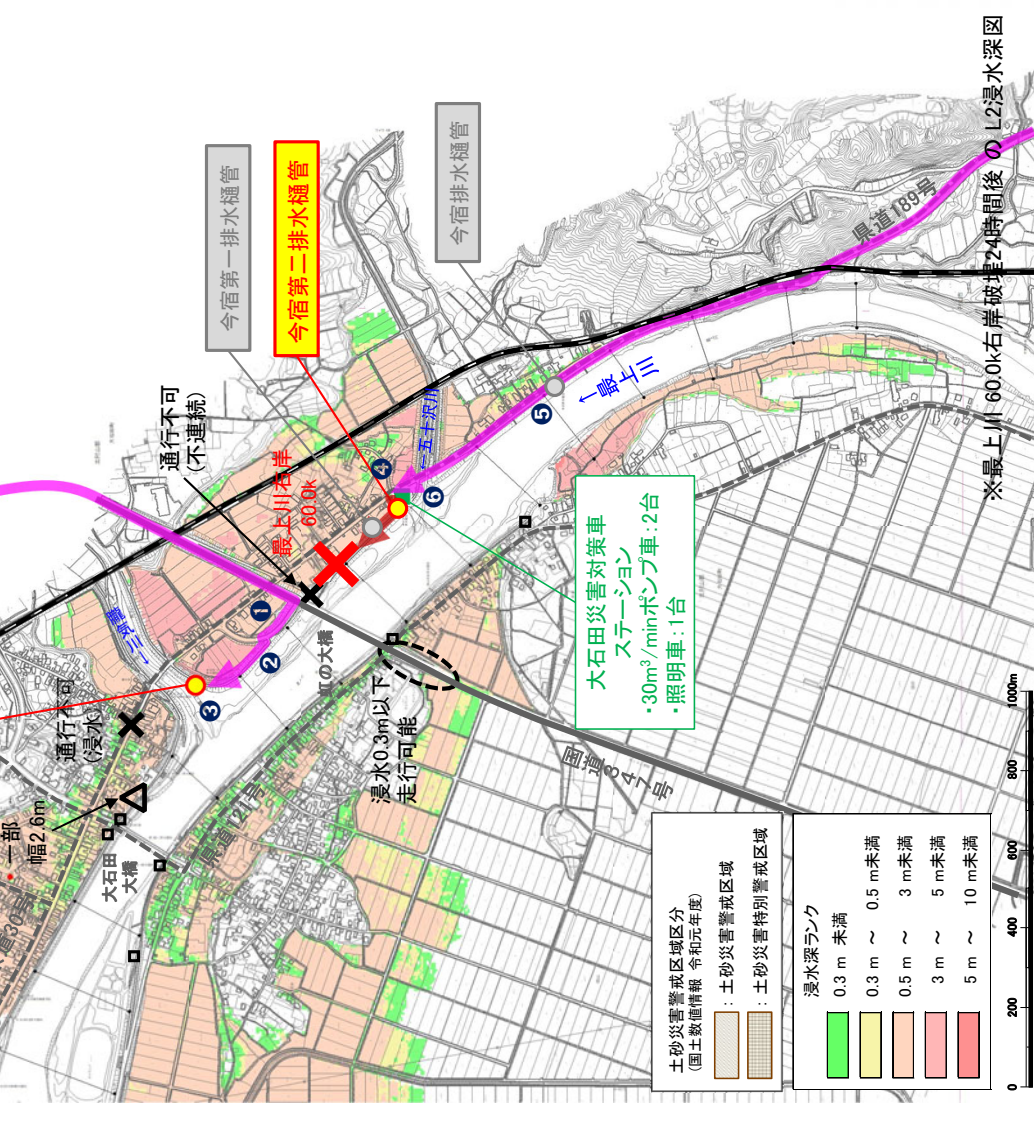
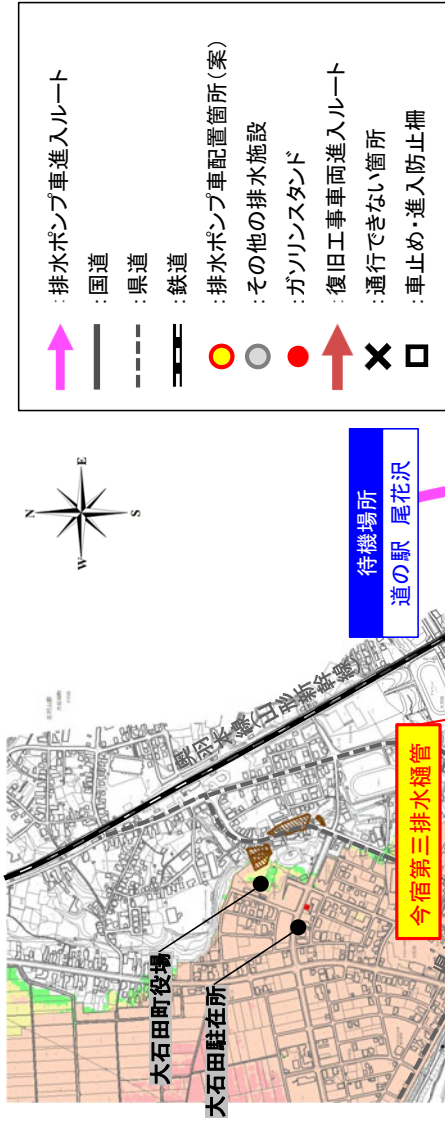
浸水深ランク

0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
----------	------------------	----------------	--------------	---------------

排水ポンプ車進入ルート

- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道

※2浸想 最上川右岸60.0k破堤 最大浸水深を表示



※最上川 60.0k右岸破堤2時間後の L2浸水深図

土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク	
	0.3 m 未満
	0.3 m ~ 0.5 m 未満
	0.5 m ~ 3 m 未満
	3 m ~ 5 m 未満
	5 m ~ 10 m 未満

大石田災害対策車ステーション  
・30m<sup>3</sup>/minポンプ車:2台  
・照明車:1台

待機場所  
道の駅 尾花沢

今宿第三排水樋管

今宿第二排水樋管

今宿第一排水樋管

通行不可 (不連続)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

通行不可 (浸水)

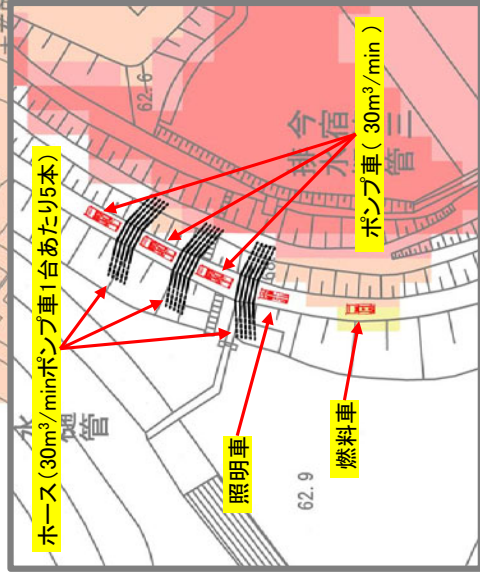
通行不可 (浸水)

最上川右岸60.0k

道の駅尾花沢

今宿第三排水樋管、今宿第二排水樋管

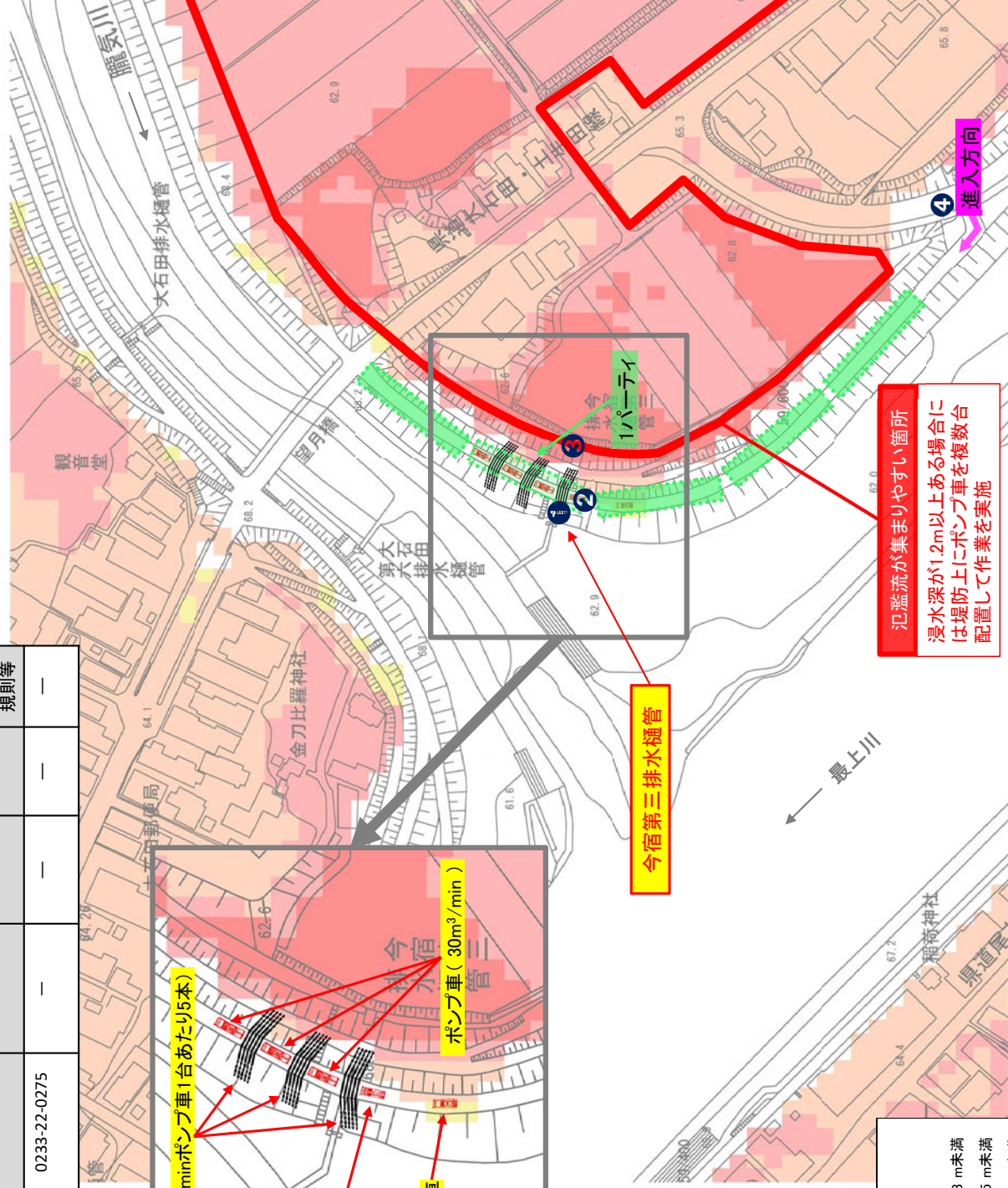
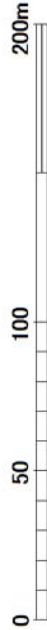
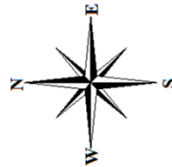
排水ポンプ車配置箇所 今宿第三排水樋管	天端幅 約3m	排水元 今宿第三排水樋管 水路	排水先 隴気川左岸0.0k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車 60m <sup>3</sup> /minポンプ車
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 —	門扉形式 —	○ 配置可能 × 配置不可
		動力 —	操作 規則等 —	



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満
5 m ~	

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示



① 今宿第三排水樋管



② 今宿第三排水樋管付近 天端幅：約3m



③ 今宿第三排水樋管 釜場あり



④ 今宿第三排水樋管への進入路

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 15台  
(1パーティ3台 × 5パーティ = 15台)

最上川右岸60.0k

道の駅尾花沢

今宿第三排水樋管、今宿第二排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
今宿第二排水樋管	約2.5m	今宿第二排水樋管 水路	最上川右岸60.3k付近
管理所管	TEL	門扉形式	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	—	—
		担当出張所	操作 規則等
		—	—
		今宿第二排水ポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
		○ 配置可能	○ 配置可能



① 今宿第二排水樋管 釜場有り



② 今宿第二排水樋管付近  
天端幅: 約2.5m 舗装なし

五十沢川



③ 今宿第二排水樋管 釜場有り



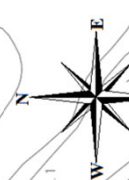
④ 県道189号沿い 広いスペース有り

最上川

県道189号



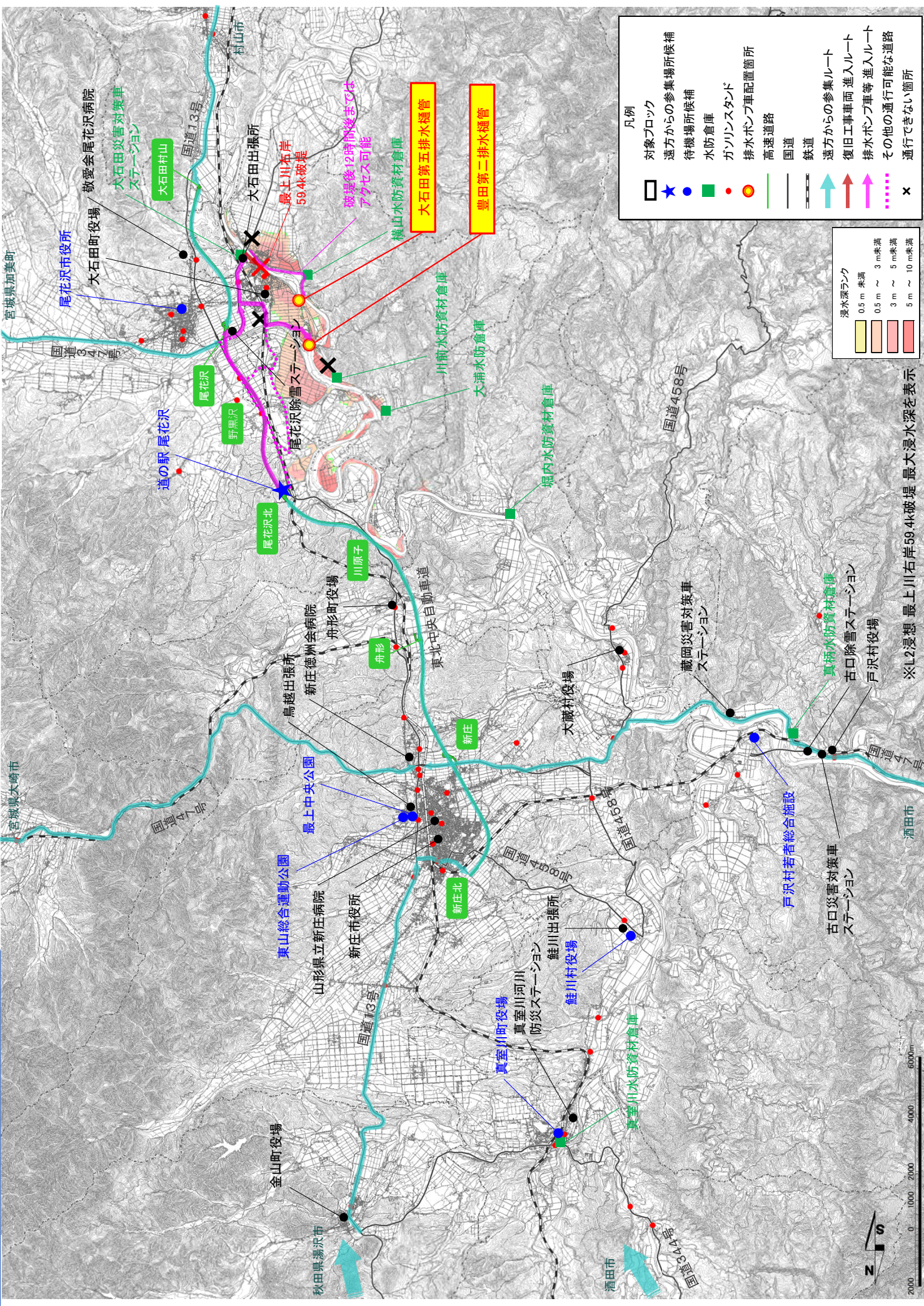
30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 12台  
(1パーティ3台 × 4パーティ = 12台)





## ブロック③ 大石田町 大石田、豊田地区(MOR-3)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



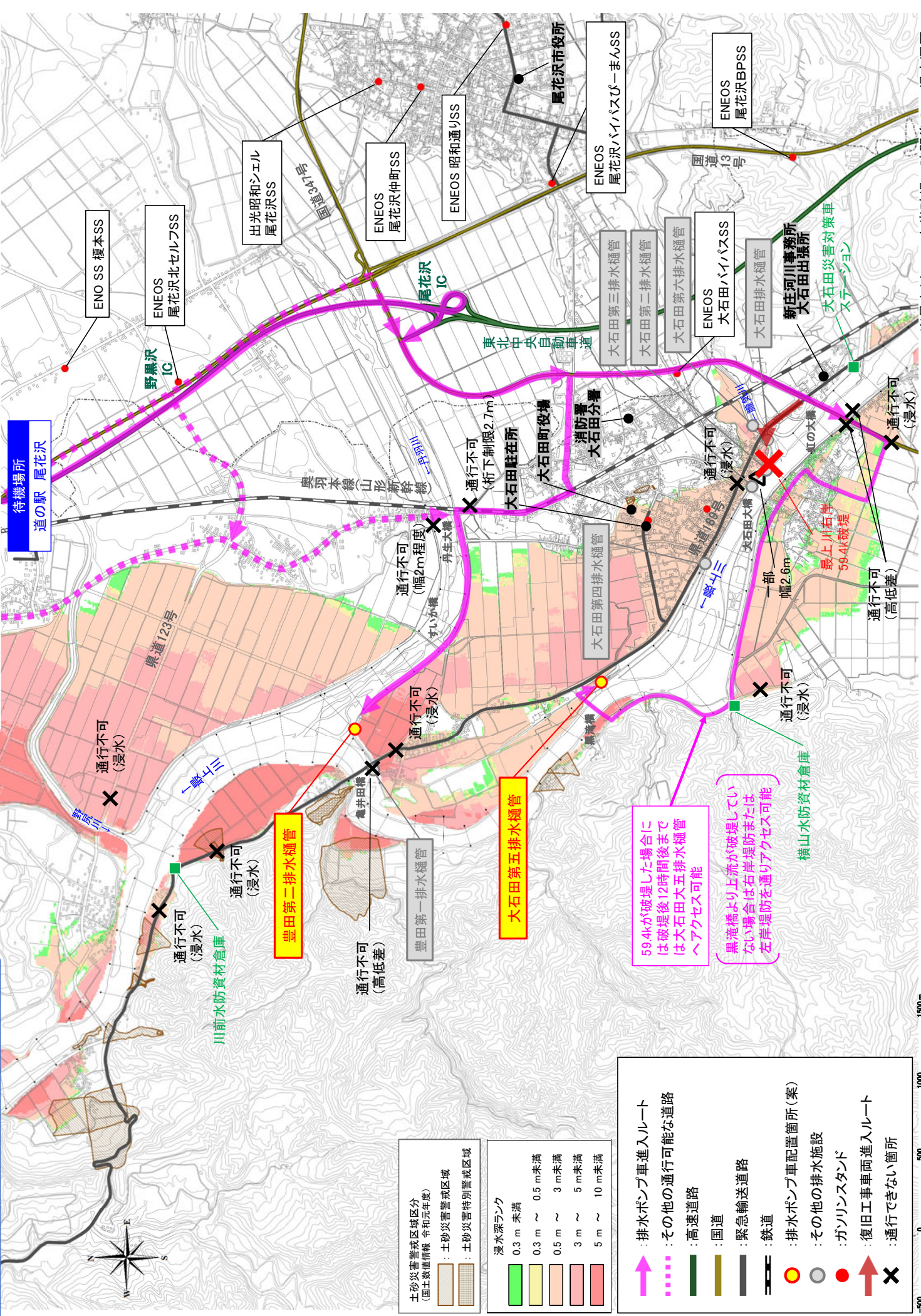
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所

浸水深ランク

- 0.5 m 未満
- 0.5 m ~ 3 m未満
- 3 m ~ 5 m未満
- 5 m ~ 10 m未満

※L2浸想 最上川右岸59.4k破堤 最大浸水深を表示



土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

59.4kが破堤した場合に  
は破堤後12時間後まで  
は大石田大五排水樋管  
へアクセス可能

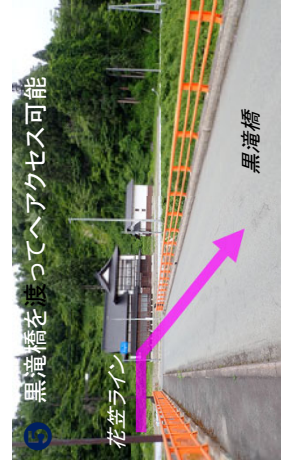
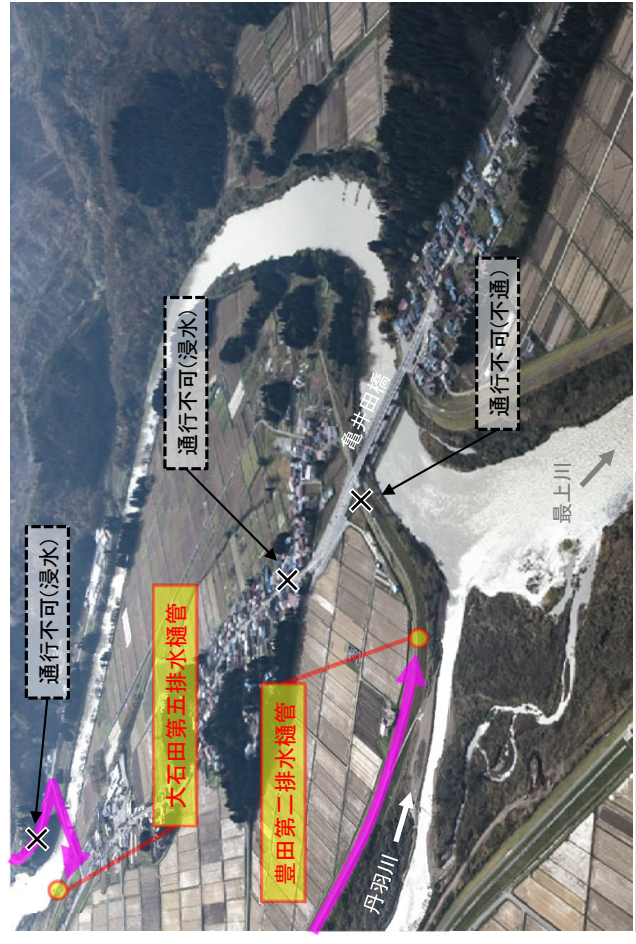
黒滝橋より上流が破堤してい  
ない場合は右岸堤防または  
左岸堤防を通りアクセス可能

横山水防資材倉庫

※最上川 59.4k右岸破堤24時間後の L2浸水深図

ブロック③ 大石田町 大石田、豊田地区 (MOR-3)

② 進入ルート図 (2/2)

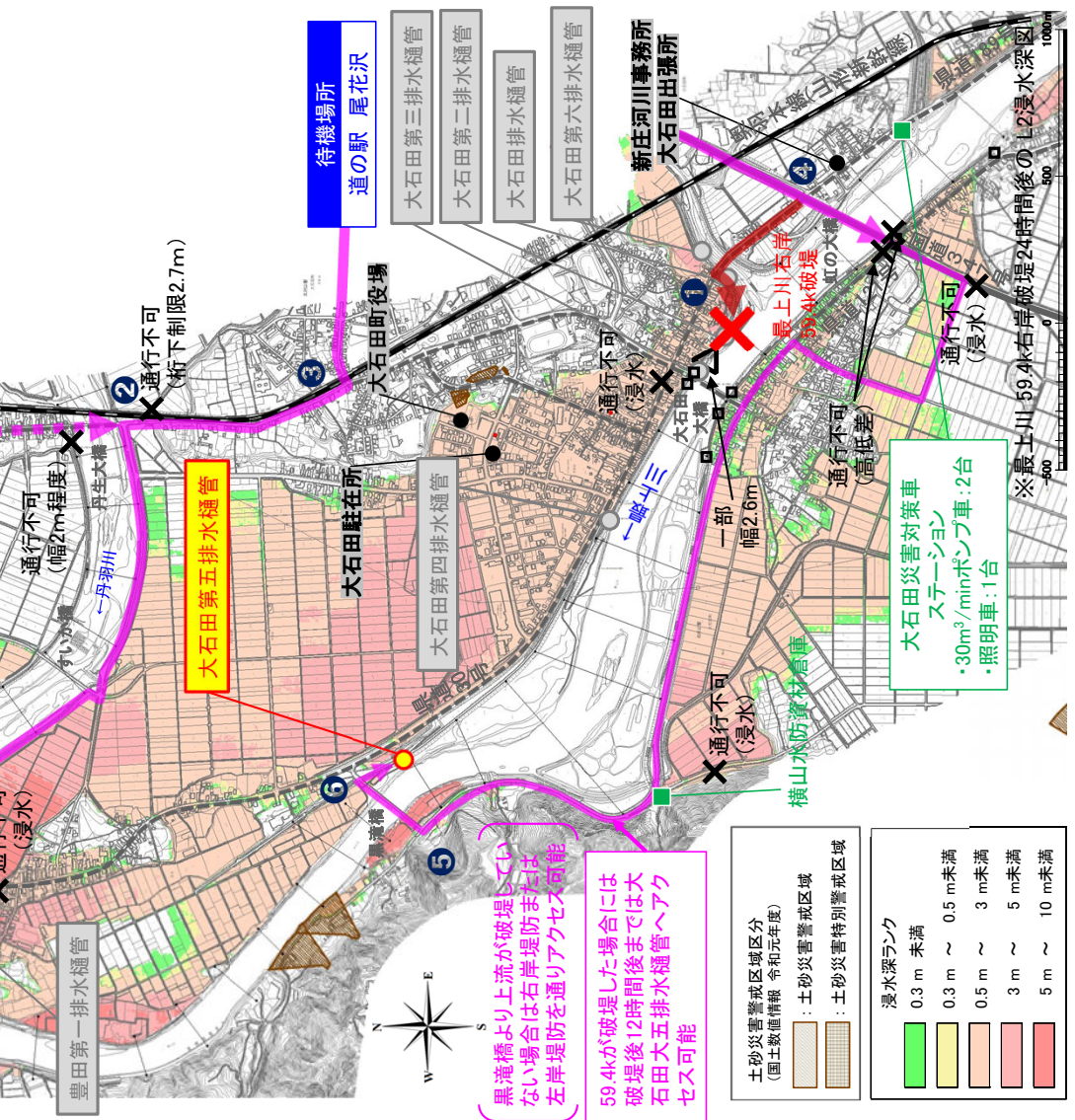


排水ポンプ車配置箇所  
豊田第二排水樋管、大石田第五排水樋管

排水ポンプ車進入ルート  
:その他の通行可能な道路

県道  
鉄道路

排水ポンプ車配置箇所(案)  
:その他の排水施設  
:ガソリンスタンド  
:復旧工事車両進入ルート  
:通行できない箇所



参集場所  
道の駅 尾花沢

破堤地点  
最上川右岸59.4k

待機場所  
道の駅 尾花沢

**ブロック③ 排水ポンプ車等の配置図(1/2)**

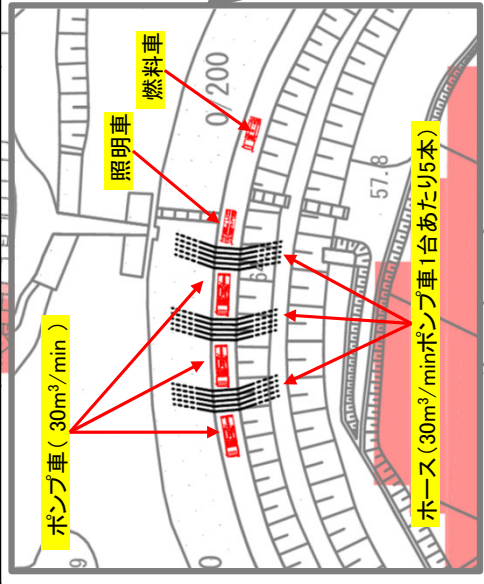
大石田町 大石田、豊田地区 (MOR-3)

破堤地点  
最上川右岸59.4k

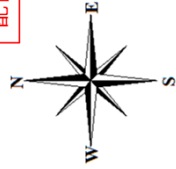
排水ポンプ車配置箇所  
豊田第二排水樋管、大石田第五排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
豊田第二排水樋管	約4.5m	豊田第二排水樋管 水路	最上川右岸55.0k付近
30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車	○ 配置可能	x 配置不可

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	大石田 出張所	フロート ゲート	自動 開閉	無



氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には  
堤防上にポンプ車を複数台  
配置して作業を実施

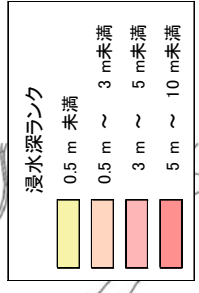


豊田第一排水樋管

亀井田橋から上流側の  
堤防天端へはアクセスできない

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示



進入方向

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 27 台  
(1パーティ3台 × 9パーティ = 27台)

ブロック③ 排水ポンプ車等の配置図(2/2)

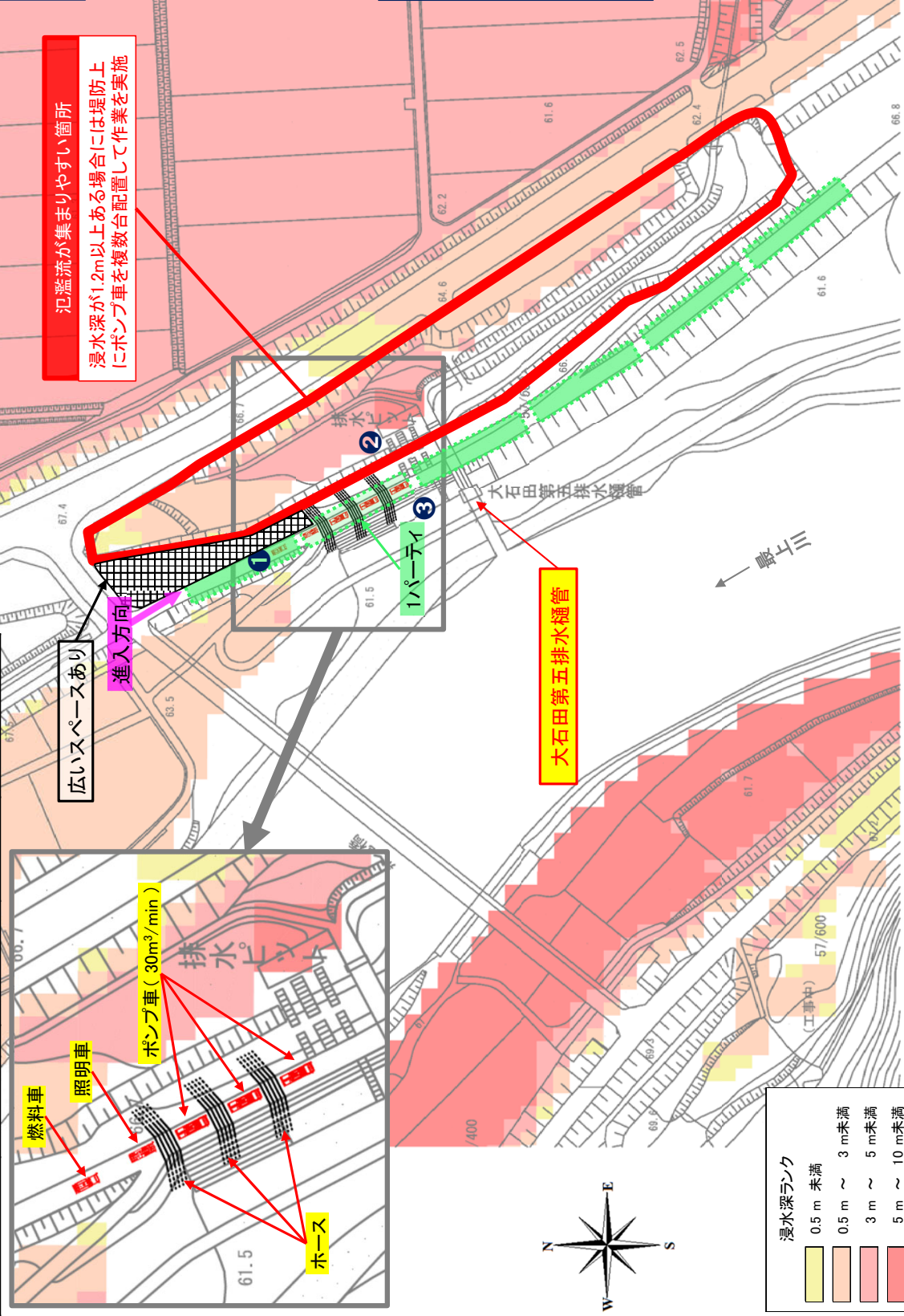
破堤地点  
最上川右岸59.4k

参集場所  
道の駅 尾花沢

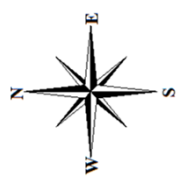
排水ポンプ車配置箇所  
豊田第二排水樋管、大石田第五排水樋管

排水ポンプ車配置箇所 大石田第五排水樋管	天端幅 約5.5m	排水先 最上川右岸57.6k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車 60m <sup>3</sup> /minポンプ車
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	大石田第五排水樋管 水路	○ 配置可能
担当出張所 大石田出張所	動力 電動及び手動	門扉形式 ローラーゲート	○ 配置可能
	操作規則等 有		

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	大石田出張所	ローラーゲート	電動及び手動	有

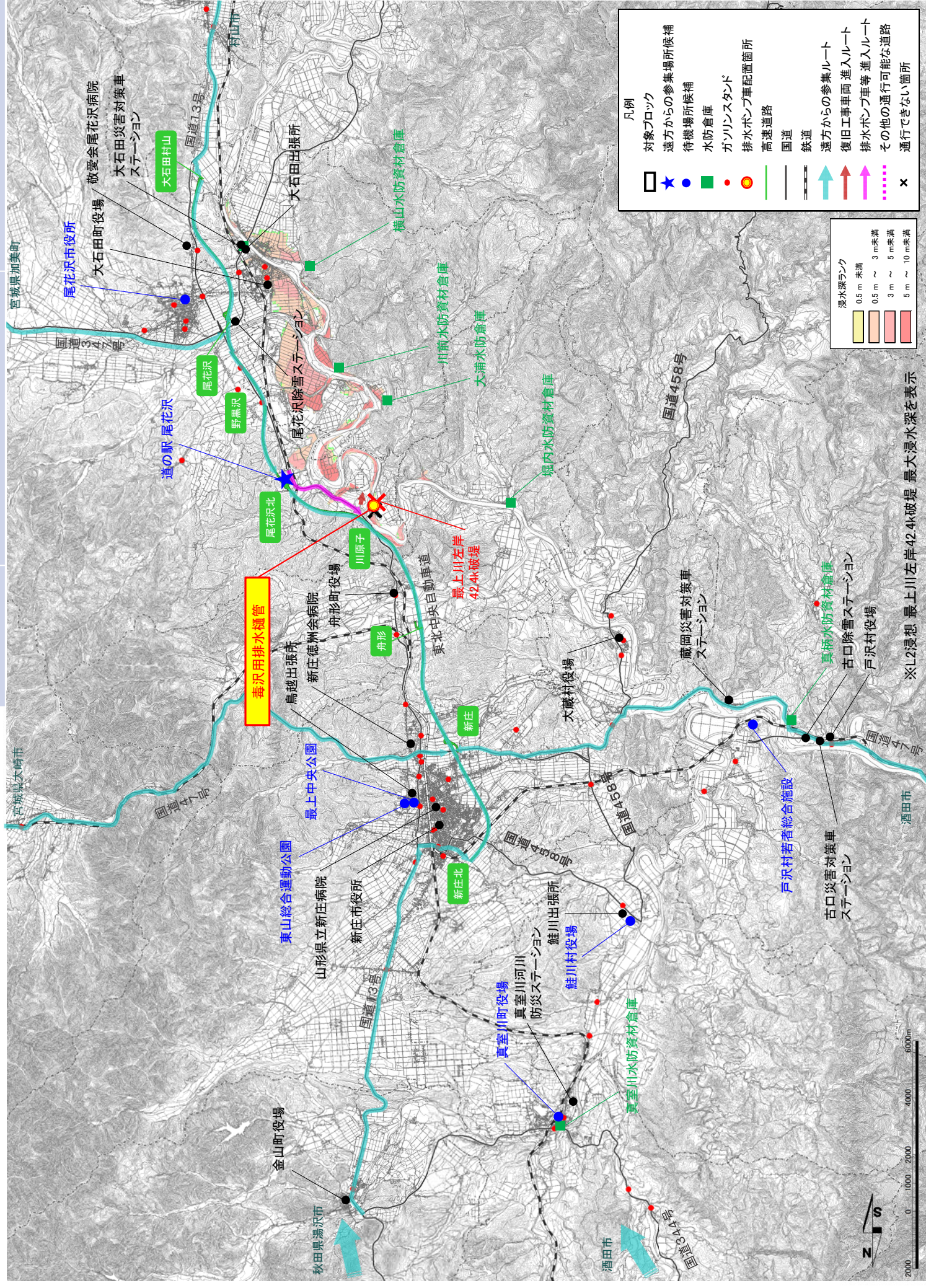


30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 18 台  
(1パーティ3台 × 6パーティ = 18台)

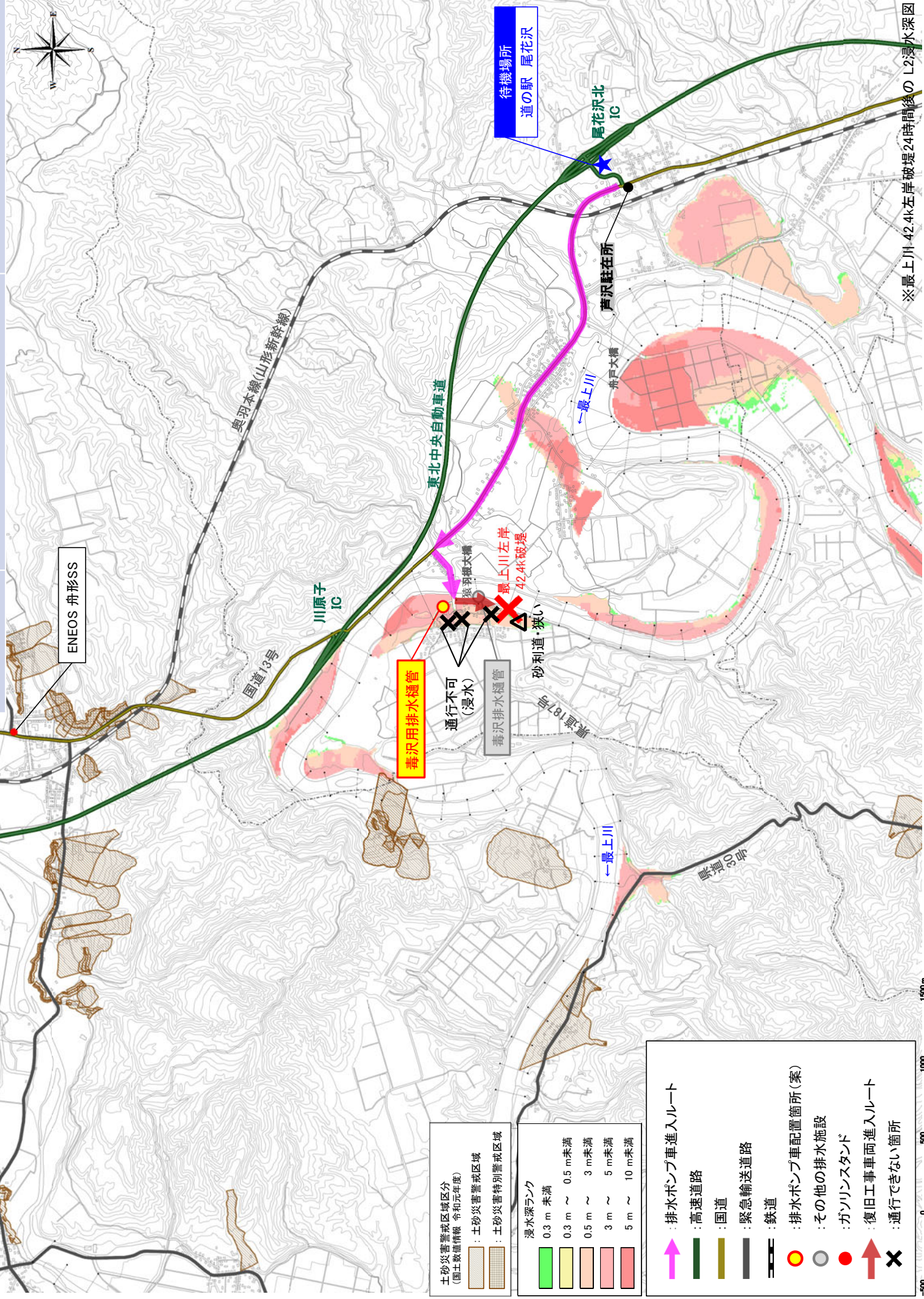


## ブロック④ 尾花沢市 毒沢地区(MOL-8)

- ① 全体図  
(待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図  
(排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図







土砂災害警戒区域区分  
(国土数値情報 令和元年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
----------	------------------	----------------	--------------	---------------

排水ポンプ車進入ルート

- 排水ポンプ車配置箇所 (案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

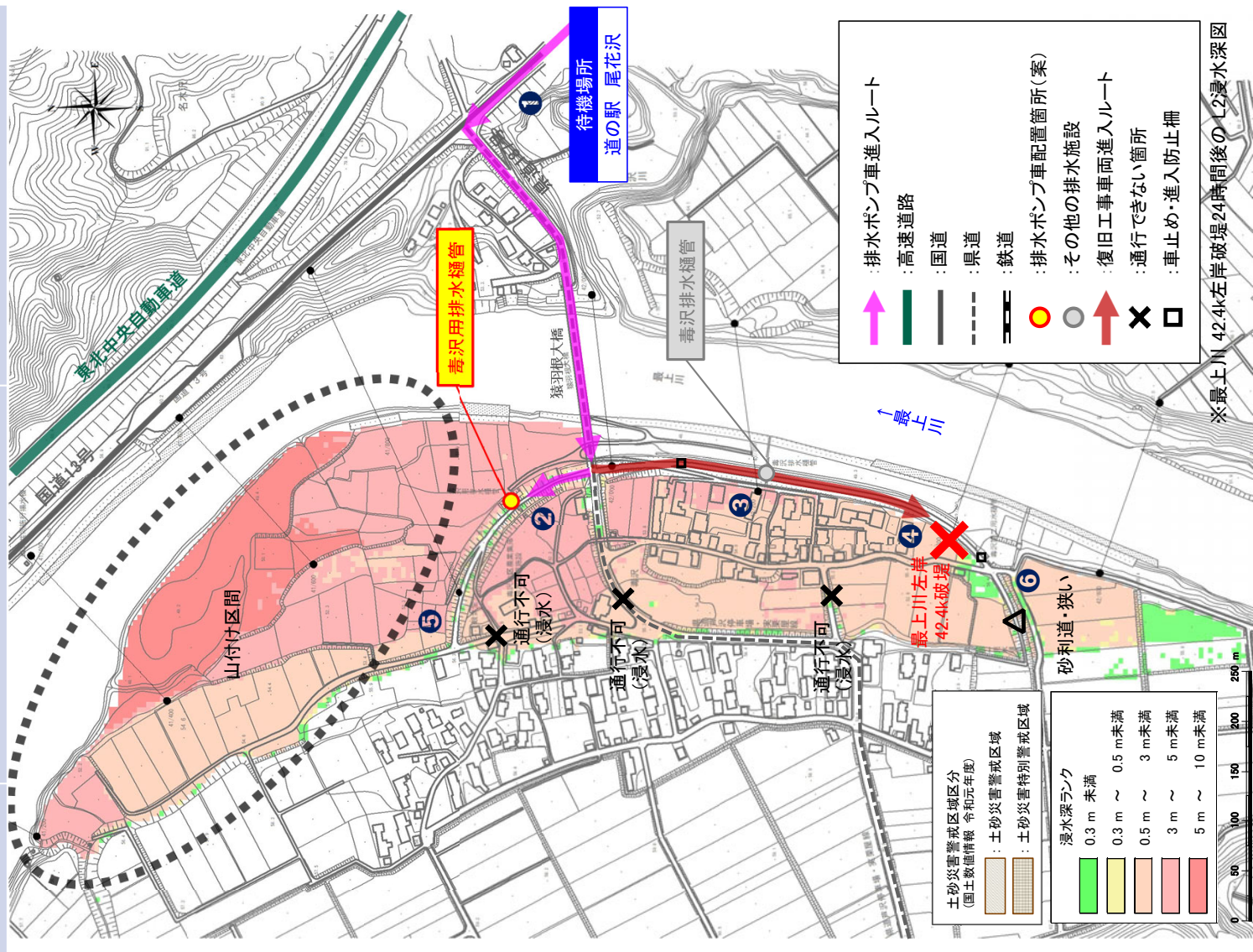


※最上川-42.4k左岸破堤24時間後のL2:浸水深図

破堤地点  
最上川左岸42.4k

道の駅 尾花沢

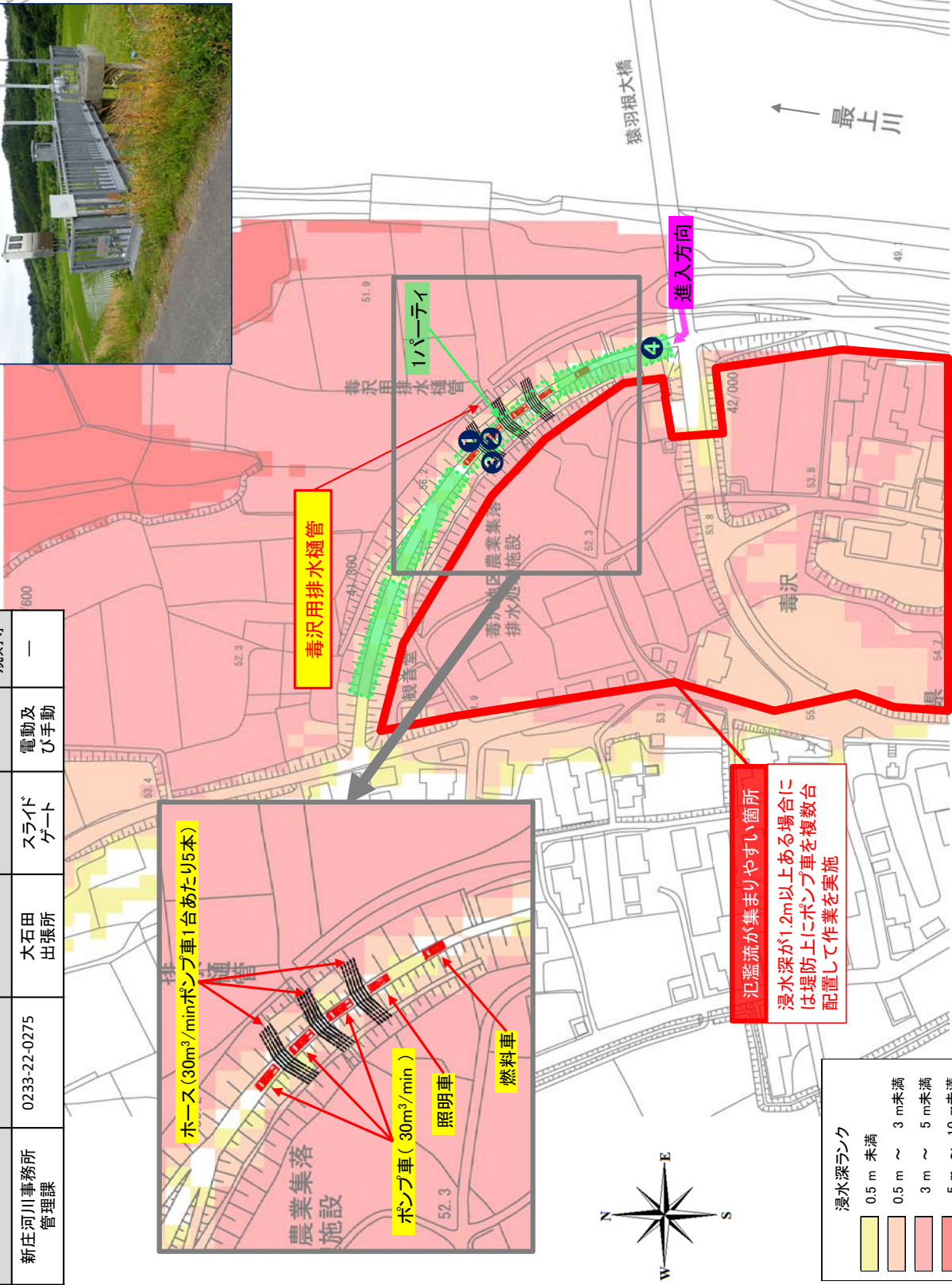
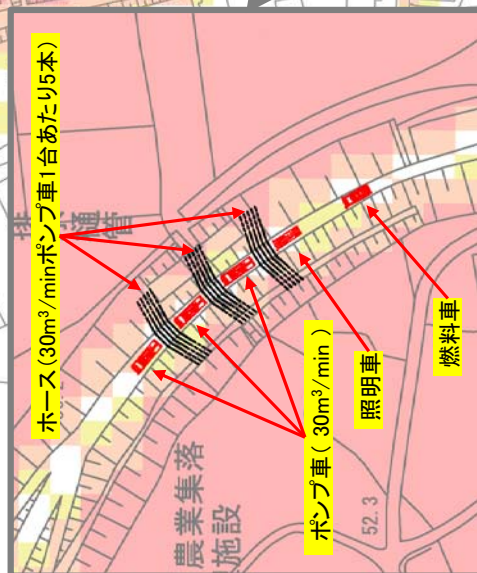
毒沢用排水樋管



※最上川 42.4k左岸破堤24時間後のL2浸水深図

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水先
毒沢用排水樋管	約3m	最上川左岸41.93k付近
管理所管	TEL	門扉形式
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	スライド ゲート
	担当出張所	動力
	大石田 出張所	電動及 び手動
	操作 規則等	—
	今宿第三排水樋管 水路	配置可能
	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	× 配置不可
	60m <sup>3</sup> /minポンプ車	

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作 規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	大石田 出張所	スライド ゲート	電動及 び手動	—



浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

1/パーティ目安

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 12台  
 (1/パーティ3台 × 4/パーティ = 12台)

※L2浸想最大浸水深を表示

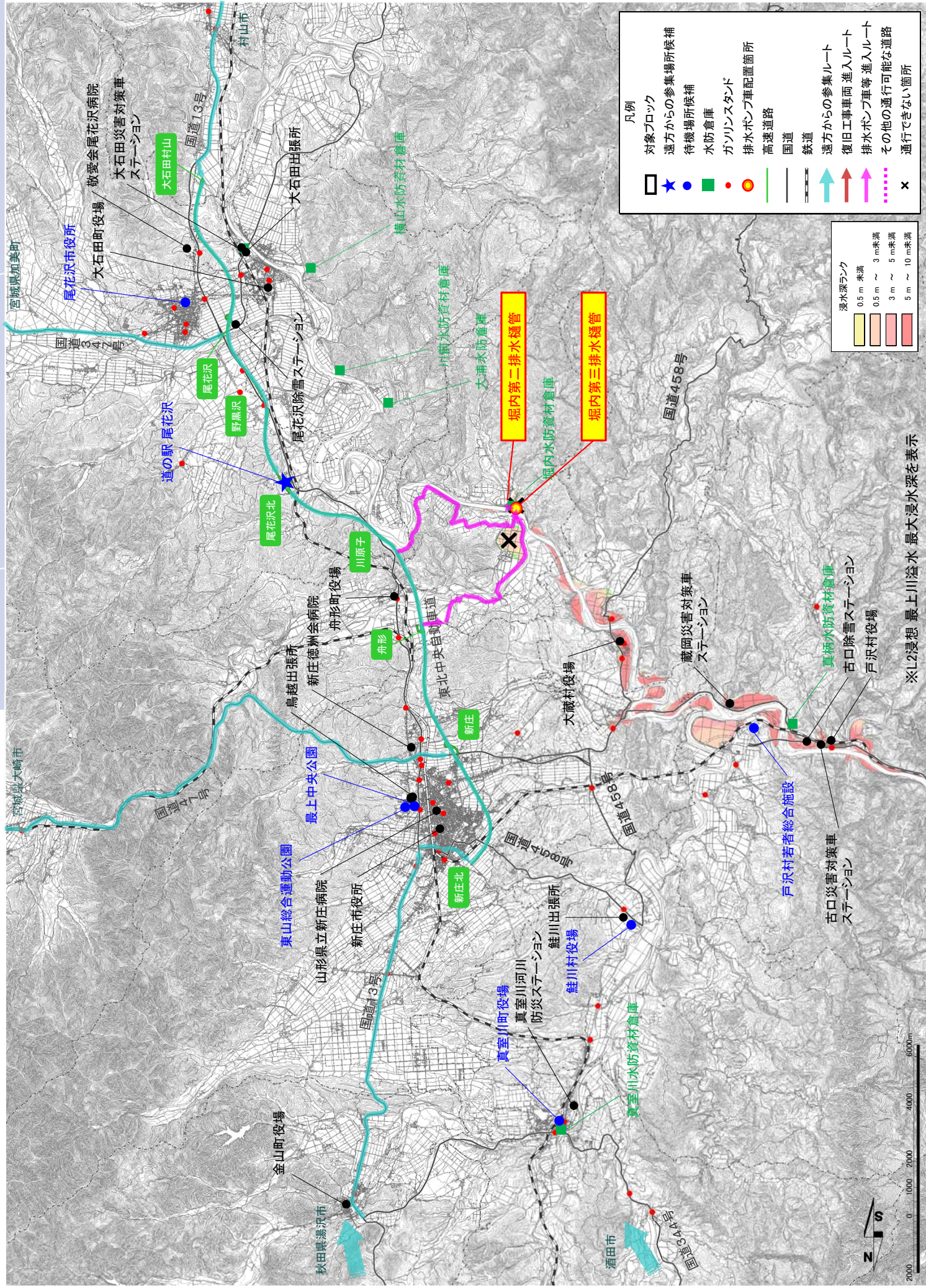
## ブロック⑤ 舟形町 堀内地区(MOL-10)

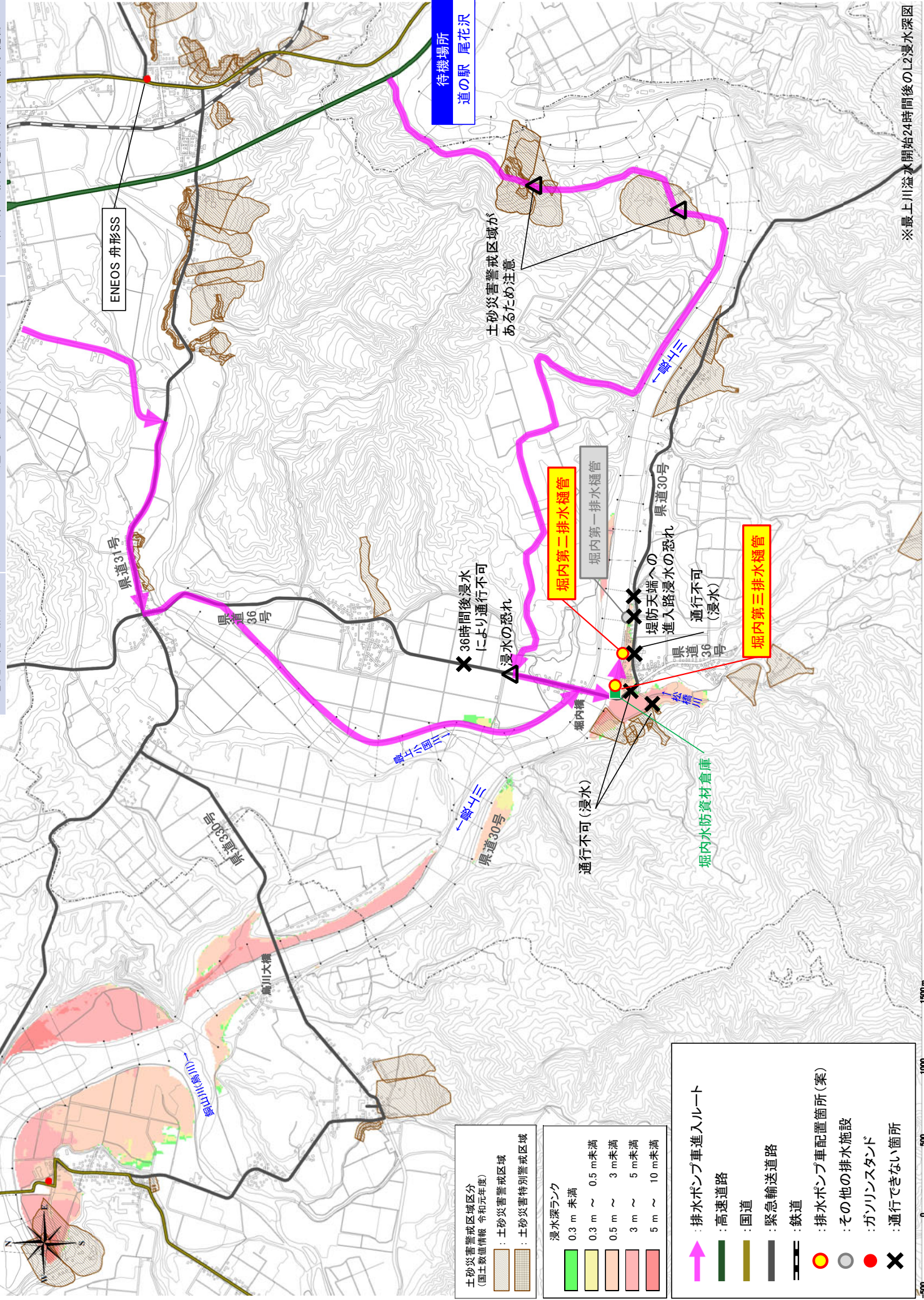
- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

堀内第二排水涵管、堀内第三排水涵管

道の駅 尾花沢

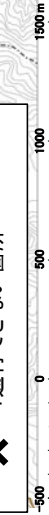
想定破壊地点無し





土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和5年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

↑	排水ポンプ車進入ルート
—	高速道路
—	国道
—	緊急輸送道路
—	鉄道
●	排水ポンプ車配置箇所(案)
●	その他の排水施設
●	ガソリンスタンド
×	通行できない箇所

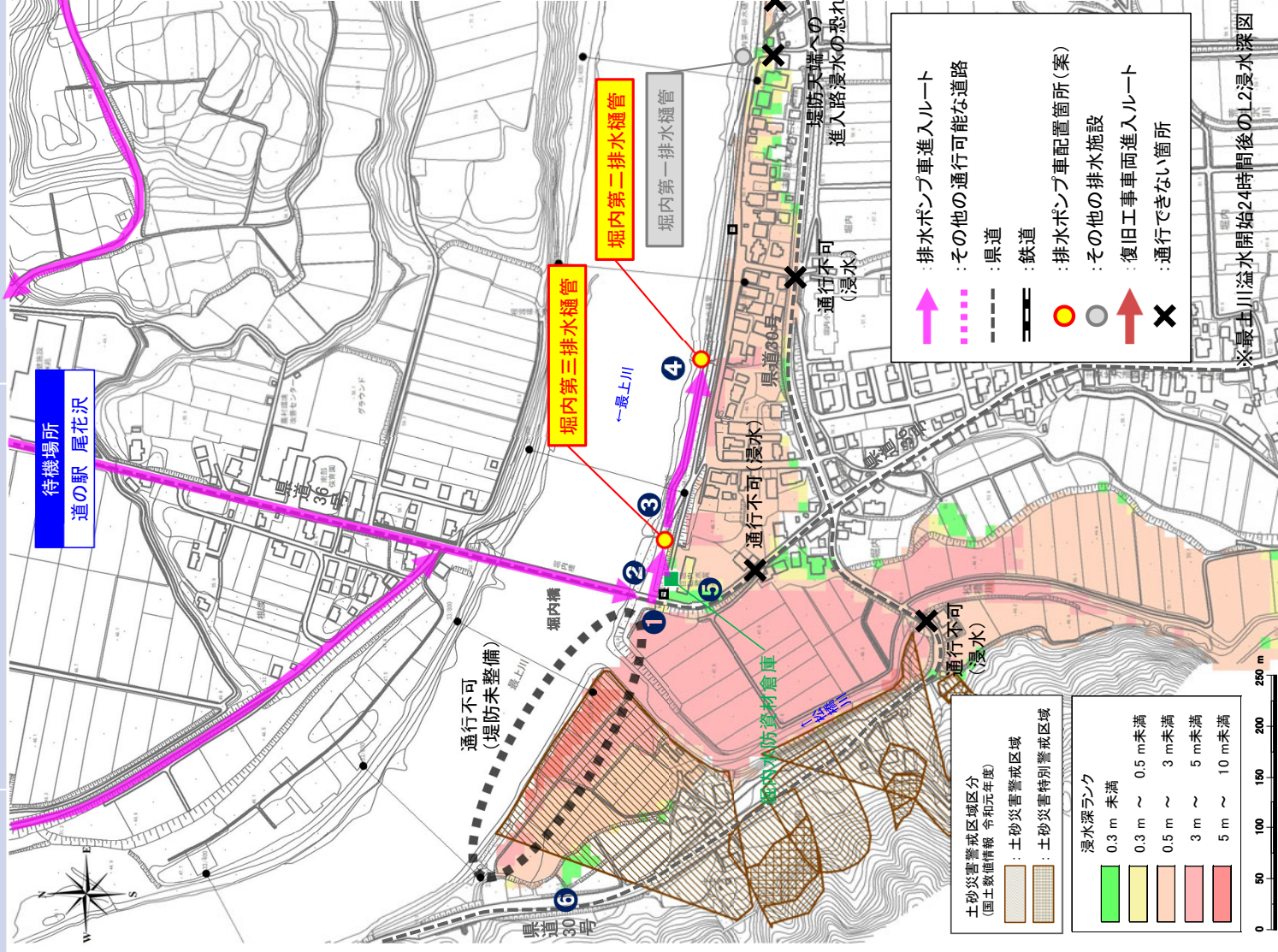
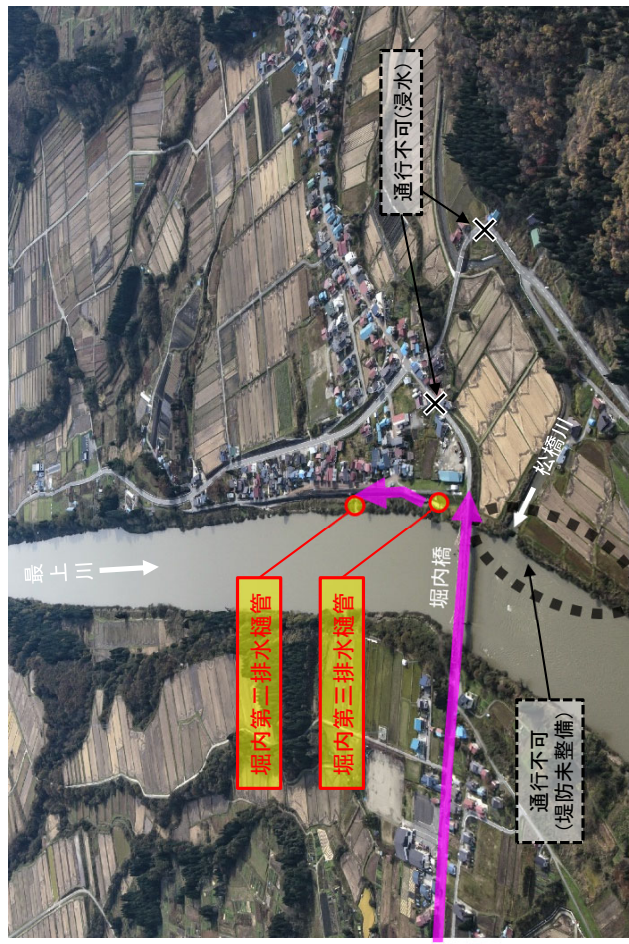


※最上川溢水開始24時間後のL2浸水深図

想定破堤地点無し

道の駅 尾花沢

堀内第二排水樋管、堀内第三排水樋管



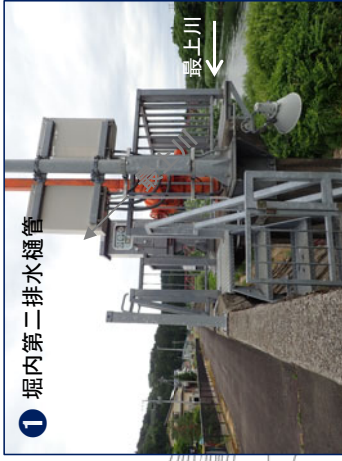
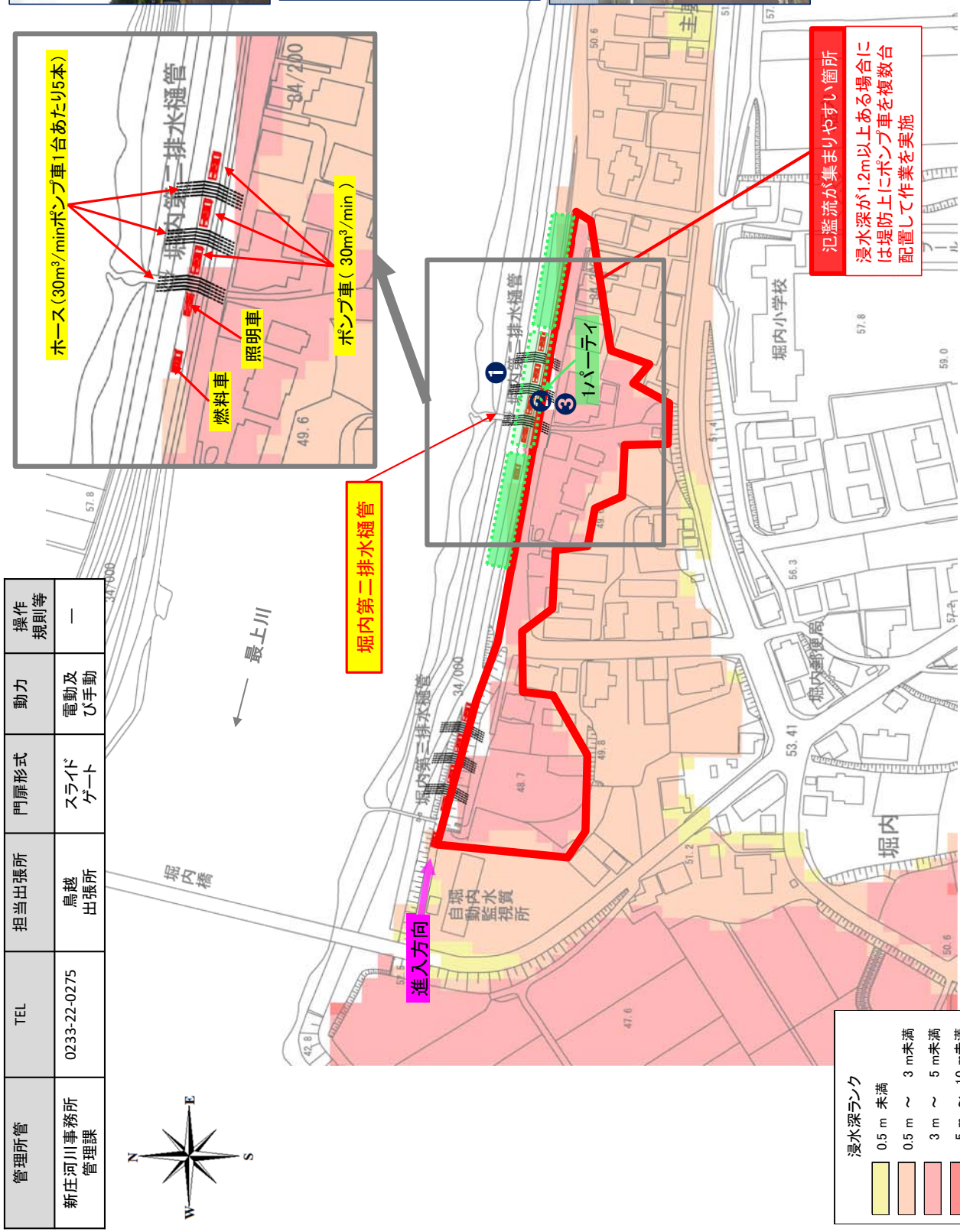
※最上川溢水開始24時間後の1.2浸水深区

想定破堤地点無し

道の駅 尾花沢

堀内第二排水樋管、堀内第三排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	排水元	排水先
堀内第二排水樋管	堀内第二排水樋管 水路	最上川左岸34.12k付近
TEL	担当出張所	門扉形式
0233-22-0275	鳥越出張所	スライドゲート
管理所管	TEL	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	電動及び手動
		操作規則等
		—
		ポンプ車
		30m <sup>3</sup> /minポンプ車
		60m <sup>3</sup> /minポンプ車
		○ 配置可能
		× 配置不可



30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 9台  
(1/4パーティ3台 × 3パーティ = 9台)

※L2浸想最大浸水深を表示  
: 1/4パーティ目安



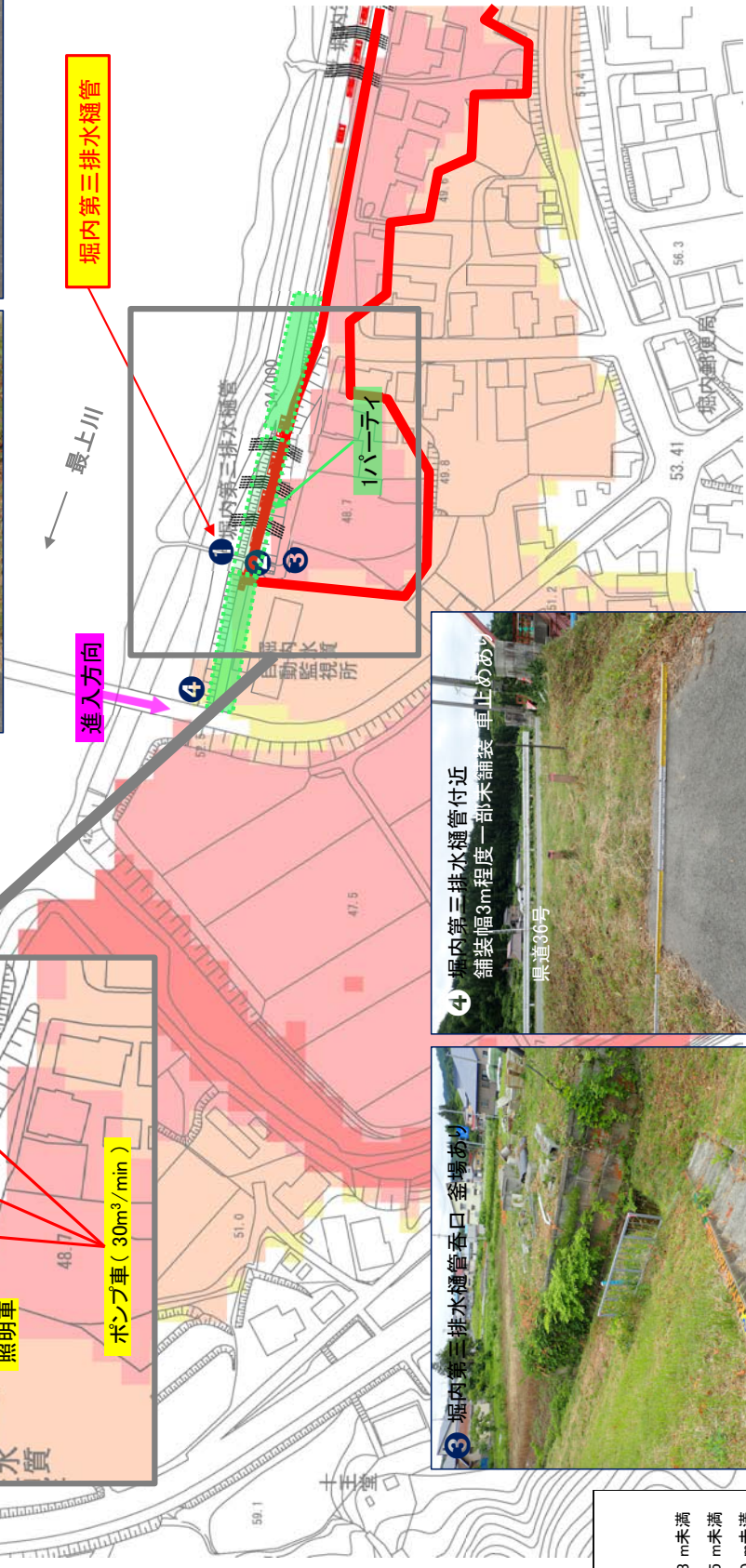
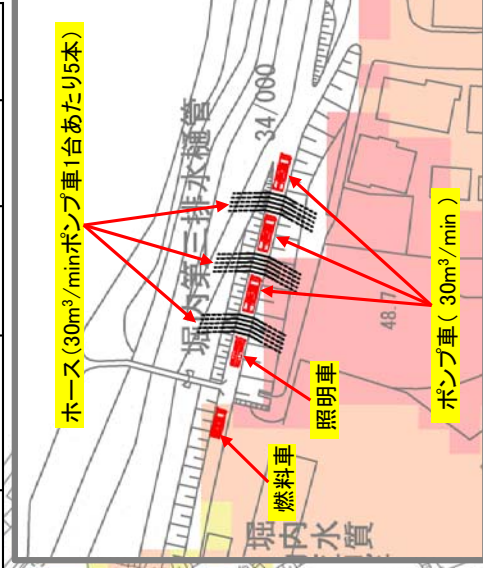
想定破堤地点無し

道の駅 尾花沢

堀内第二排水樋管、堀内第三排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水先
堀内第三排水樋管	約4m	堀内第三排水樋管 水路
管理所管	TEL	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越出張所
		動力
		手動
		門扉形式
		スライドゲート
		担当出張所
		鳥越出張所
		30m <sup>3</sup> /minポンプ車
		60m <sup>3</sup> /minポンプ車
		○ 配置可能
		× 配置不可

管理所管	TEL	担当出張所	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越出張所	手動	—



浸水深ランク	0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
	0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

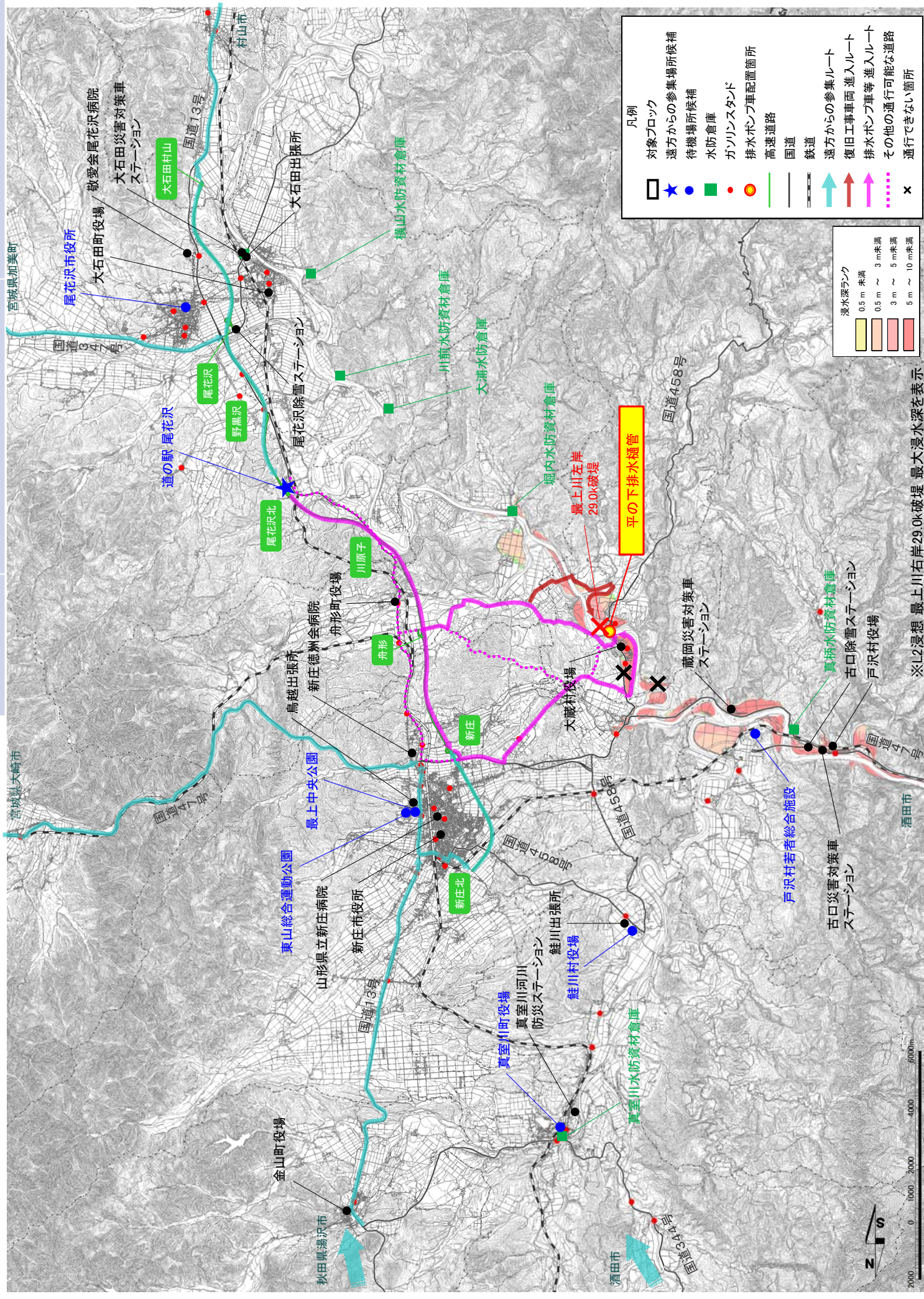
：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 9台  
(1パーティ3台 × 3パーティ = 9台)

## ブロック⑥ 大蔵村 白須賀地区(MOL-13)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

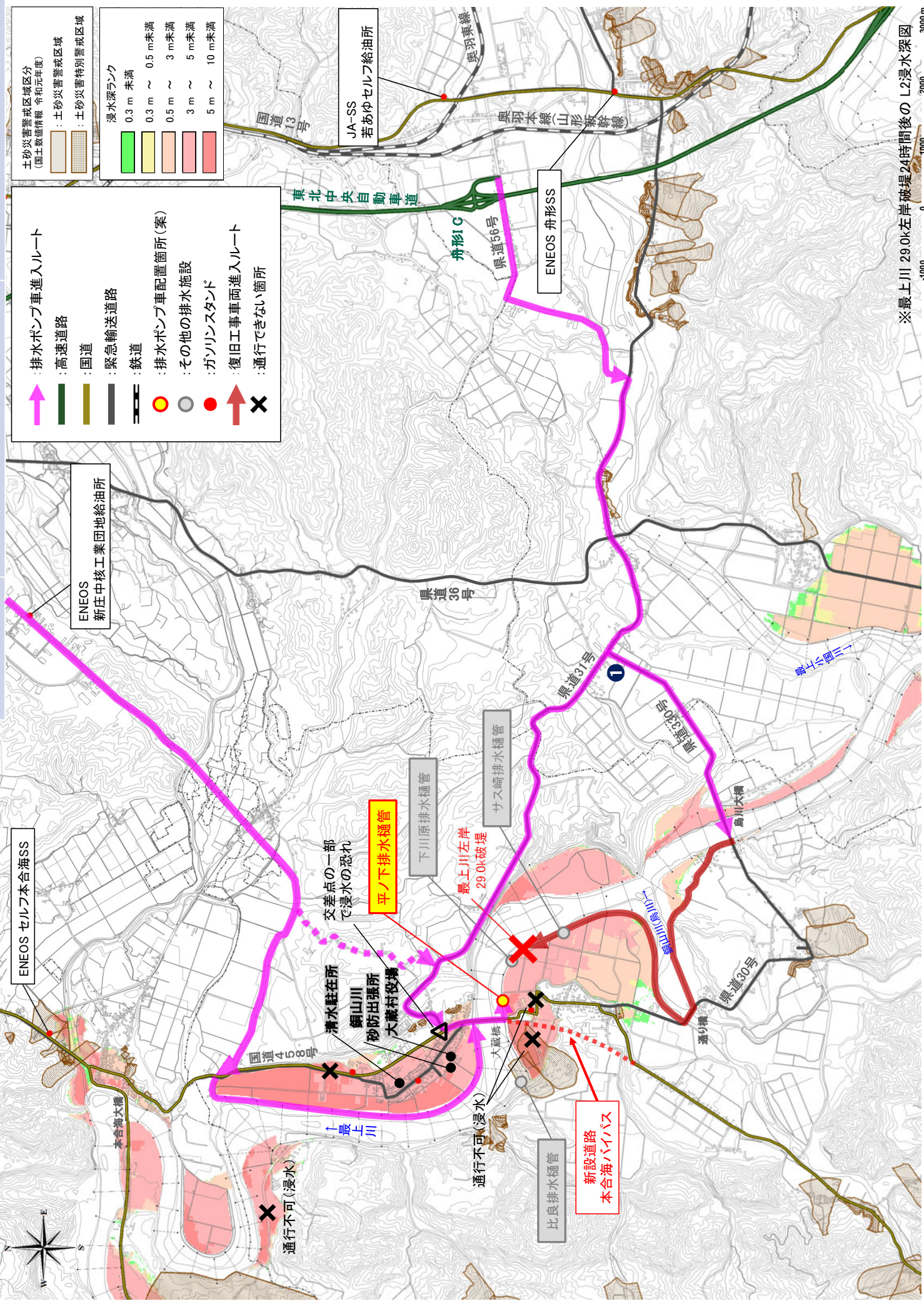


※L2浸想定 最上川右岸29.0k破堤 最大浸水深を表示

最上川左岸29.0k

道の駅 尾花沢

平の下の排水樋管



- 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

- 土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)
  - 土砂災害警戒区域
  - 土砂災害特別警戒区域
- 浸水深ランク
- 0.3 m 未満
  - 0.3 m ~ 0.5 m 未満
  - 0.5 m ~ 3 m 未満
  - 3 m ~ 5 m 未満
  - 5 m ~ 10 m 未満

通行不可(浸水)

清水駐在所  
銅山川  
砂防出張所  
大蔵村役場

平ノ下排水樋管

下川原排水樋管

最上川左岸  
29.0k破堤

サス崎排水樋管

比良排水樋管

新設道路  
本舎海バイパス

舟形IC

県道56号

ENEOS 舟形SS

JA-SS  
若あゆセルフ給油所

国道13号

東北中央自動車道

奥羽本線 山形新幹線

奥羽東線

最上川

鳥川大橋

通り橋

増屋33号

県道31号

県道36号

※最上川 29.0k左岸破堤24時間後のL2浸水深図





① 県道31号を直進②へ進む  
⑤に向かう場合は左折して県道30号へ【位置は1/2に掲載】



③ 県道31号から左折して国道488号へ一部浸水の恐れがあるため注意



⑤ 県道330号鳥川大橋を渡って五折 復旧工事車両進入ルートへ



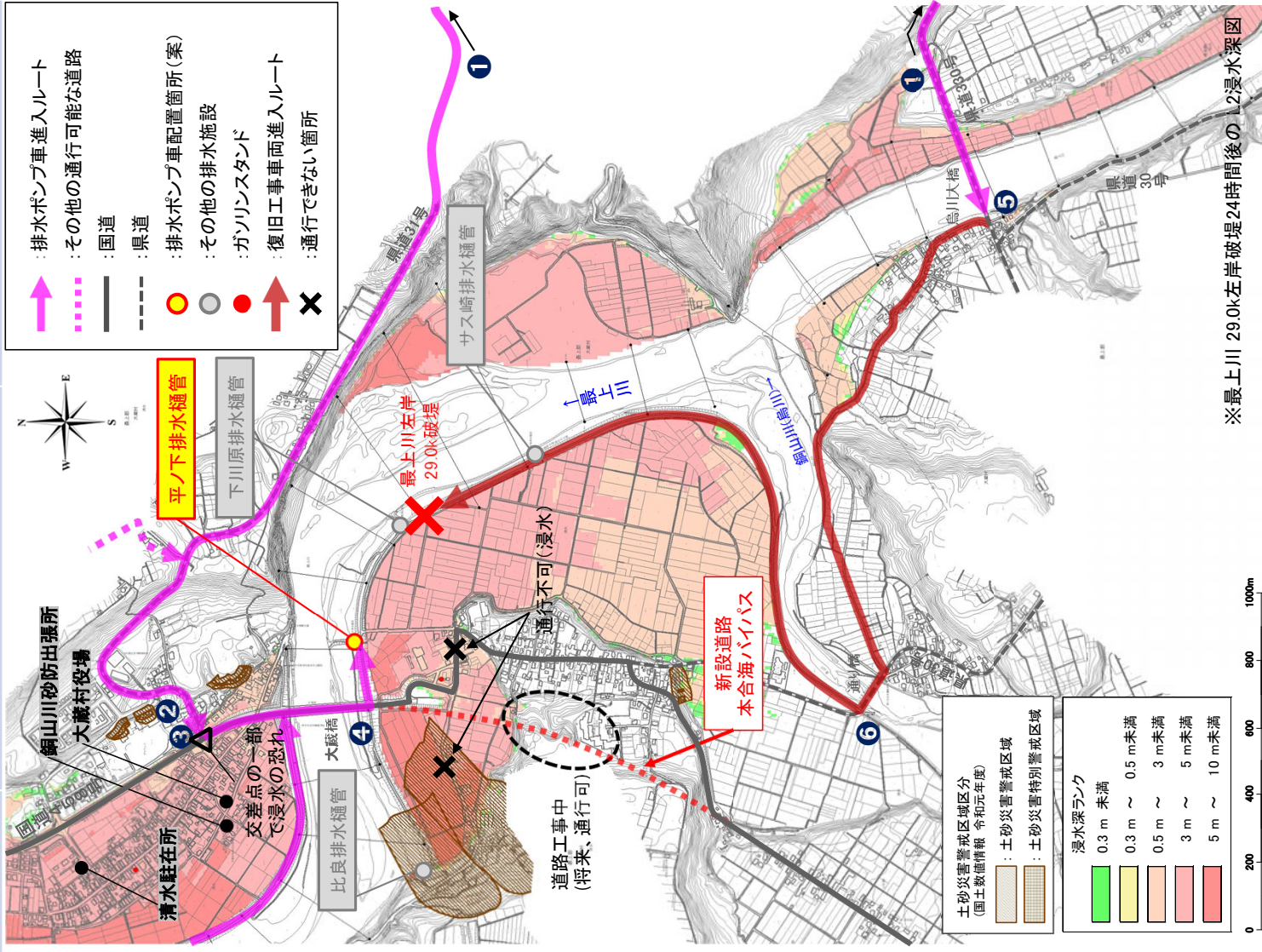
② 国道458号との交差点まで道なりに進む



④ 国道458号大蔵橋を渡って左折



⑥ 県道30号通り橋を渡り、右折して河川管理道路へ



最上川左岸29.0k

道の駅 尾花沢

平の下排水樋管



- : 排水ポンプ車進入ルート
- : その他の通行可能な道路
- : 国道
- : 県道
- : 排水ポンプ車配置箇所(案)
- : その他の排水施設
- : ガソリンスタンド
- : 復旧工事車両進入ルート
- : 通行できない箇所

平ノ下排水樋管

下川原排水樋管

サス崎排水樋管

最上川左岸  
29.0k破堤

通行不可(浸水)

新設道路  
本合海ハイパス

土砂災害警戒区域区分  
(国土数値情報 令和元年度)

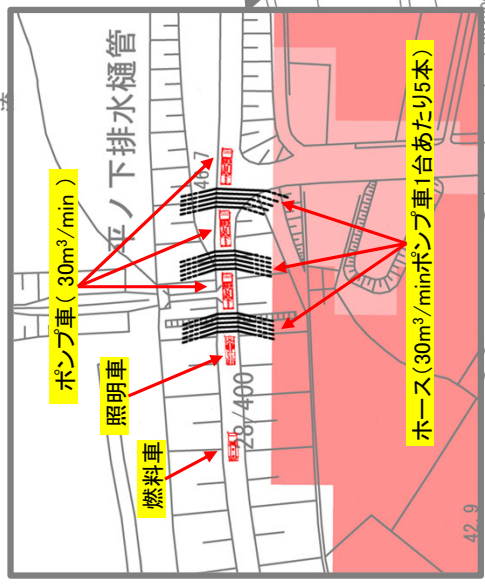
- : 土砂災害警戒区域
- : 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

	0.3 m 未満
	0.3 m ~ 0.5 m 未満
	0.5 m ~ 3 m 未満
	3 m ~ 5 m 未満
	5 m ~ 10 m 未満

※最上川 29.0k左岸破堤24時間後の②浸水深図

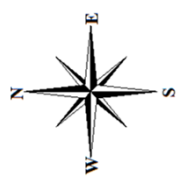
排水ポンプ車配置箇所	平ノ下排水樋管	天端幅	約4.5m	排水先	最上川左岸28.4k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
管理所管	TEL	担当出張所	鳥越出張所	門扉形式	平ノ下排水樋管 水路	〇 配置可能	× 配置不可
新庄河川事務所管理課	0233-22-0275	機動電動及び手動	有	操作規則等			



平ノ下排水樋管

未舗装区間

1パーティ



浸水深ランク

0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満

氾濫流が集まりやすい箇所  
 浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施



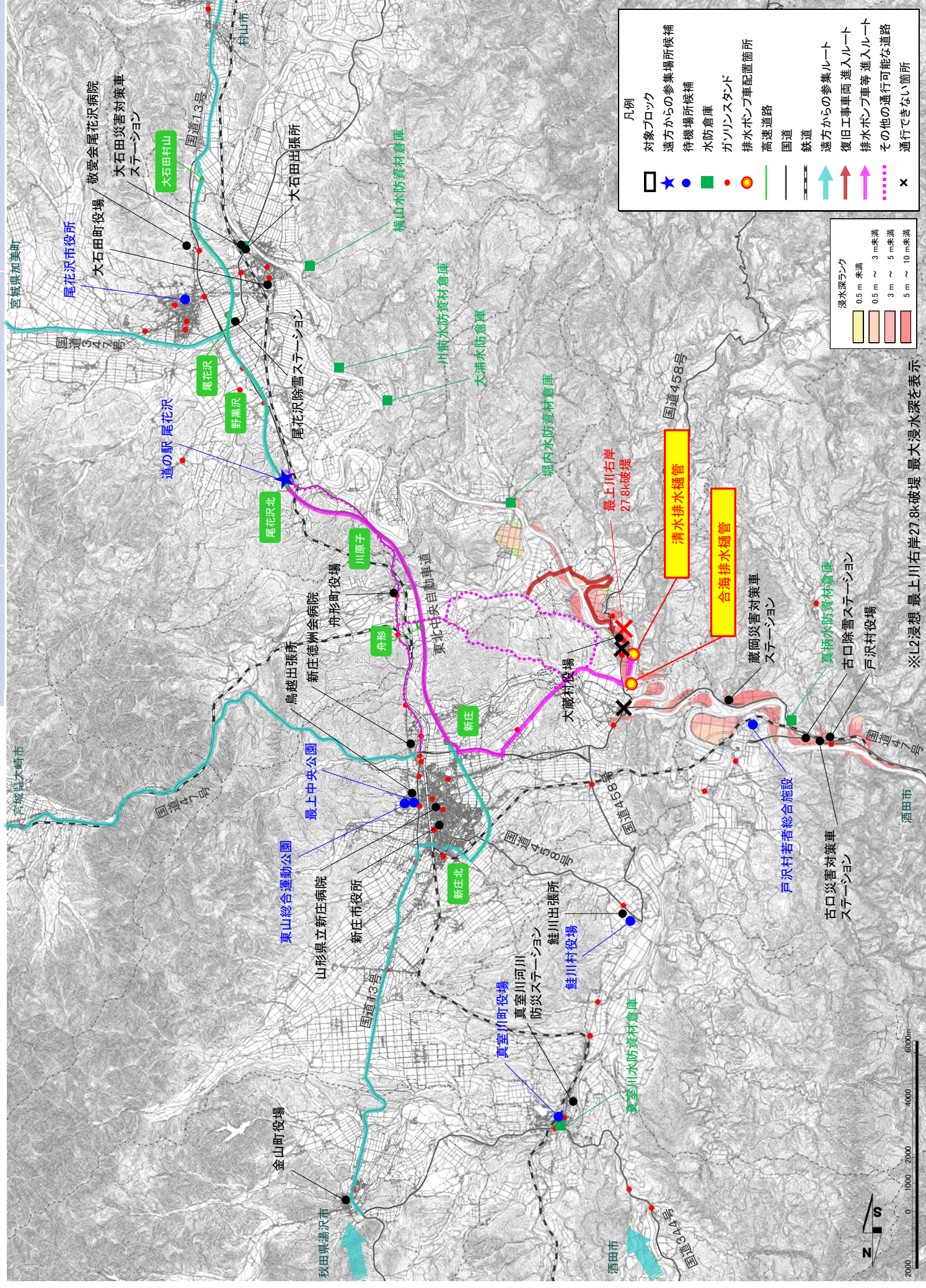
※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 12台  
 (1パーティ3台 × 4パーティ = 12台)



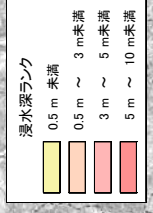
## ブロック⑦ 大蔵村 清水地区(MOR-13)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

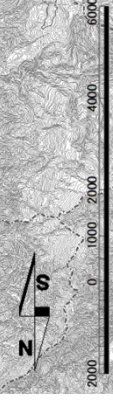


凡例

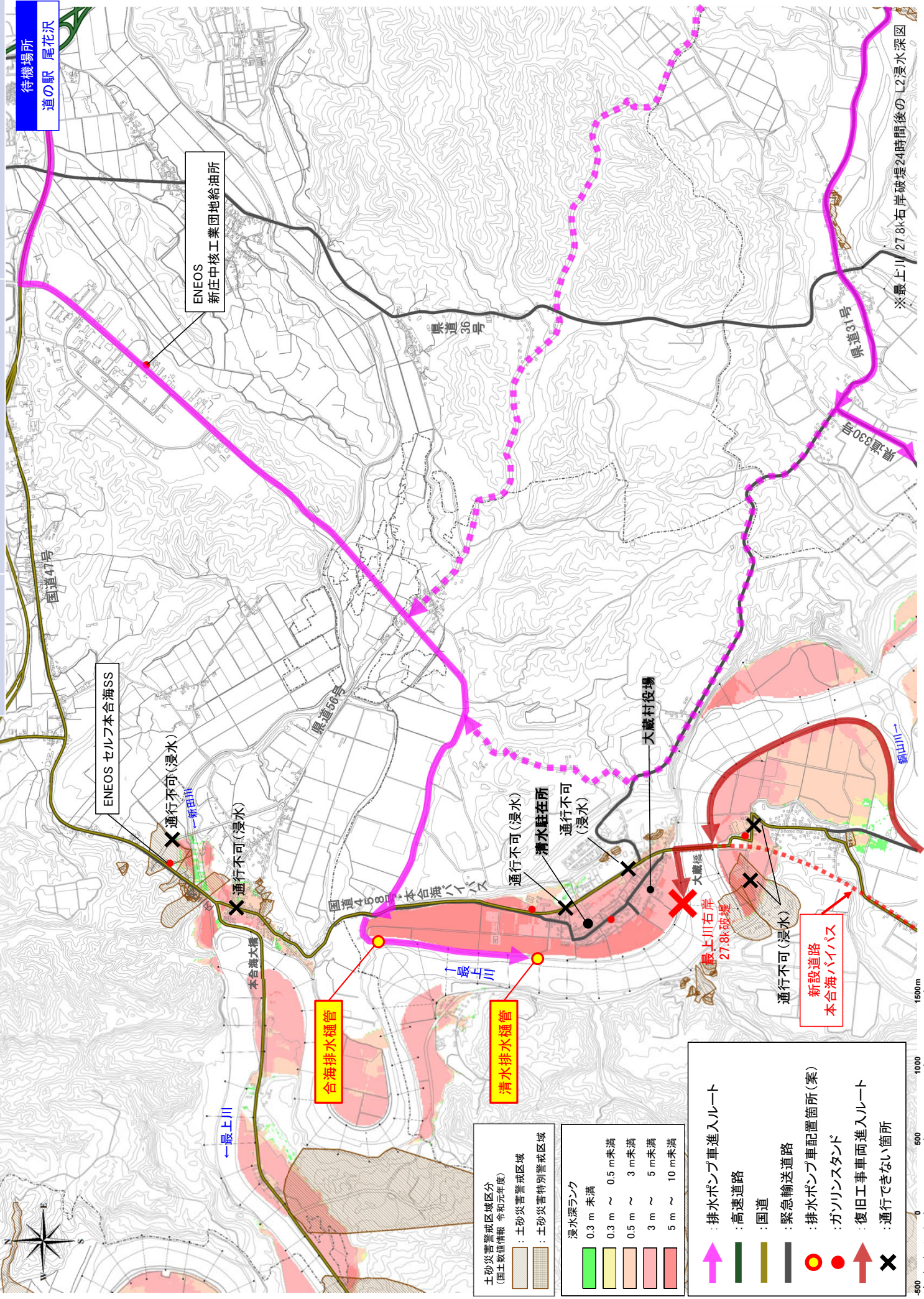
- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所



※L2浸想 最上川右岸27.8k破堤 最大浸水深を表示







待機場所  
道の駅 尾花沢

ENEOS セルフ本合海SS  
通行不可(浸水)

ENEOS  
新庄中核工業団地給油所  
通行不可(浸水)

合海排水樋管

清水排水樋管

大蔵村役場  
通行不可(浸水)

最上川右岸  
27.8k破堤

新設道路  
本合海バイパス  
通行不可(浸水)

土砂災害警戒区域区分  
(国土数値情報 令和5年度)

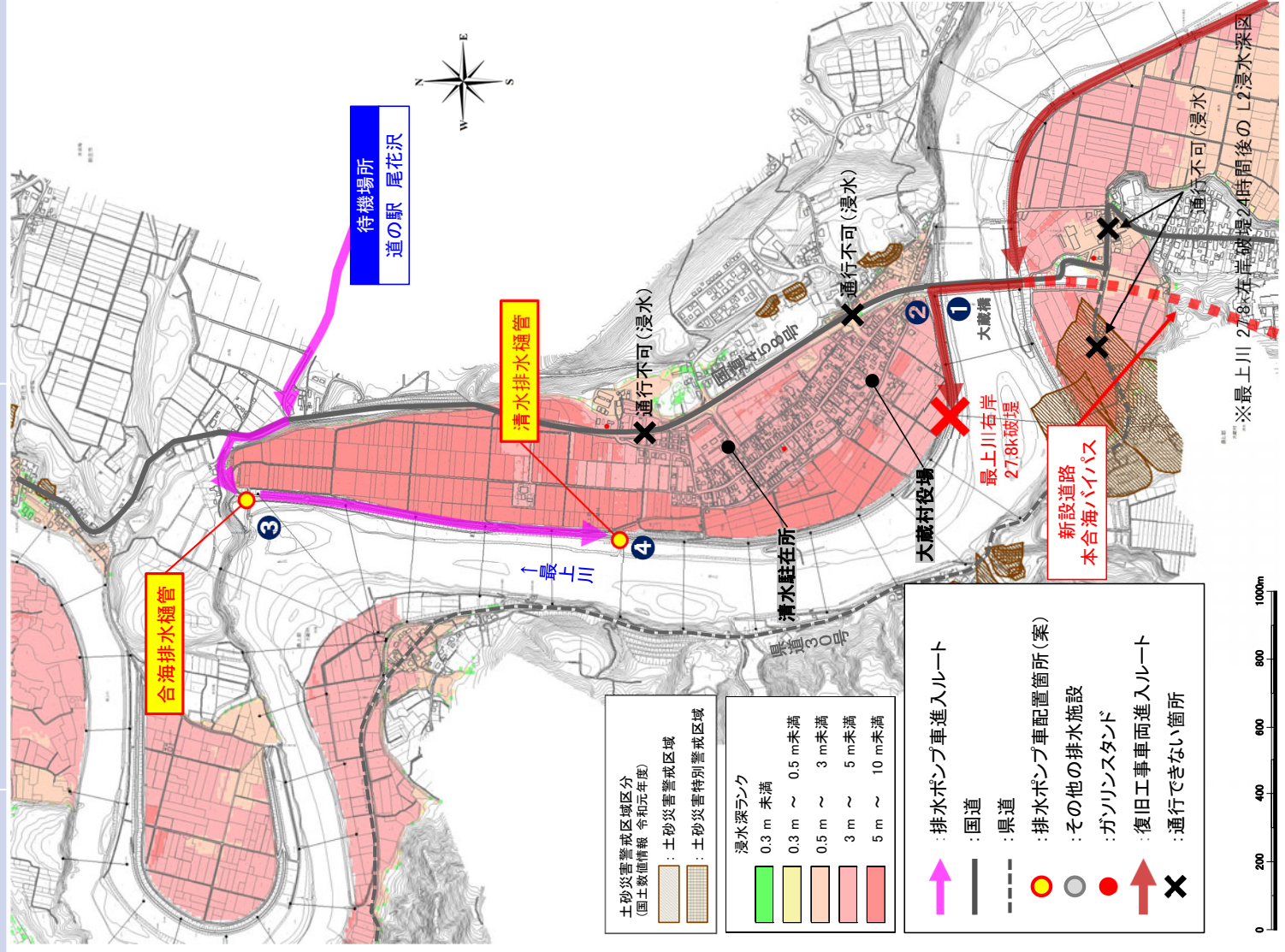
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク	色
0.3 m 未満	緑
0.3 m ~ 0.5 m 未満	黄緑
0.5 m ~ 3 m 未満	黄
3 m ~ 5 m 未満	オレンジ
5 m ~ 10 m 未満	赤

- 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所



※最上川 27.8k右岸破堤24時間後のL2浸水深図

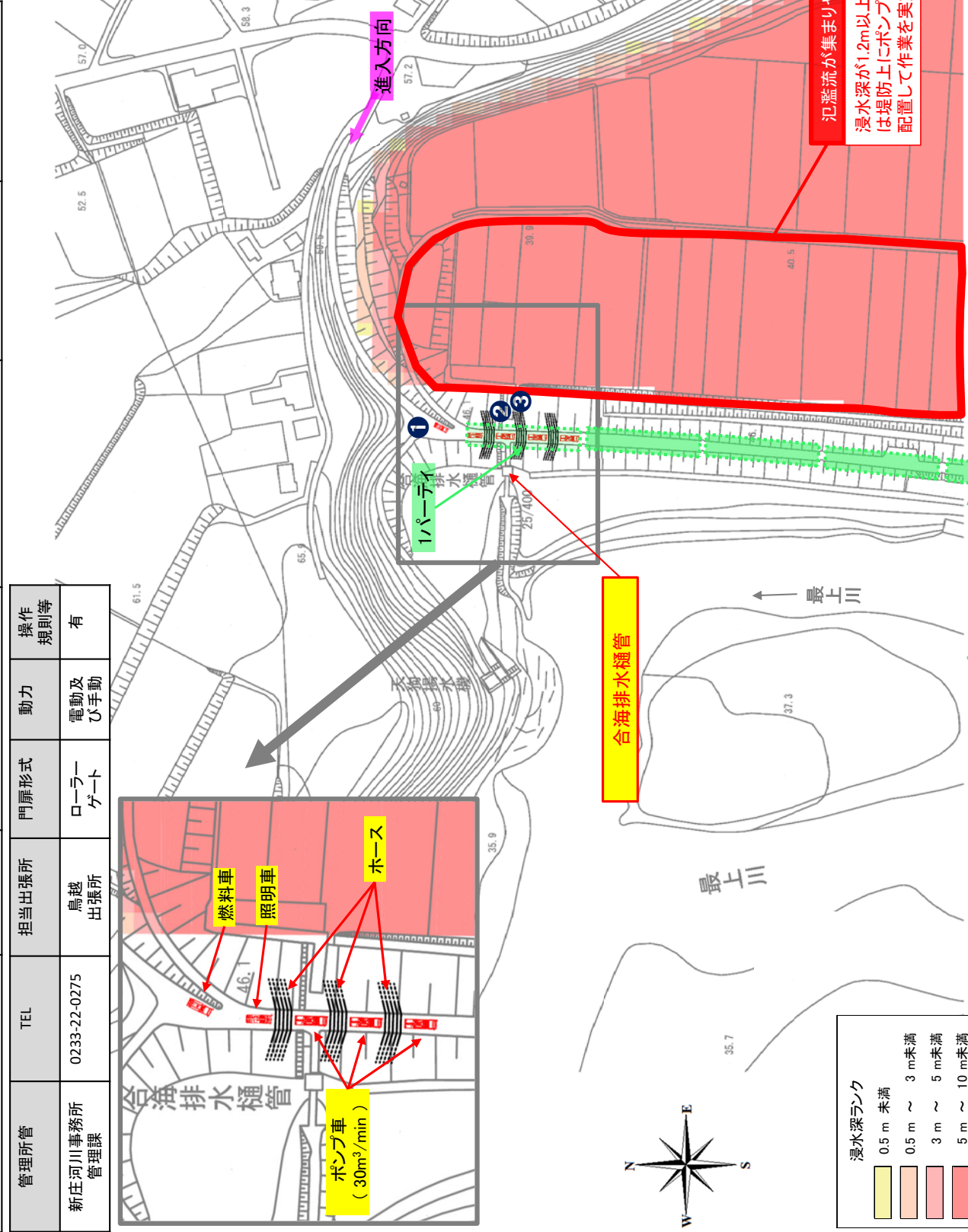


0 200 400 600 800 1000m

破堤地点  
最上川右岸27.8k

道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所 台海排水樋管	天端幅 約4.8m	排水元 台海排水樋管 水路	排水先 最上川右岸25.4k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車 ○ 配置可能 60m <sup>3</sup> /minポンプ車 × 配置不可
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 鳥越 出張所	門扉形式 ローラー ゲート	
		動力 電動及 び手動	操作 規則等 有	



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満
5 m ~	

：1パーティ目安

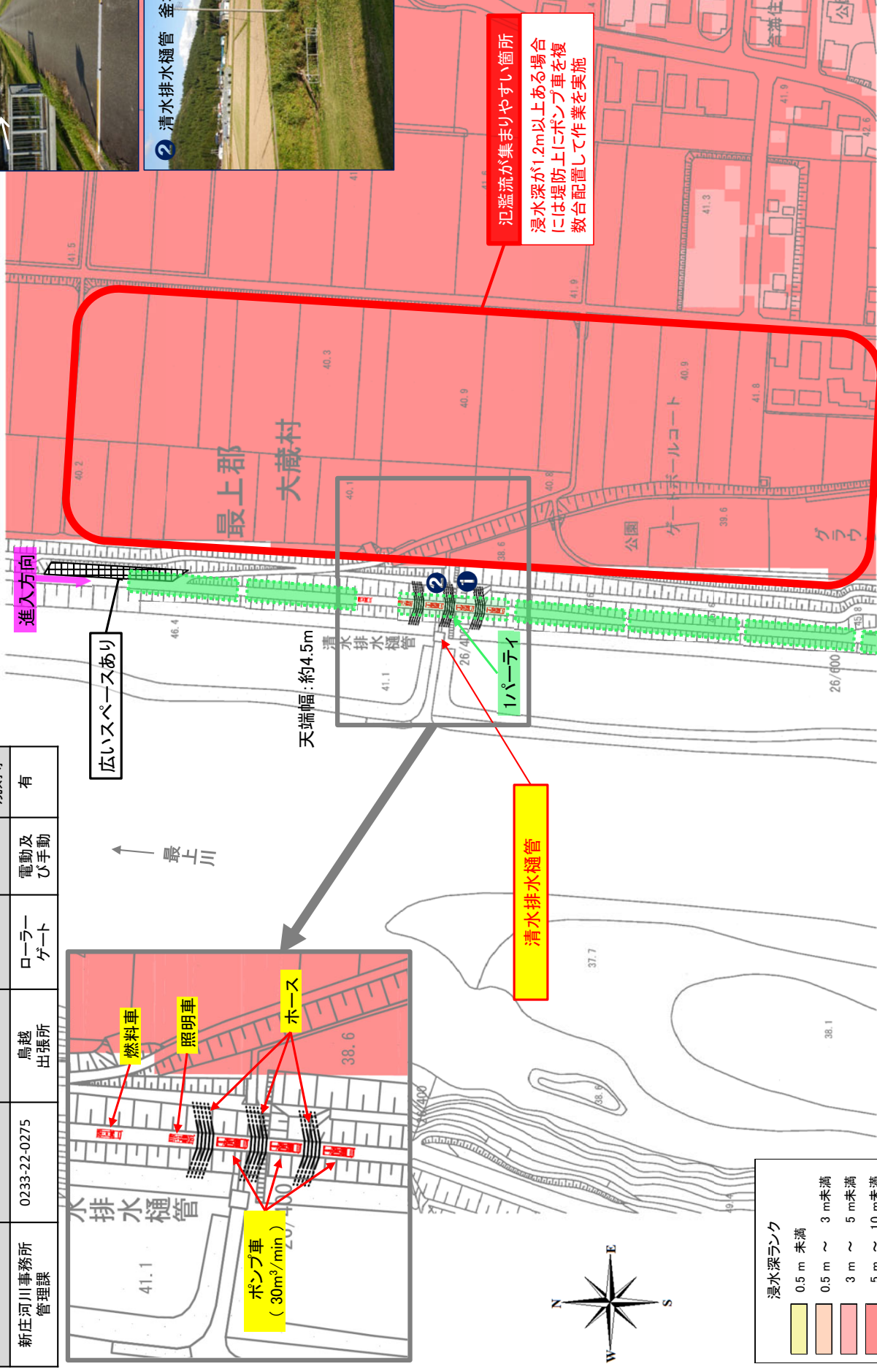
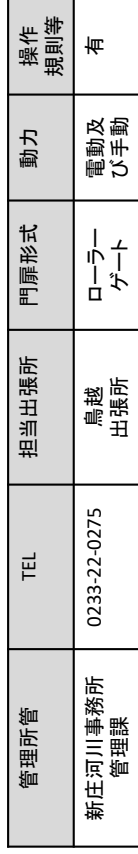
※L2浸想最大浸水深を表示



氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には  
堤防上にポンプ車を複数台  
配置して作業を実施

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 15 台  
(1パーティ3台 × 5パーティ = 15台)

排水ポンプ車配置箇所 清水排水樋管	天端幅 約4m	排水元 清水排水樋管 水路	排水先 最上川右岸26.4k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車 ○ 配置可能 60m <sup>3</sup> /minポンプ車 × 配置不可
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 鳥越 出張所	ローラー ゲート	動力 電動及 び手動
		操作 規則等		有



氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合  
には堤防上にポンプ車を複  
数台配置して作業を実施

〔坂路付近まで配置〕

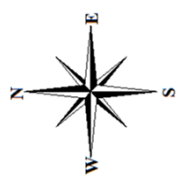
浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 21 台  
(1パーティ3台 × 7パーティ = 21台)



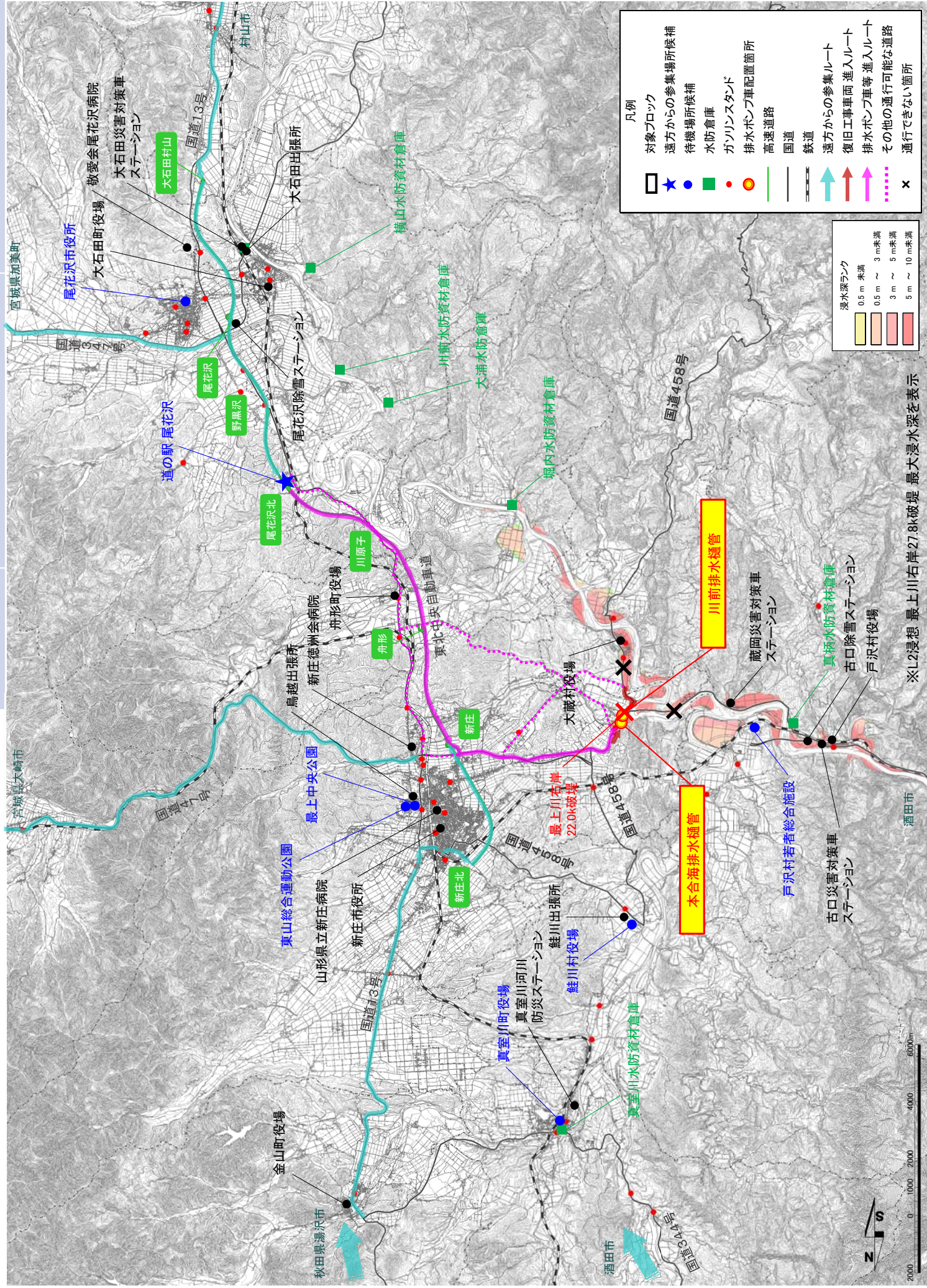
## ブロック⑧ 新庄市 鶴の子地区(MOR-20)

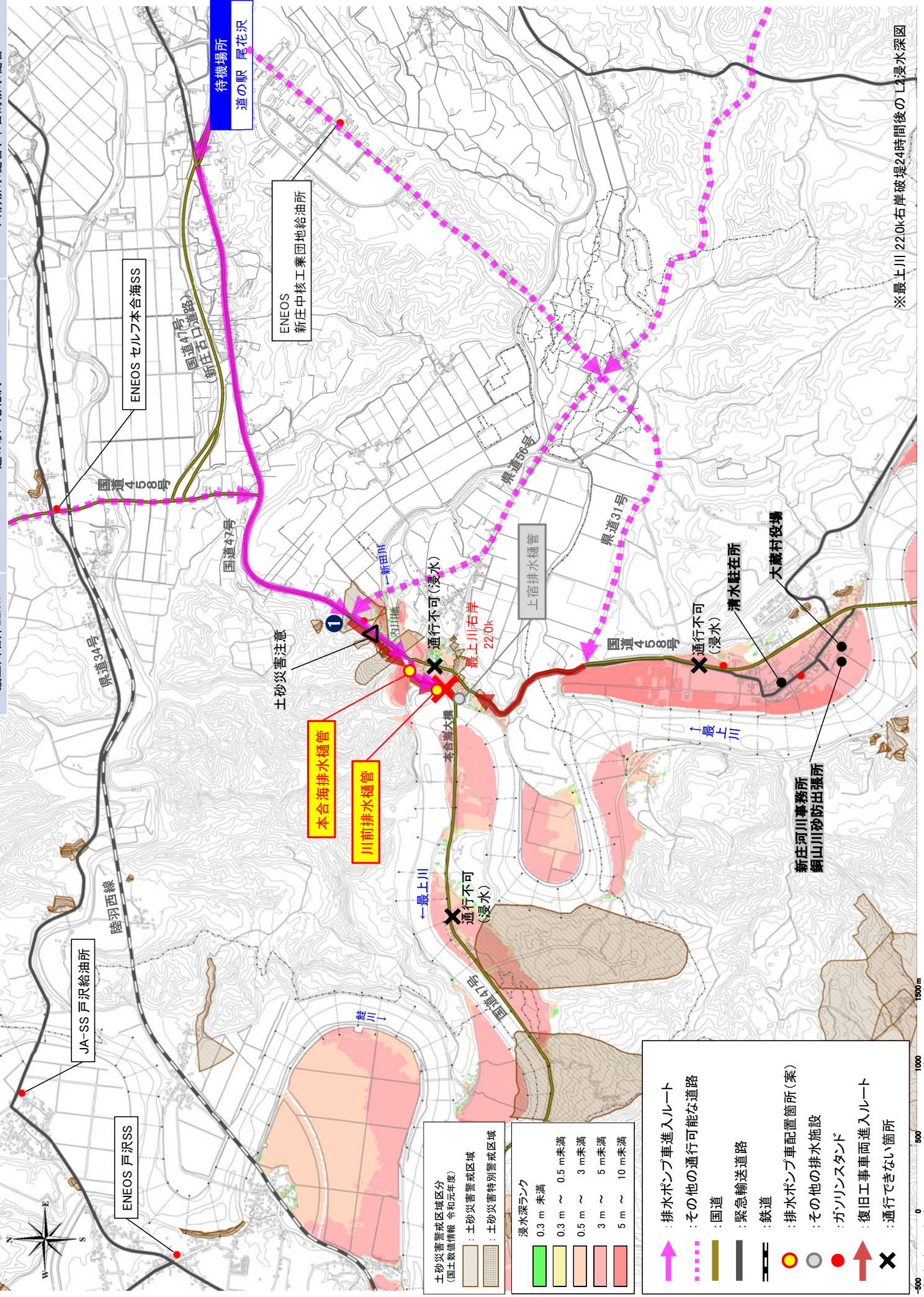
- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

最上川右岸22.0k

道の駅 尾花沢

川前排水樋管、本台海排水樋管





土砂災害警戒区域区分  
(国土数値情報 令和5年度)

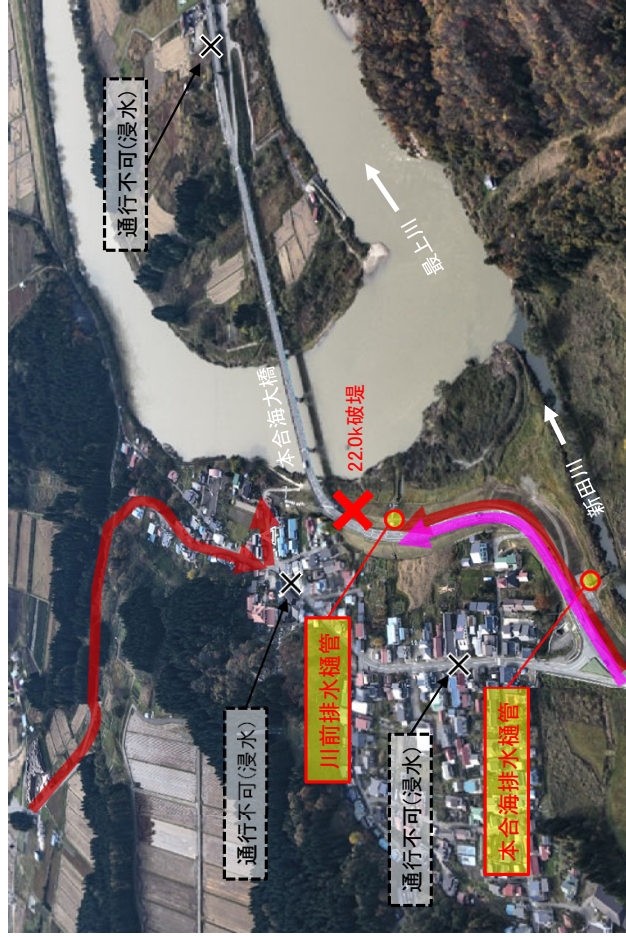
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
----------	------------------	----------------	--------------	---------------

- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
  - 国道
  - 緊急輸送道路
  - 鉄道
  - 排水ポンプ車配置箇所(案)
  - その他の排水施設
  - ガソリンスタンド
  - 復旧工事車両進入ルート
  - 通行できない箇所

※最上川 22.0k 右岸破堤24時間後の L2 浸水深図



① 国道47号を直進  
【位置は1/2に掲載】



③ 本台海排水樋管及び破堤地点への  
進入路



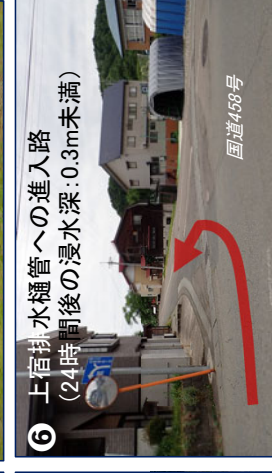
⑤ 上宿排水樋管への進入路  
(24時間後の浸水深:0.3m未満)



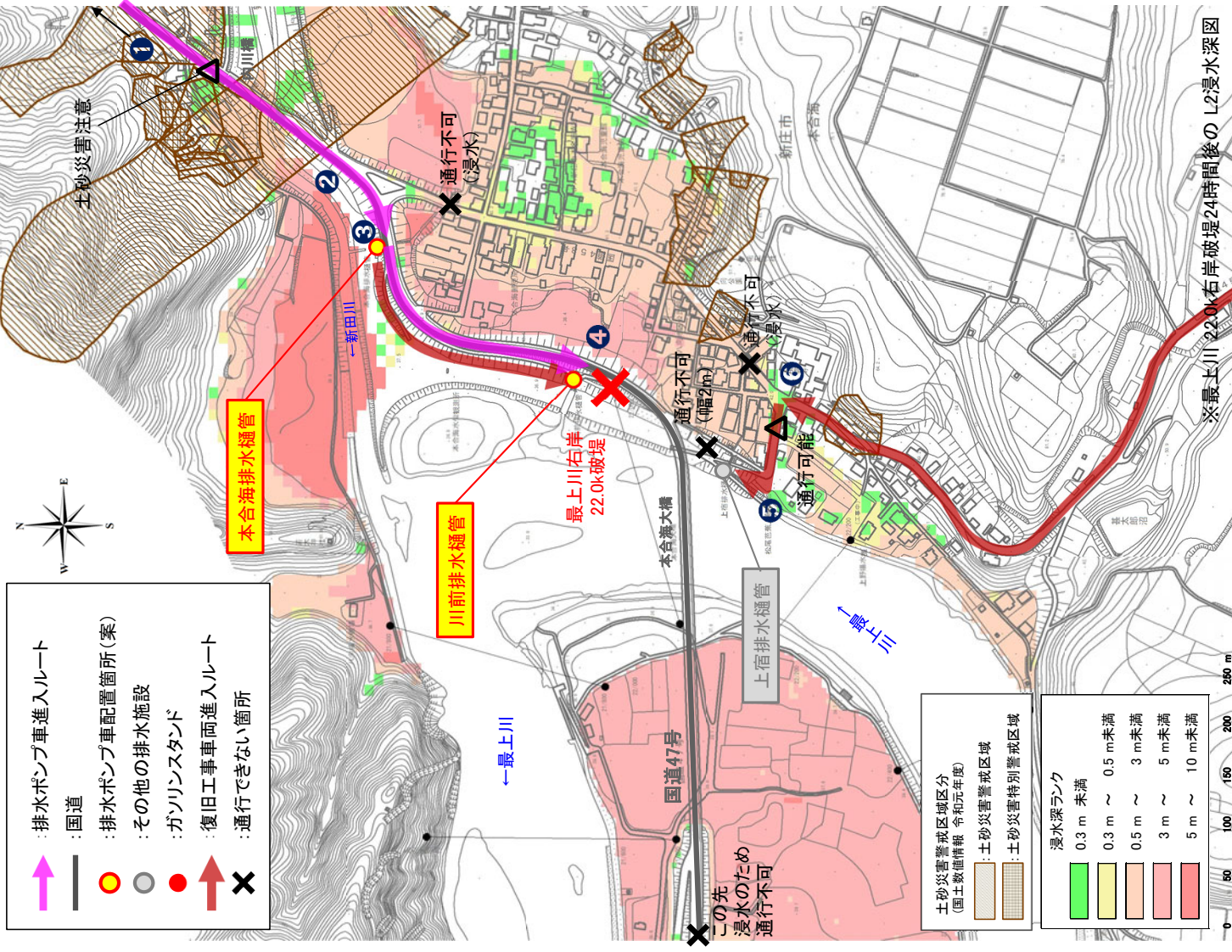
② 本台海排水樋管及び破堤地点への  
進入路 国道47号上での作業も可能



④ 川前排水樋管付近  
国道47号上での作業も可能



⑥ 上宿排水樋管への進入路  
(24時間後の浸水深:0.3m未満)





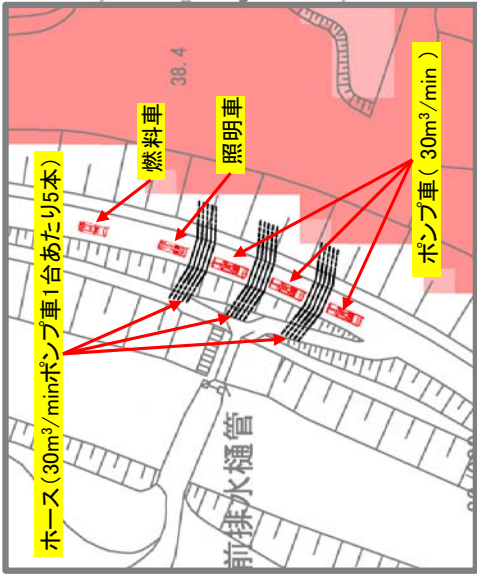
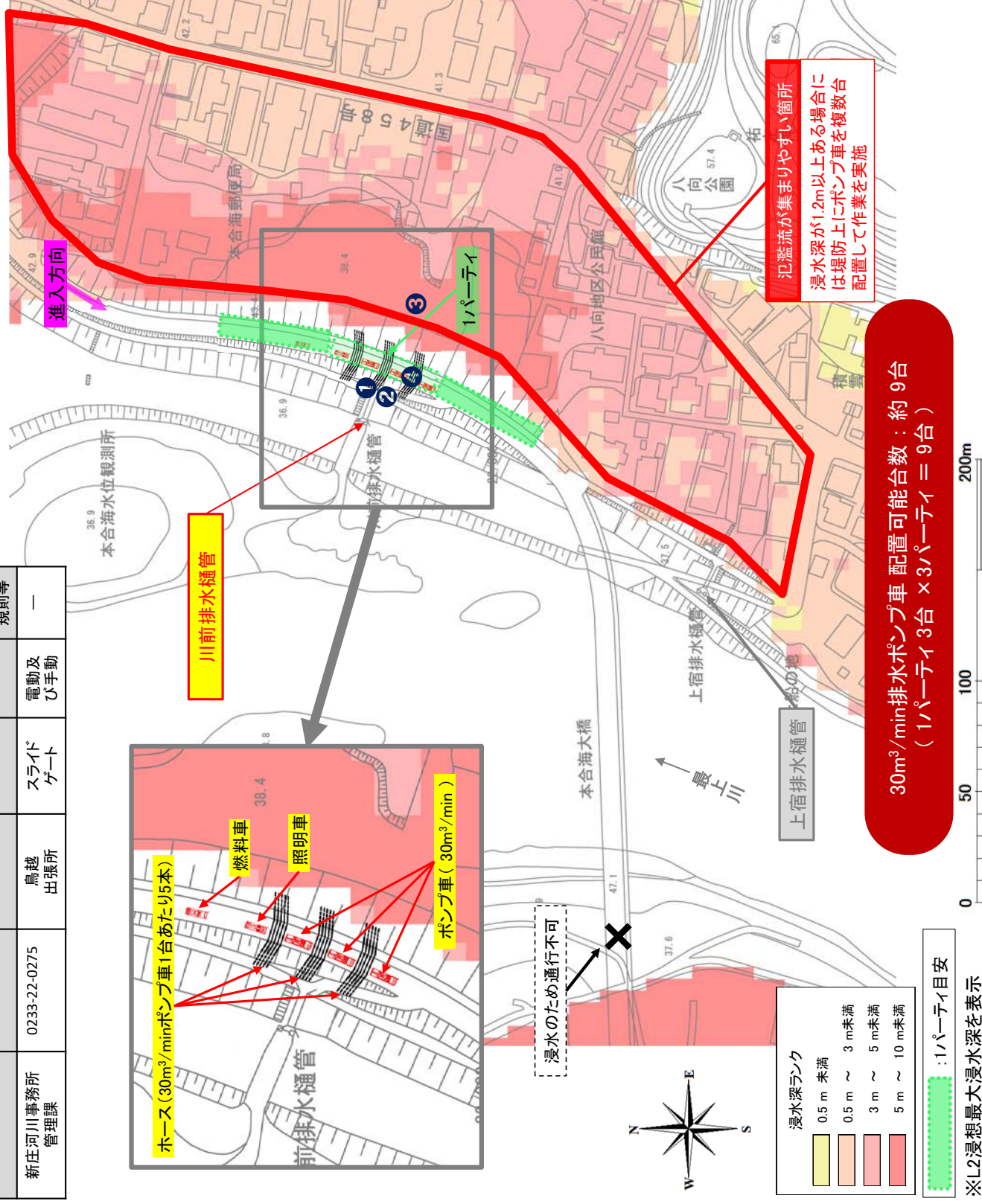
最上川右岸22.0k

道の駅 尾花沢

川前排水樋管、本合海排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
川前排水樋管	約7m	川前排水樋管 水路	最上川右岸21.94k付近	○ 配置可能	○ 配置可能

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	スライド ゲート	電動及 び手動	—



浸水深ランク	浸水深
0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満
3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

：1/パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 9台  
 (1/パーティ 3台 × 3/パーティ = 9台)

氾濫流が集まりやすい箇所  
 浸水深が1.2m以上ある場合には  
 堤防上にポンプ車を複数台  
 配置して作業を実施



① 川前排水樋管



② 川前排水樋管  
小段 舗装幅3m程度だけあり



③ 川前排水樋管 釜場あり



④ 国道47号上で作業実施  
幅5m以上 ガードレールあり

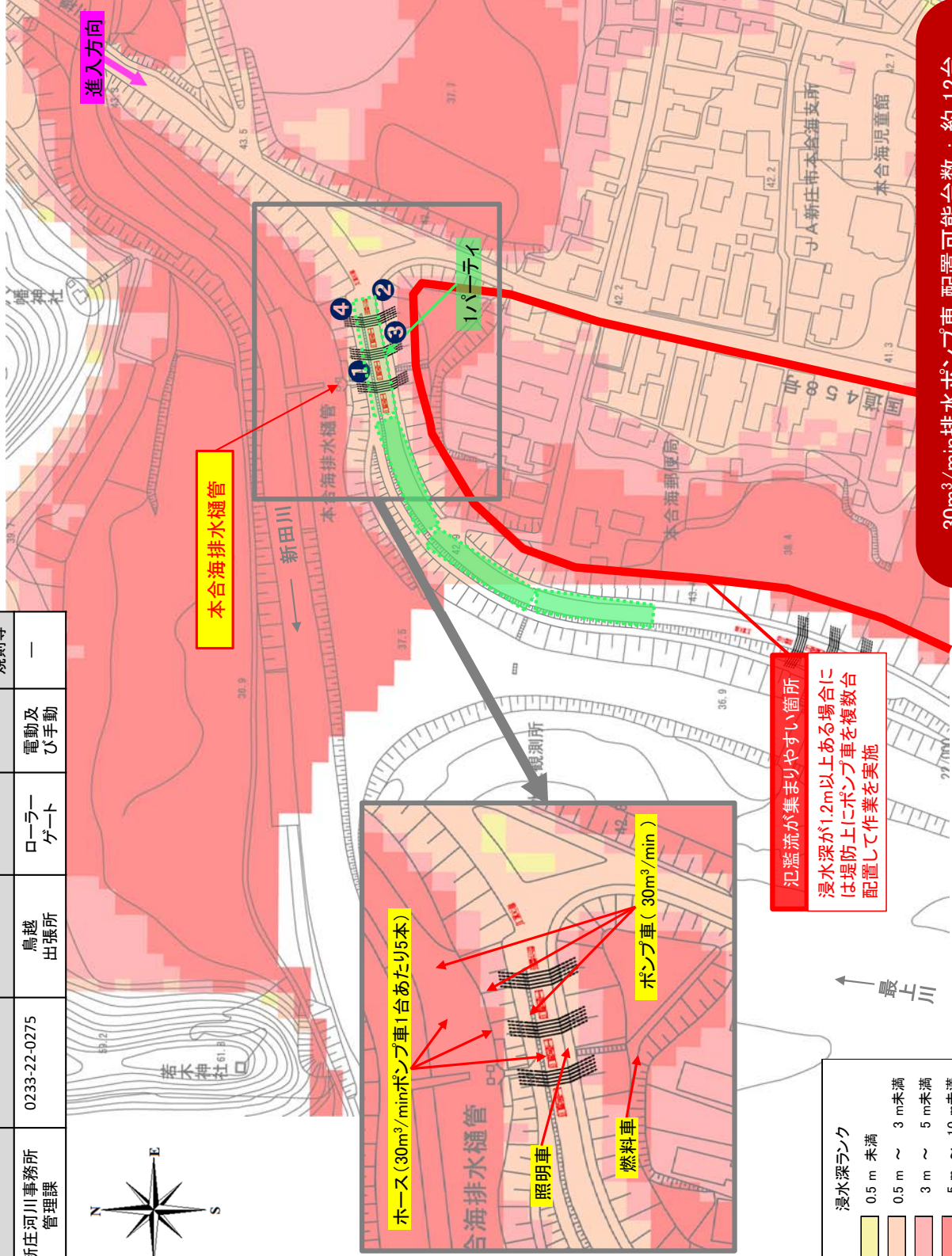
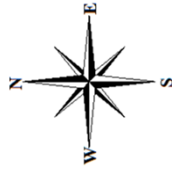
道の駅 尾花沢

最上川右岸22.0k

川前排水樋管、本合海排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
本合海排水樋管	約7m	本合海排水樋管 水路	最上川右岸21.90k付近	○ 配置可能	○ 配置可能

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	ローラー ゲート	電動及 び手動	—



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満

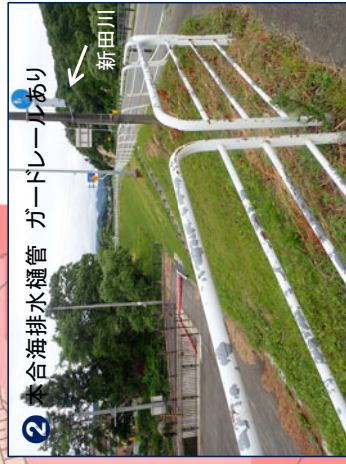
：1/パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 12台  
(1/パーティ3台 × 4/パーティ = 12台)



① 本合海排水樋管



② 本合海排水樋管 ガードレールあり



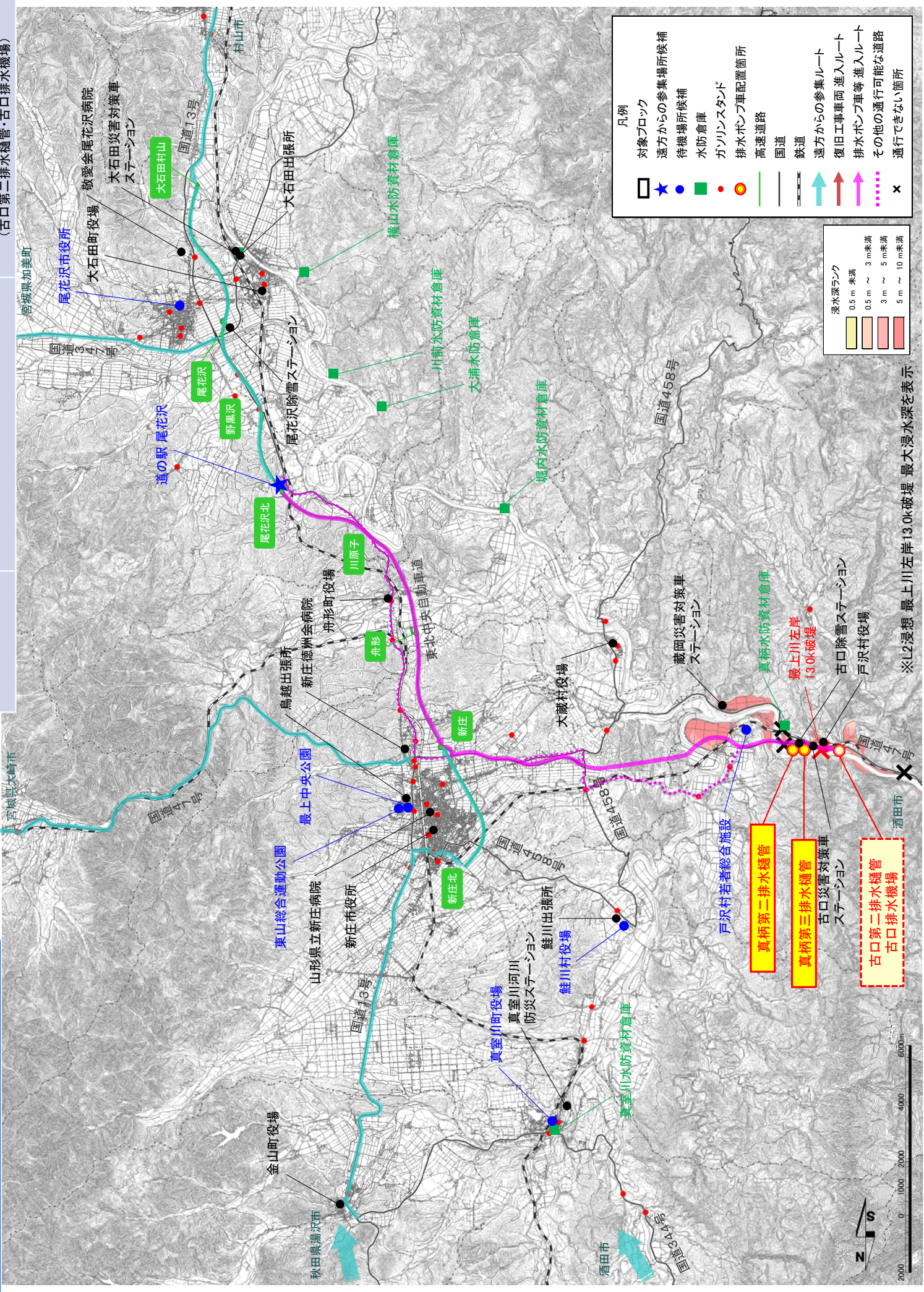
③ 本合海排水樋管 排水ピットあり 釜場道地



④ 本合海排水樋管への進入路 国道47号上で作業実施

## ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区(MOL-17)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



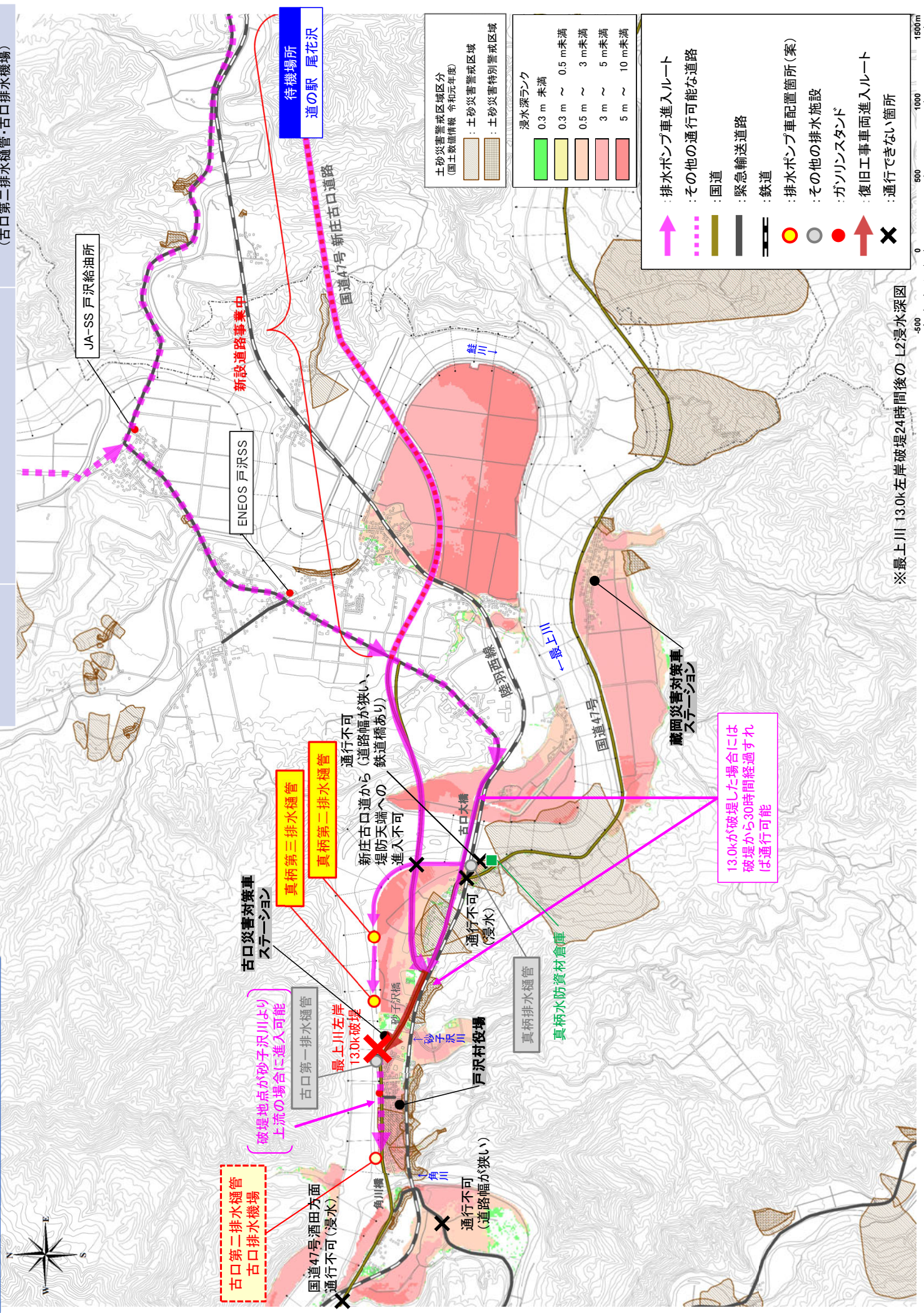
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所

浸水深ランク

- 0.5 m 未満
- 0.5 m ~ 3 m未満
- 3 m ~ 5 m未満
- 5 m ~ 10 m未満

※L2浸想 最上川左岸13.0k破堤 最大浸水深を表示



古口第二排水樋管  
古口排水機場

古口第一排水樋管  
最上川左岸  
13.0k破堤  
(破堤地点が砂子沢川より  
上流の場合に進入可能)

真柄第三排水樋管

真柄第二排水樋管

古口災害対策車  
ステーション

通行不可  
新庄古口道から(道路幅が狭い、  
堤防天端への 鉄道橋あり)  
進入不可

通行不可  
(道路幅が狭い)

通行不可  
(浸水)

古口大橋

戸沢村役場

砂子沢川

砂子沢橋

角川橋

角川

一最上川

銚子川

国道47号 新庄古口道路

道の駅 尾花沢

待機場所

ENEOS 戸沢SS

JA-SS 戸沢給油所

新設道路事業中

蔵面災害対策車  
ステーション

真柄排水樋管

真柄水防資材倉庫

土砂災害警戒区域区分  
(国土数値情報 令和5年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
----------	------------------	----------------	--------------	---------------

- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所

13.0kが破堤した場合には  
破堤から30時間経過すれば  
通行可能

※最上川 13.0k左岸破堤24時間後の L2浸水深図

ブロック⑨ 戸沢村 真柄、古口地区 (MOL-17)

② 進入ルート図 (2/2)



H29.11.01撮影 斜め写真



② 新国道47号ボックスカルバート  
幅4m程度、高さ4.5m程度



① 復旧工事車両進入路  
天端幅4.5m程度



④ この辺りは破堤は24時間後も浸水

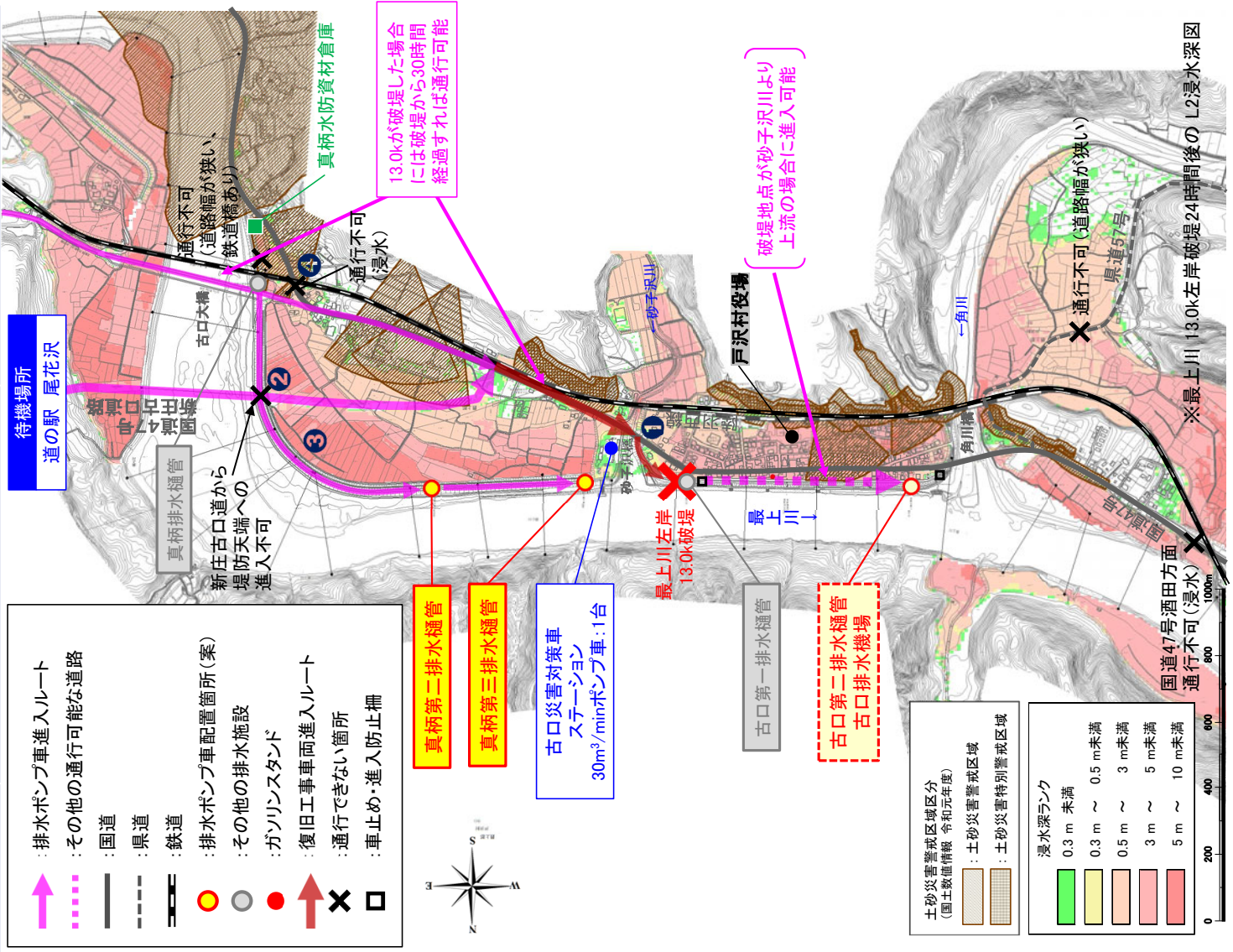


③ 新庄古口道路は古口除雪ステーション付近で国道47号につながる

破堤地点 最上川左岸 13.0k

参考場所 道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所 真柄第二排水樋管、真柄第三排水樋管 (古口第二排水樋管・古口排水機場)



- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 県道
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所
- 車止め・進入防止柵

真柄第二排水樋管

真柄第三排水樋管

古口災害対策車ステーション  
30m<sup>3</sup>/minポンプ車:1台

古口第二排水樋管  
古口排水機場

土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)

土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

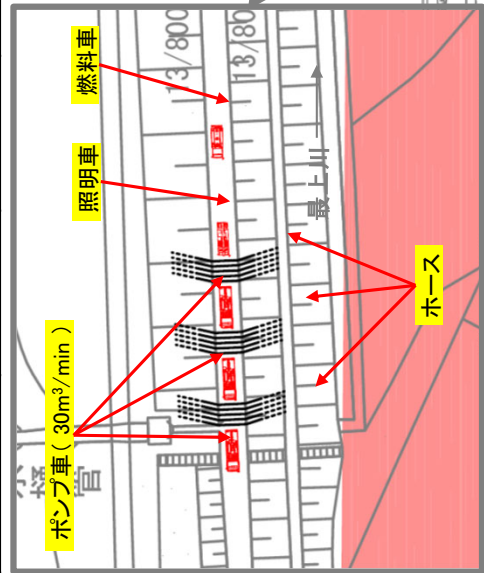
0.3 m 未満
0.3 m ~ 0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

国道47号酒田方面 通行不可(浸水)

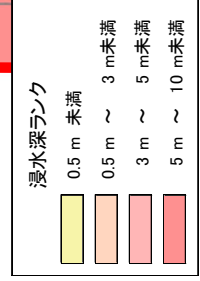
※最上川 13.0k 左岸破堤24時間後の L2:浸水深図

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
真柄第二排水樋管	約3.5m	真柄第二排水樋管 水路	最上川右岸13.8k付近	○ 配置可能	×

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	スライド ゲート	動力及び 手動	有



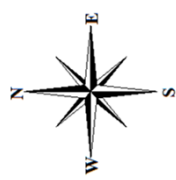
氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には  
堤防上にポンプ車を複数台  
配置して作業を実施



：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 30 台  
(1パーティ3台 × 10パーティ = 30台)



### ③ 排水ポンプ車等の配置図(2/3)

ブロック⑨  
戸沢村 真柄、古口地区(MOL-17)

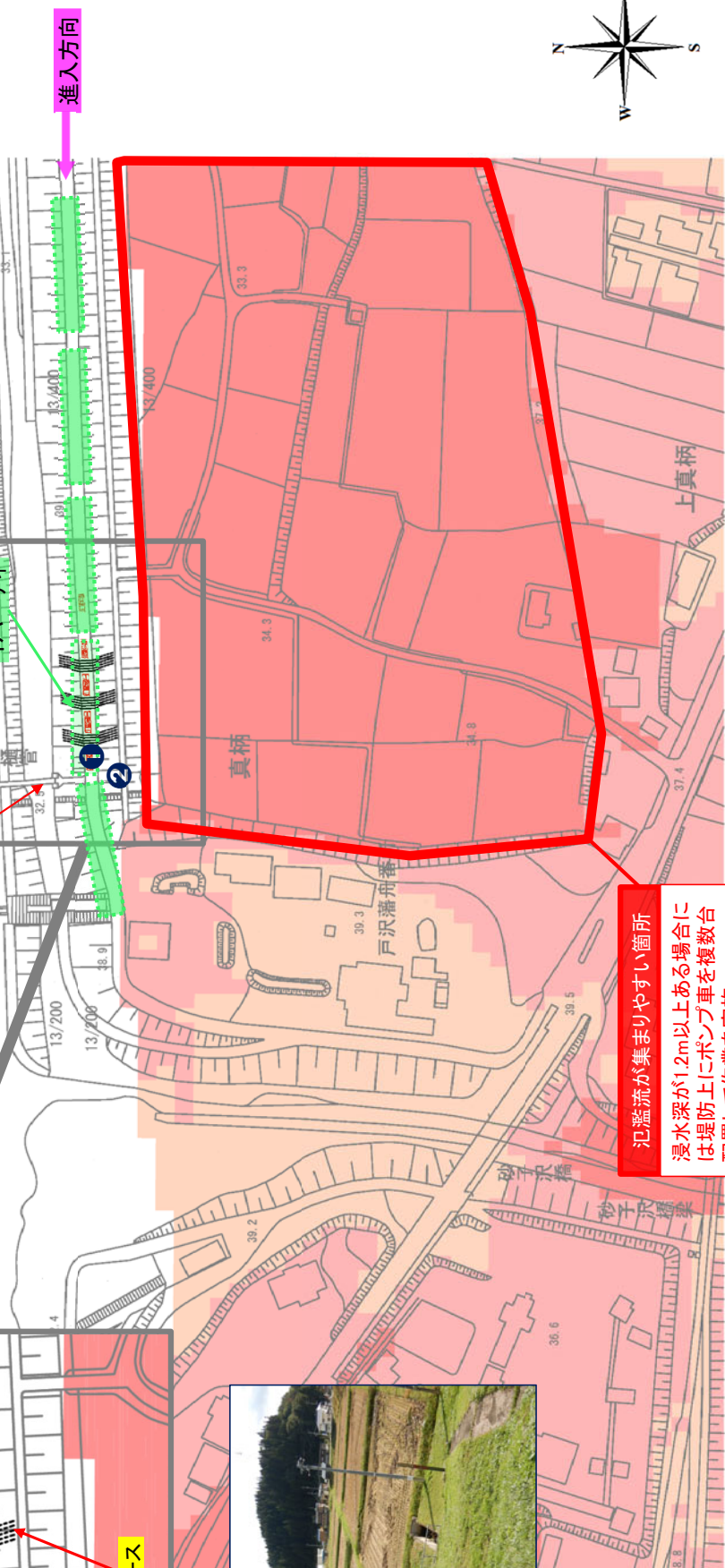
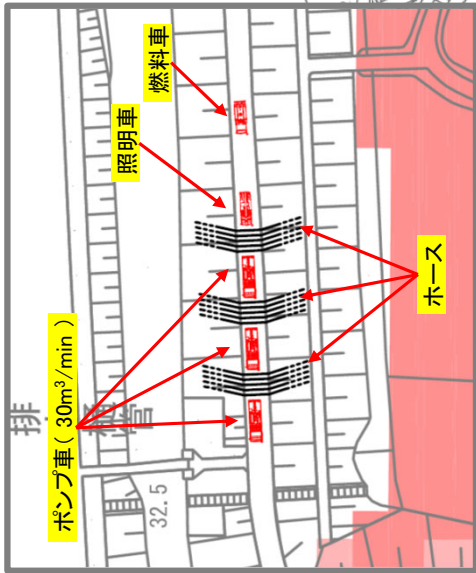
破堤地点  
最上川左岸13.0k

参考場所  
道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所  
真柄第二排水樋管・真柄第三排水樋管  
(古口第二排水樋管・古口排水機場)

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
真柄第三排水樋管	約3.5m	真柄第三排水樋管 水路	最上川左岸13.4k付近
管理所管	TEL	門扉形式	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	スライド ゲート	簡易動力 及び手動
	担当出張所		操作 規則等
	鳥越 出張所		有

ポンプ車 (30m <sup>3</sup> /min)	燃料車	照明車	ホース
------------------------------	-----	-----	-----



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満

氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には  
堤防上にポンプ車を複数台  
配置して作業を実施

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 15 台  
(1パーティ 3台 × 5パーティ = 15台)

※L2浸想最大浸水深を表示  
: 1パーティ目安



### ③ 排水ポンプ車等の配置図(3/3)

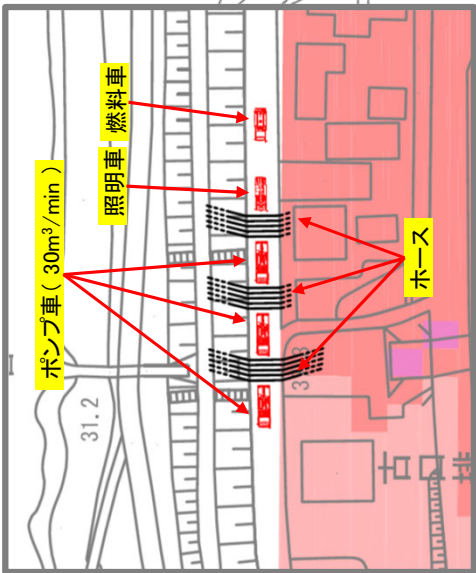
ブロック⑨  
戸沢村 真柄、古口地区(MOL-17)

破堤地点  
最上川左岸13.0k

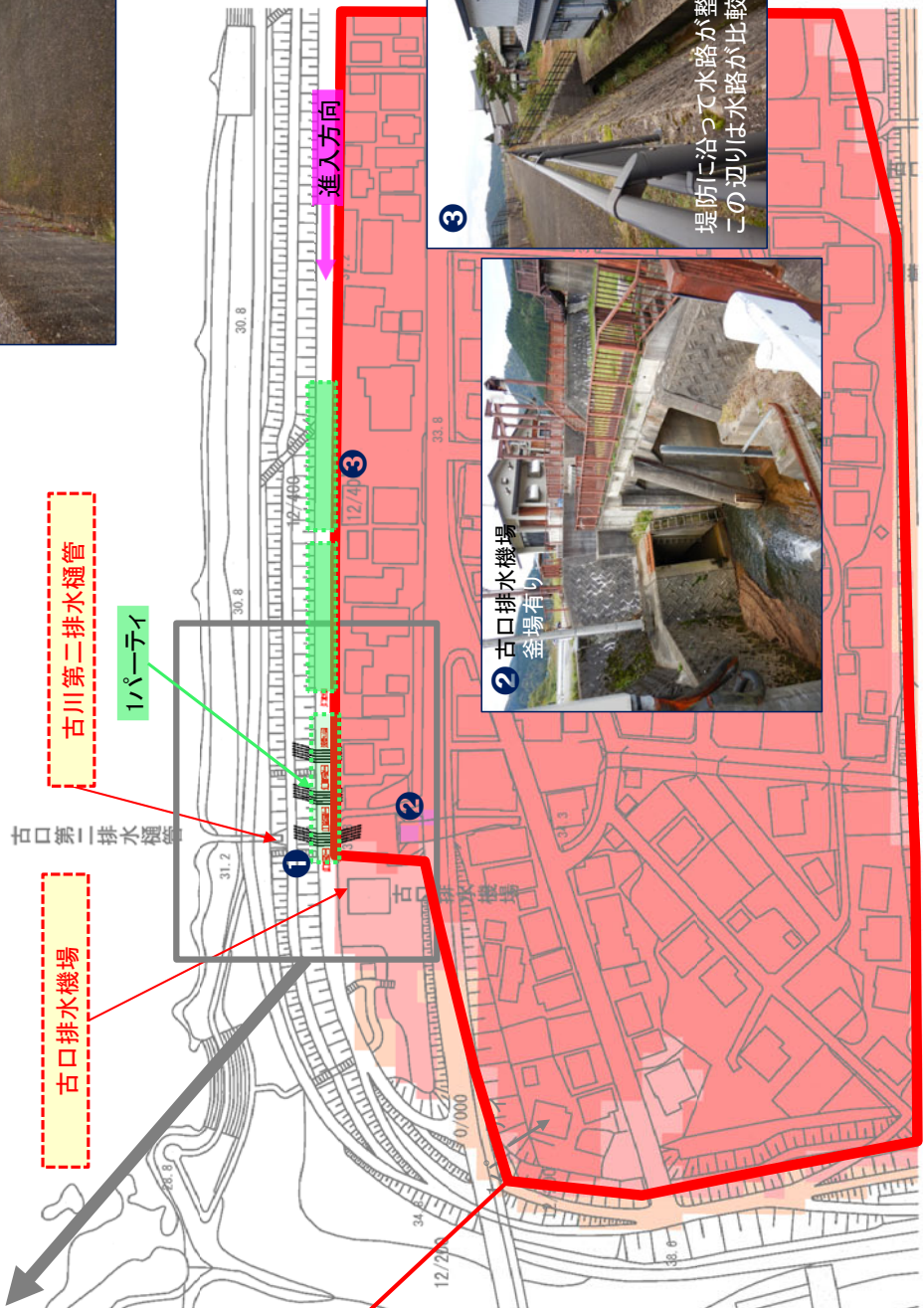
参考場所  
道の駅 尾花沢  
排水ポンプ車配置箇所  
真柄第二排水樋管・真柄第三排水樋管  
(古口第二排水樋管・古口排水機場)

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	ポンプ車
古口第二排水樋管・古口排水機場	約4m	古口第二排水樋管・古口排水機場 水路	最上川左岸12.4k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車 60m <sup>3</sup> /minポンプ車
管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	ローラー ゲート	電動及 び手動
				有

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作 規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鳥越 出張所	ローラー ゲート	電動及 び手動	有



氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合  
には堤防上にポンプ車を複  
数配置して作業を実施

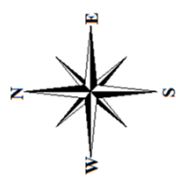


浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満

①:1パーティ目安

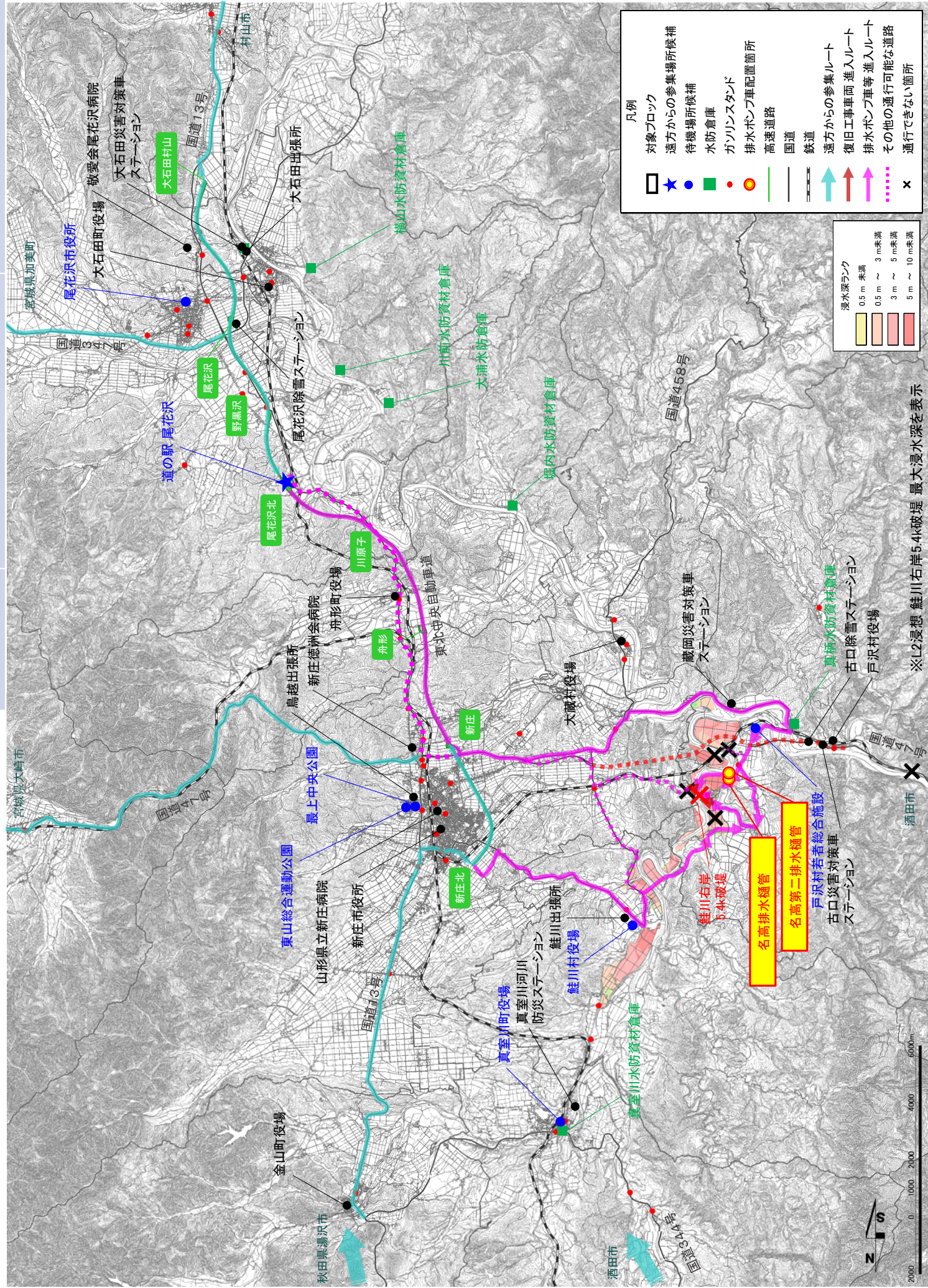
※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約9台  
(1パーティ3台 × 3パーティ = 9台)



## ブロック⑩ 戸沢村 名高地区(SR-7)

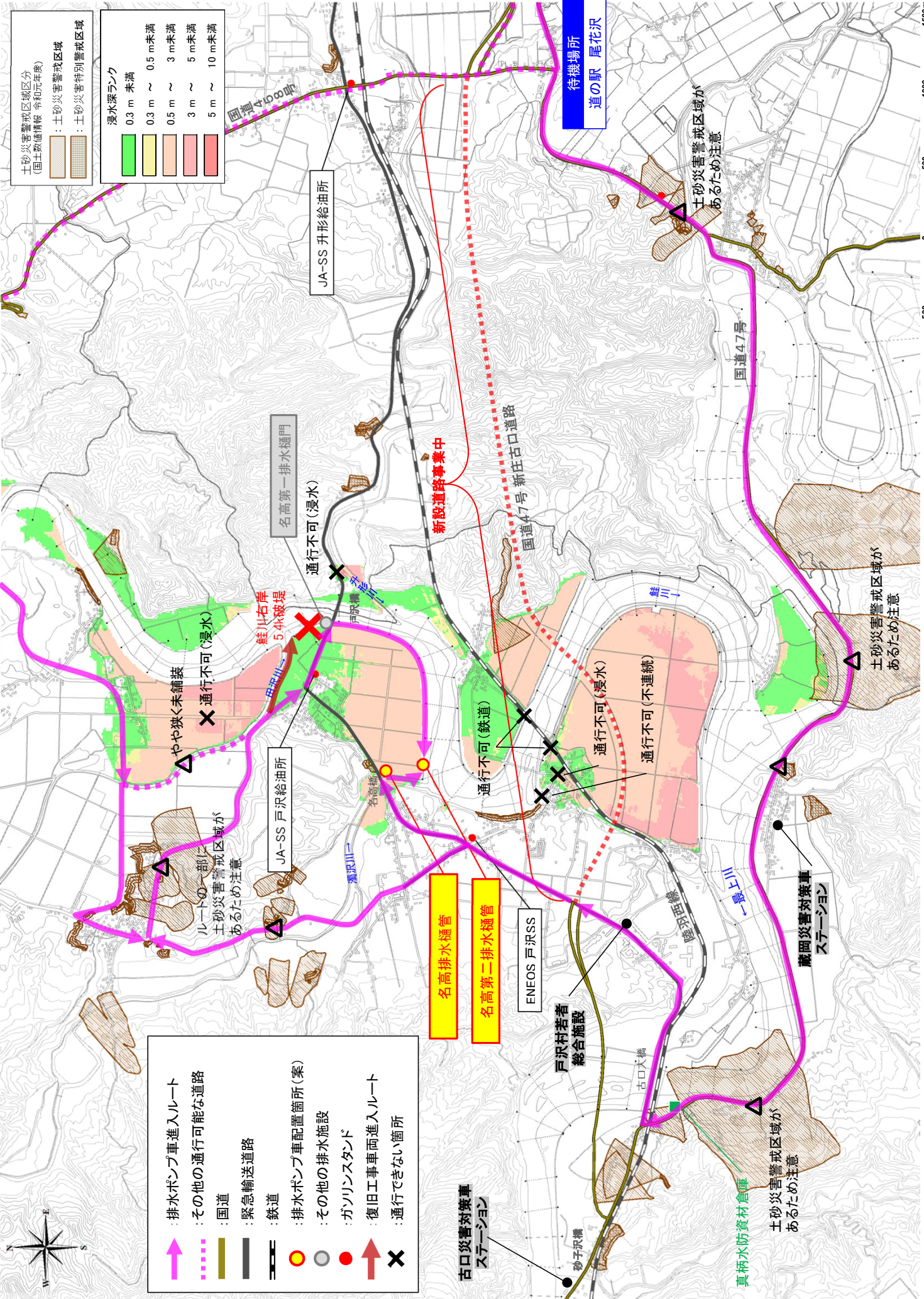
- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



鯉川 5.4k右岸破堤

道の駅 尾花沢

名高第二排水樋管、名高排水樋管



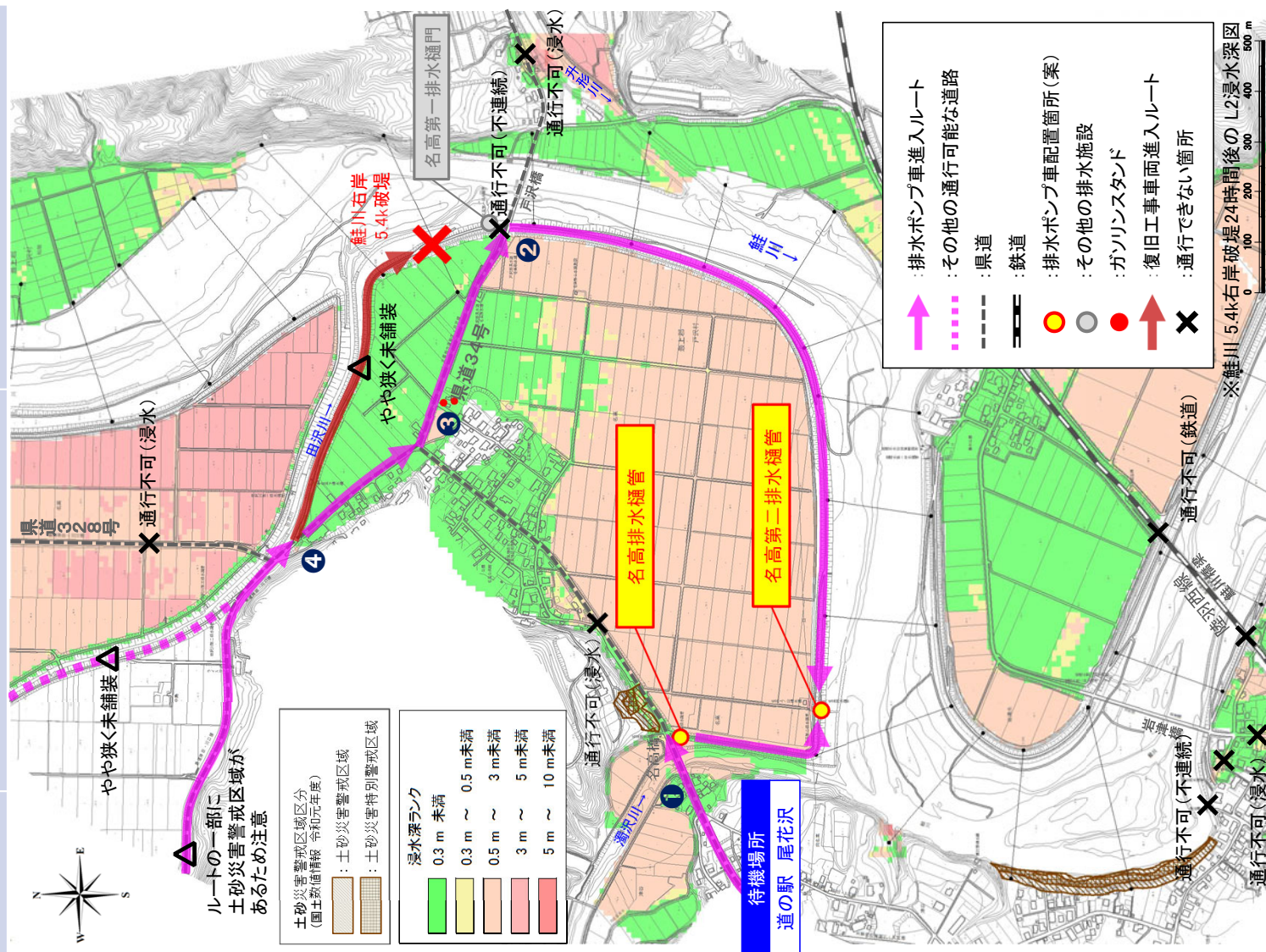
土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年版)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
(Green)	(Yellow)	(Orange)	(Red)	(Dark Red)

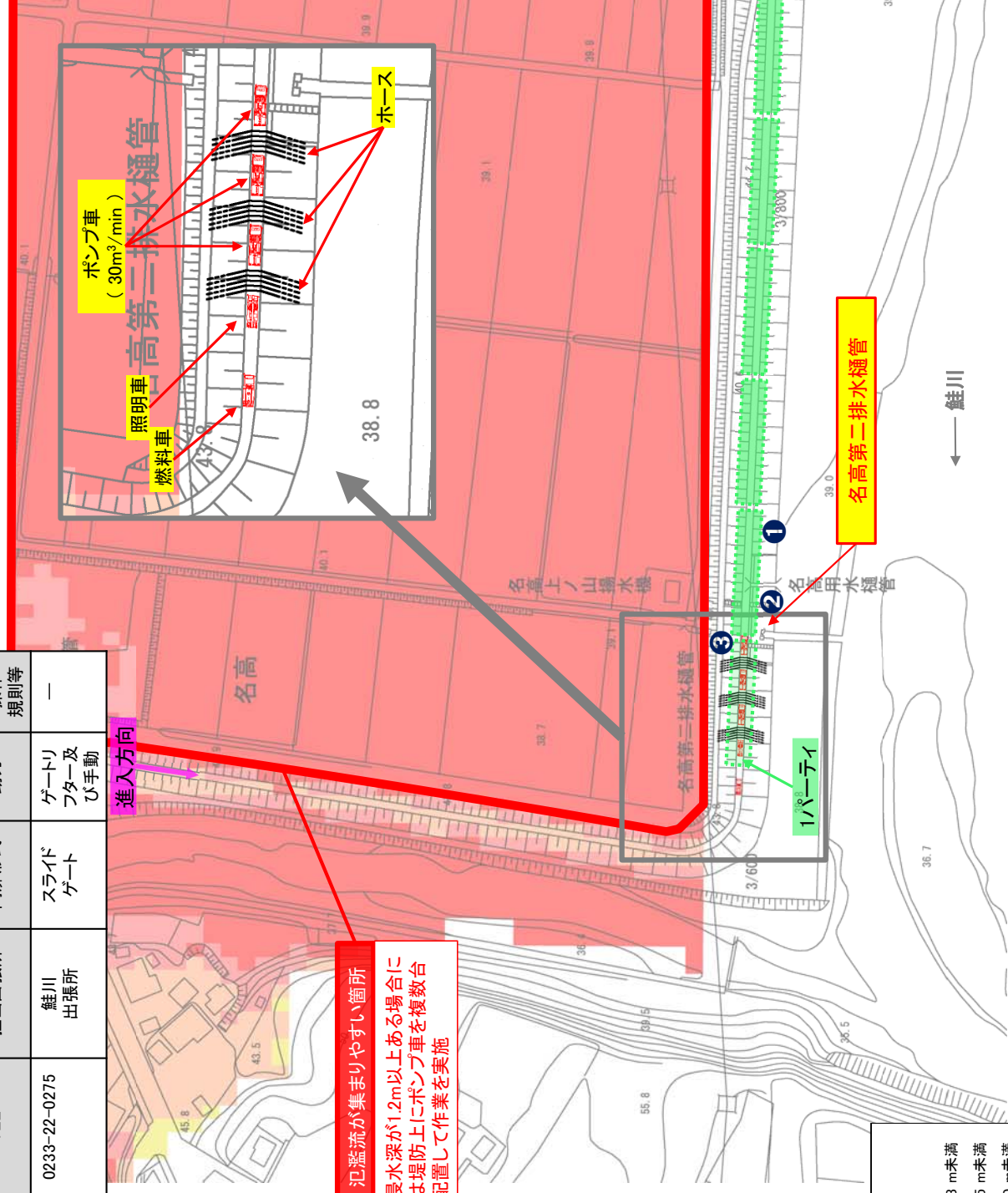
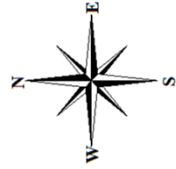
- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所



※銚川 5.4k 右岸破堤24時間後の L2 浸水深図

排水ポンプ車配置箇所 名高第二排水樋管	天端幅 約3m (側帯付近 約7m)	排水元 名高第二排水樋管 水路	排水先 銚川右岸3.6k~4.2k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 銚川 出張所	操作 規則等 —	○ 配置可能	○ 配置可能(側帯にて)
		動力 ゲートリ フター及 び手動	門扉形式 スライド ゲート		

TEL	0233-22-0275	担当出張所	銚川 出張所
動力	ゲートリ フター及 び手動	門扉形式	スライド ゲート
操作 規則等	—		



① 排水樋管の上流側に広い側帯あり



② 名高第二排水樋管付近  
天端幅: 約3m



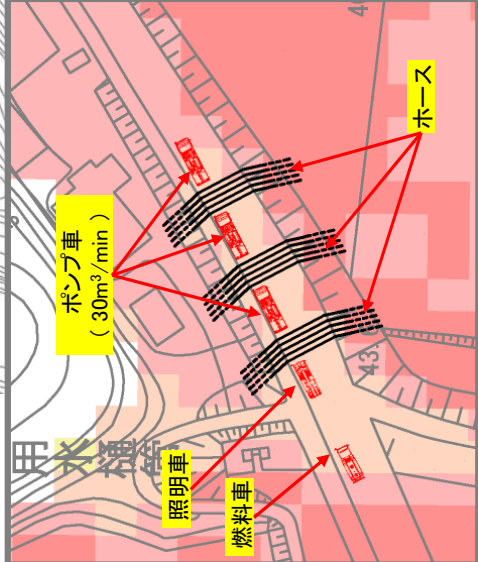
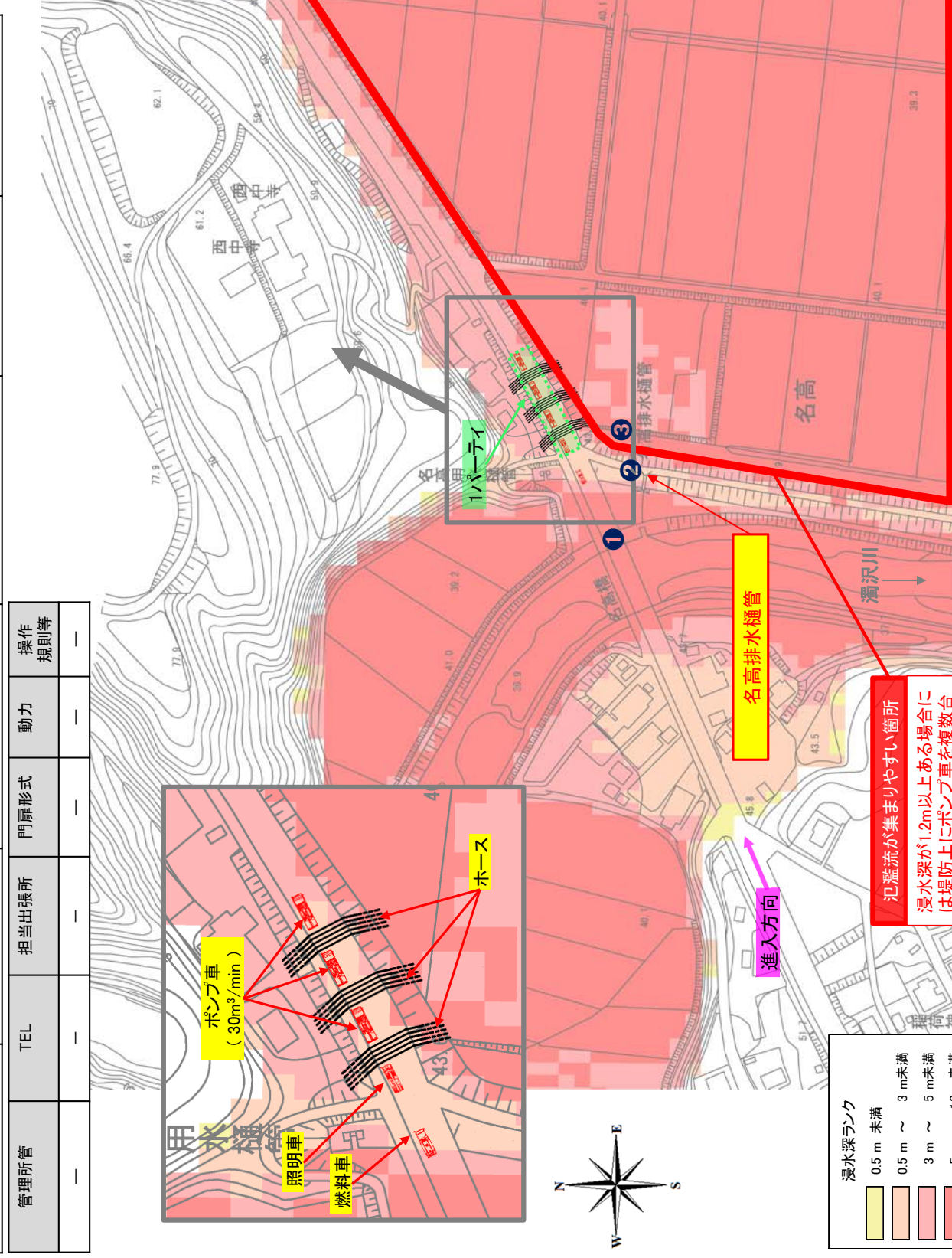
③ 名高第二排水樋管 釜場有り  
名高上ノ山揚水機

銚川 4.2k付近  
まで配置

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 39 台  
(1パーティ3台 × 13パーティ = 39台)

※L2浸想最大浸水深を表示  
: 1パーティ目安

排水ポンプ車配置箇所 名高排水樋管	天端幅 約3m (県道 約7m)	排水元 名高排水樋管 水路	排水先 濁沢川左岸 名高橋付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車 ○ 配置可能	60m <sup>3</sup> /minポンプ車 ○ 配置可能(県道にて)
管理所管 —	TEL —	担当出張所 —	門扉形式 —	動力 —	操作 規則等 —



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満	5 m 未満
3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
5 m ~ 10 m 未満	

氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示



30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 3 台  
(1パーティ3台 × 1パーティ = 3台)

## ブロック⑪ 鮭川村 庭月地区(SL-1)

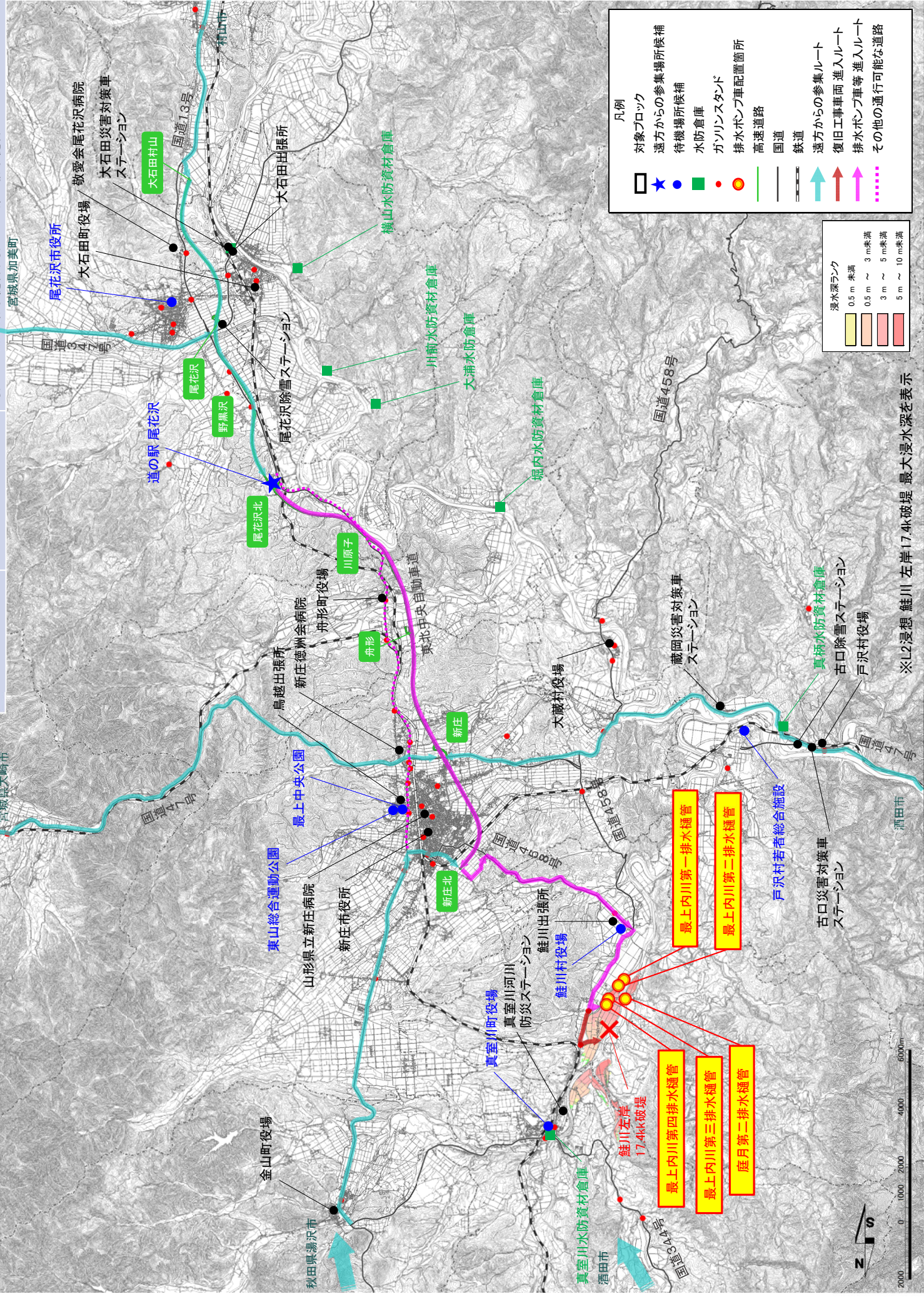
- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



鮭川左岸17.4k  
庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

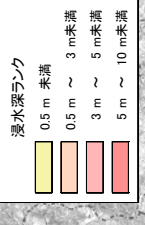
道の駅 尾花沢  
道々中央自動車道

秋田県湯沢市 秋田県湯沢市 宮城県加美町 宮城県大崎市 酒田市

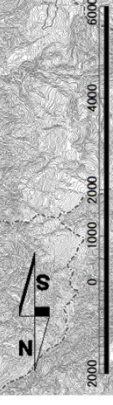


凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路



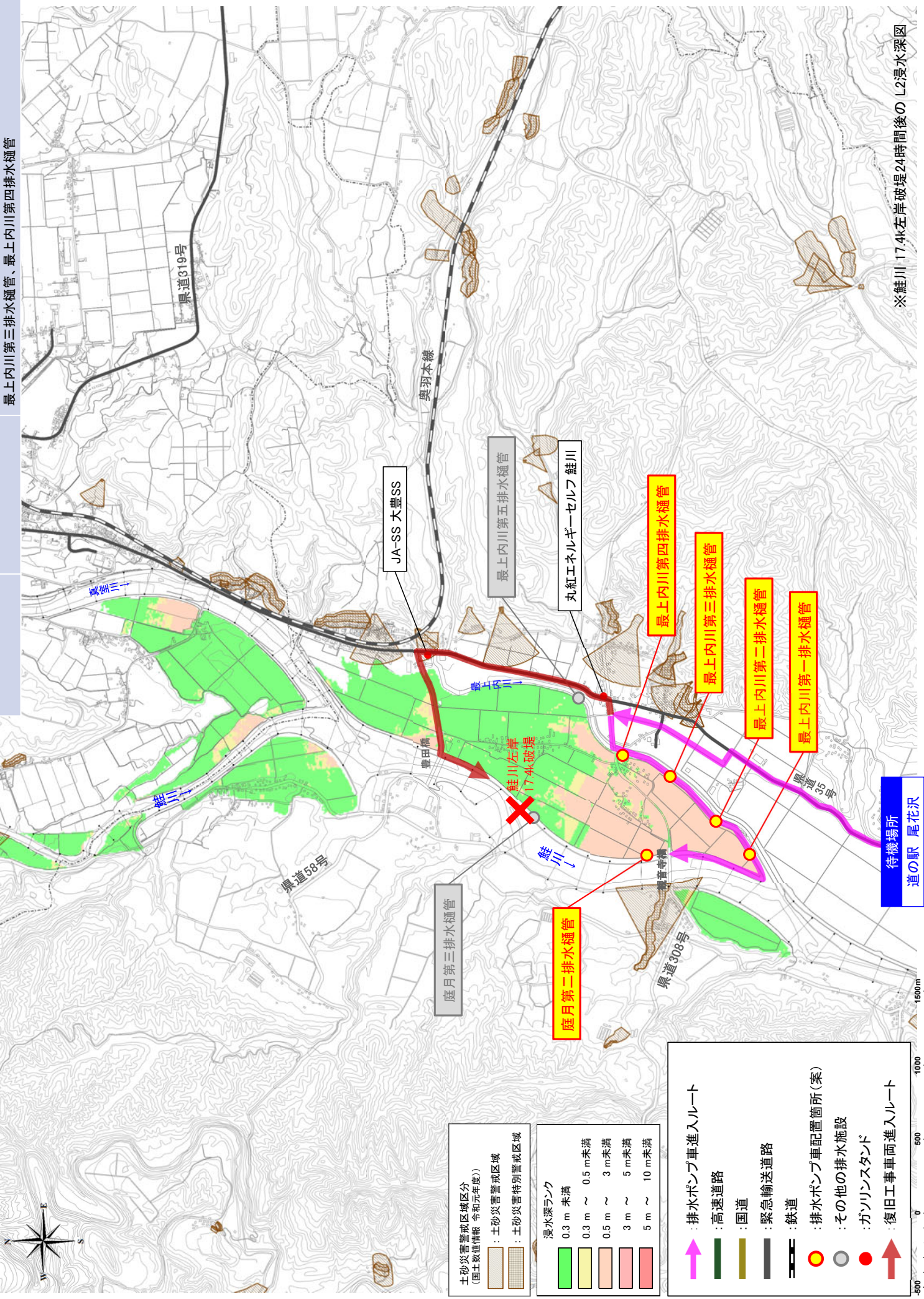
※L2浸想定 鮭川 左岸17.4k破堤 最大浸水深を表示



鮭川左岸 17.4k

道の駅 尾花沢

庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、  
最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管



※鮭川 17.4k左岸破堤24時間後のL2浸水深図

待機場所  
道の駅 尾花沢

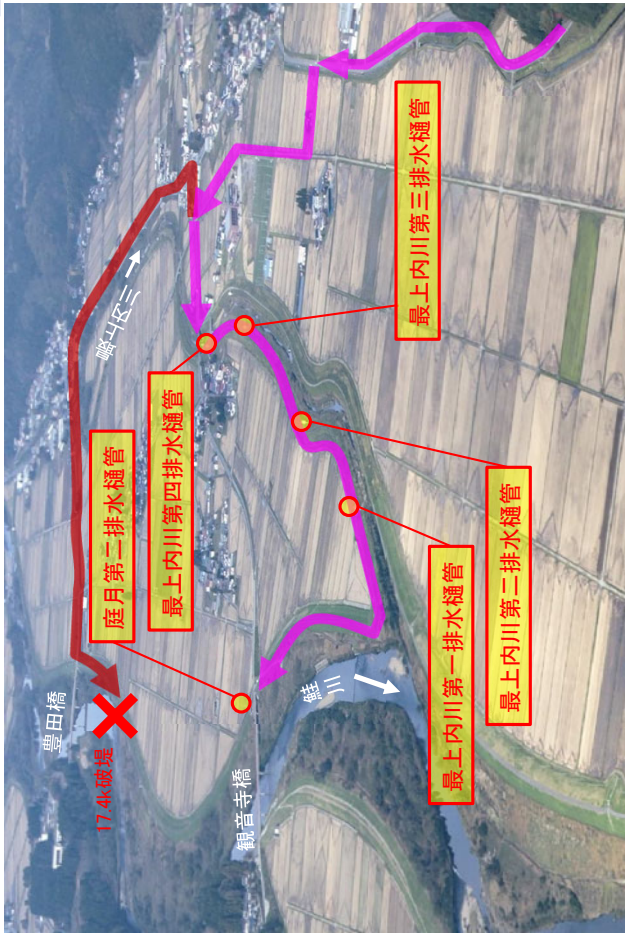
土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満
	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満
	5 m ~ 10 m 未満	

- 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート

鮭川左岸 17.4k

道の駅 尾花沢

庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管



① 県道35号から途中細い道へ左折



② 県道35号から左折して進入し、最初の交差点を右折



③ 県道308号に合流



④ 県道308号から最上内川右岸堤防へ



⑤ 鮭川左岸堤防を直進、県道308号を越える



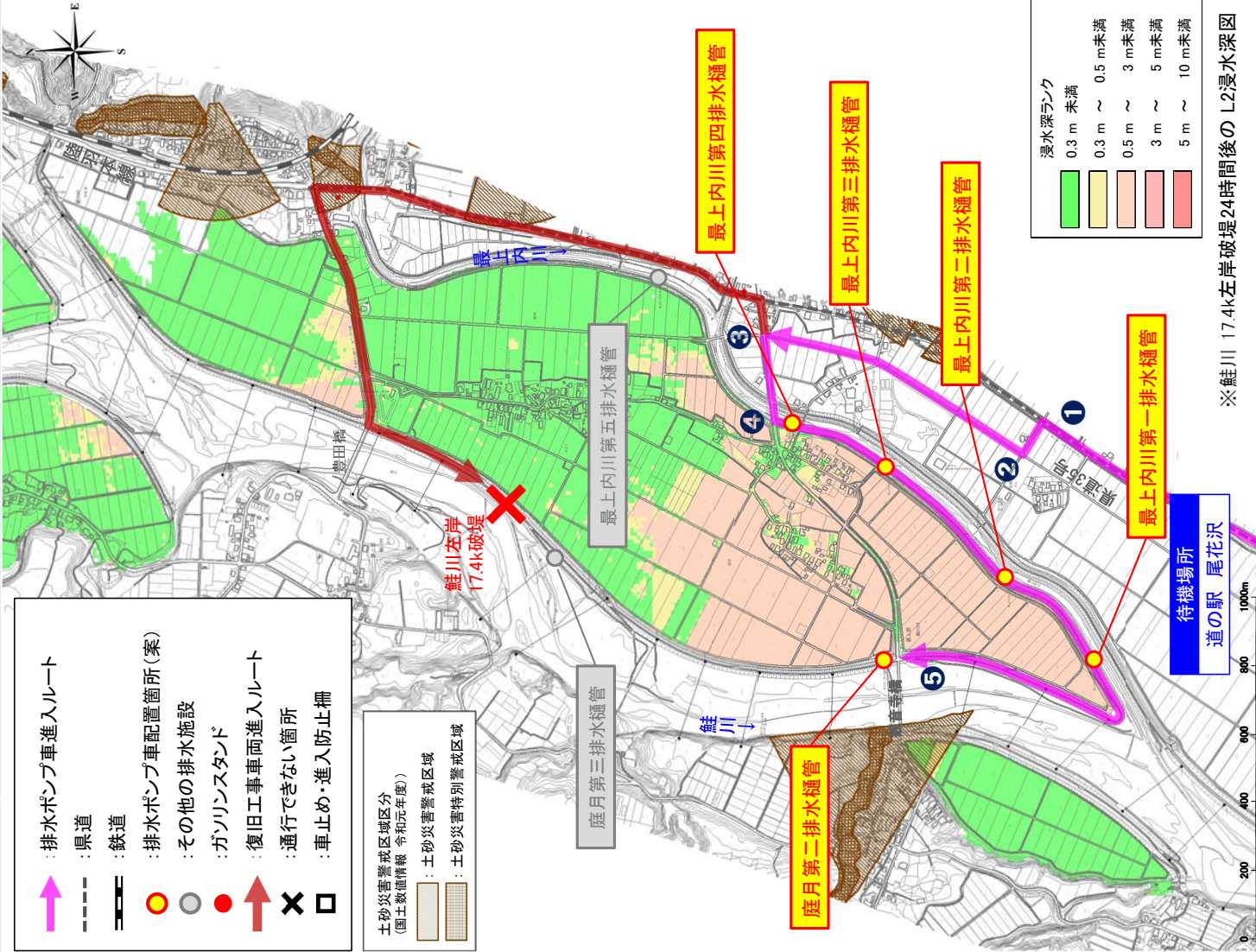
⑥ 県道58号を村内岩下方面へ進み豊田橋前で左折、河川管理道へ

排水ポンプ車進入ルート

- ↑ 県道
- ↑ 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- ↑ 復旧工事車両進入ルート
- × 通行できない箇所
- 車止め・進入防止柵

土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)

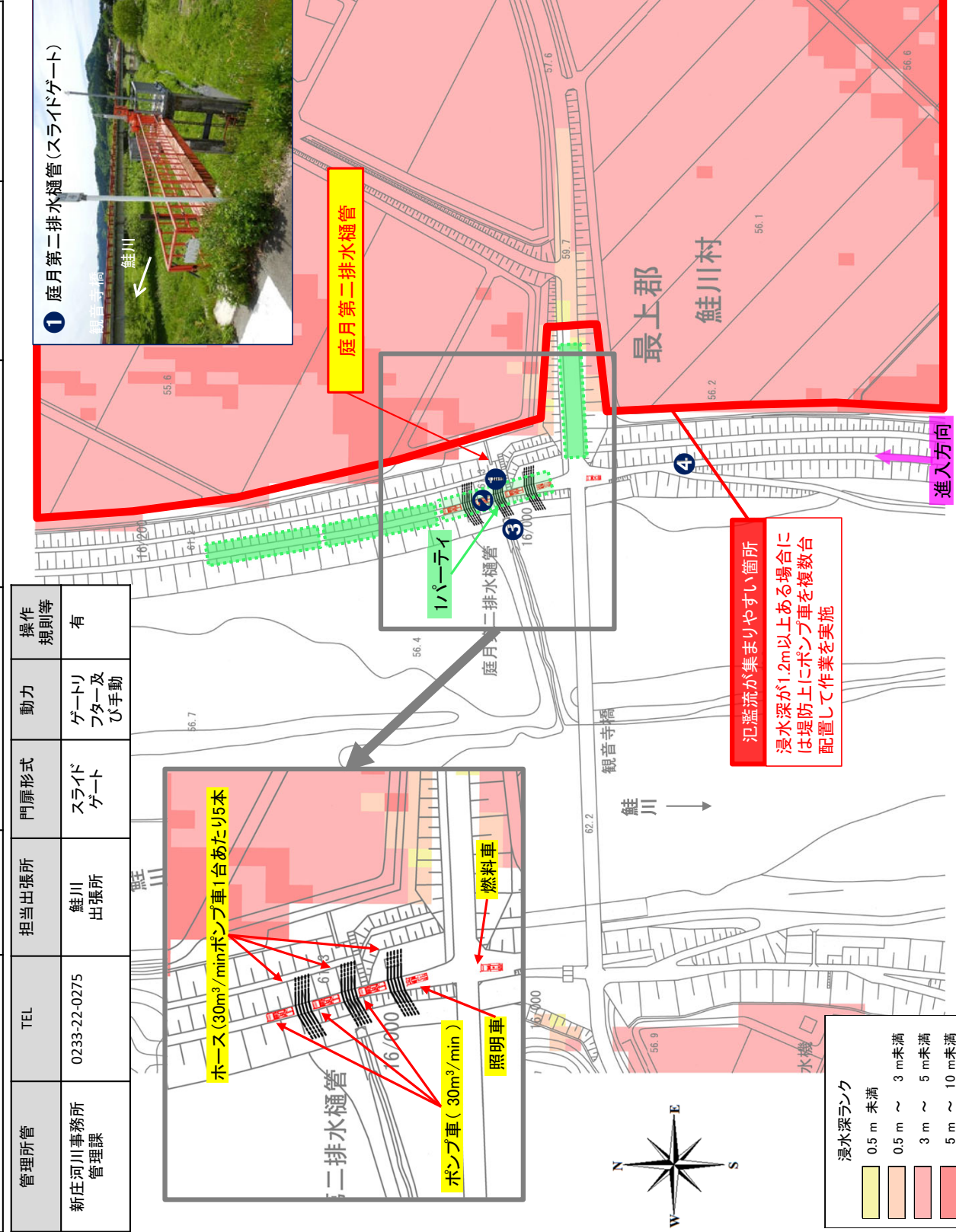
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域



※鮭川 17.4k左岸破堤24時間後の L2:浸水深図

庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	ポンプ車
庭月第二排水樋管	約3m	庭月第二排水樋管 水路	鮭川左岸16.0k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車 60m <sup>3</sup> /minポンプ車
管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鮭川 出張所	スライド ゲート	ゲートリ フター及 び手動
				操作 規則等
				有



① 庭月第二排水樋管(スライドゲート)



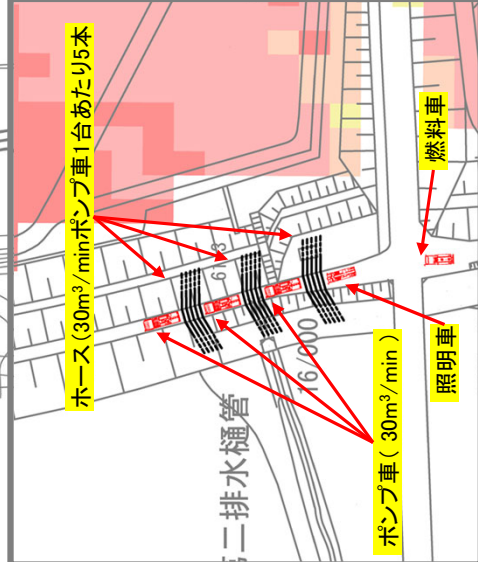
② 庭月第二排水樋管 天端幅:約3m



③ 庭月第二排水樋管 釜場有り



④ 庭月第二排水樋管への進入路



氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

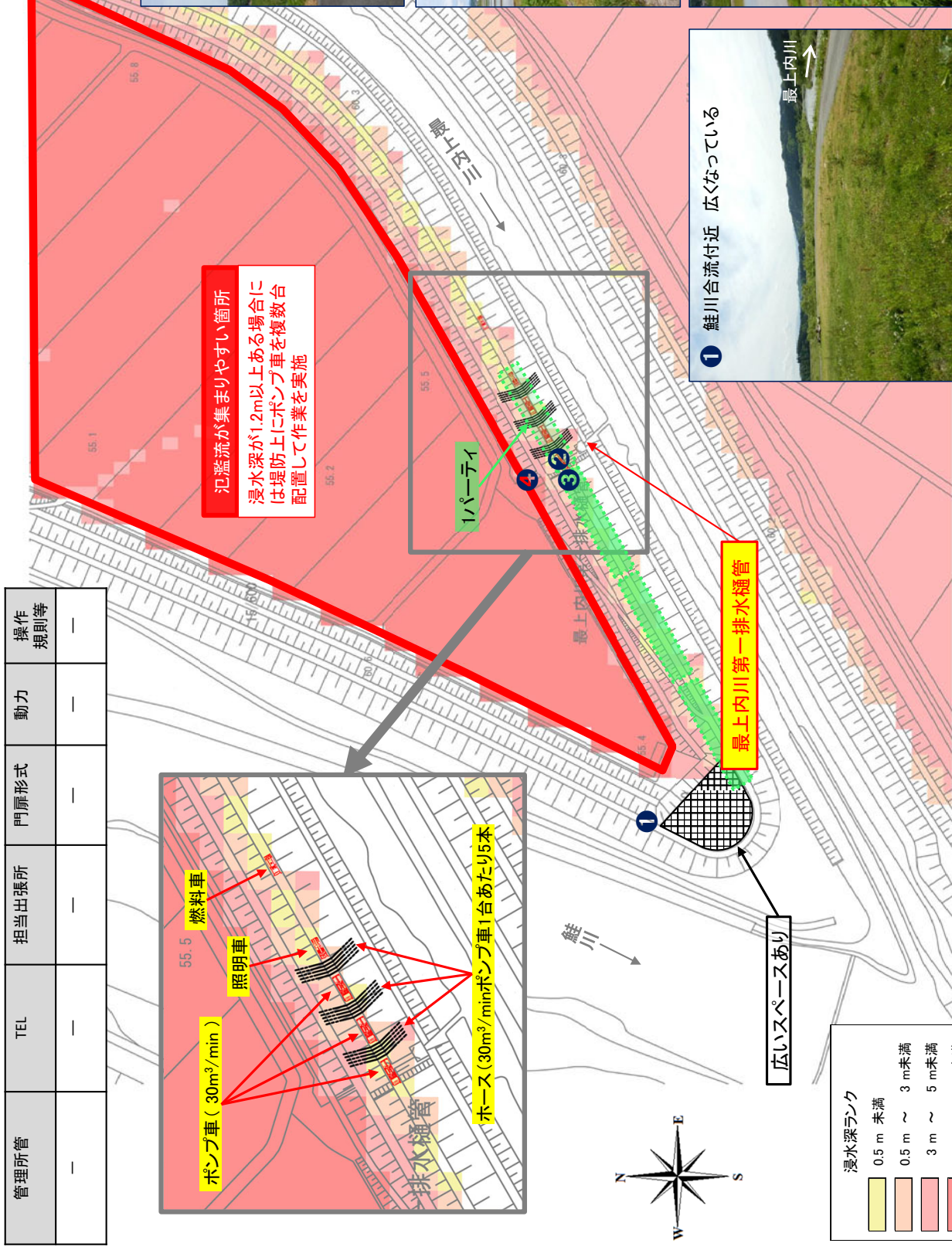
30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 12 台  
(1パーティ 3台 × 4パーティ = 12台)

※L2浸想最大浸水深を表示  
:1パーティ目安

確認地点	参考場所
鯉川左岸17.4k	道の駅尾花沢
	庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	ポンプ車
最上内川第一排水樋管	約3m	最上内川第一排水樋管 水路	最上内川右岸0.2k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車
管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力
				操作規則等
				60m <sup>3</sup> /minポンプ車
				× 配置不可

TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
-	-	-	-	-



30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数 : 約 12 台  
(1パーティ 3台 × 4パーティ = 12台)

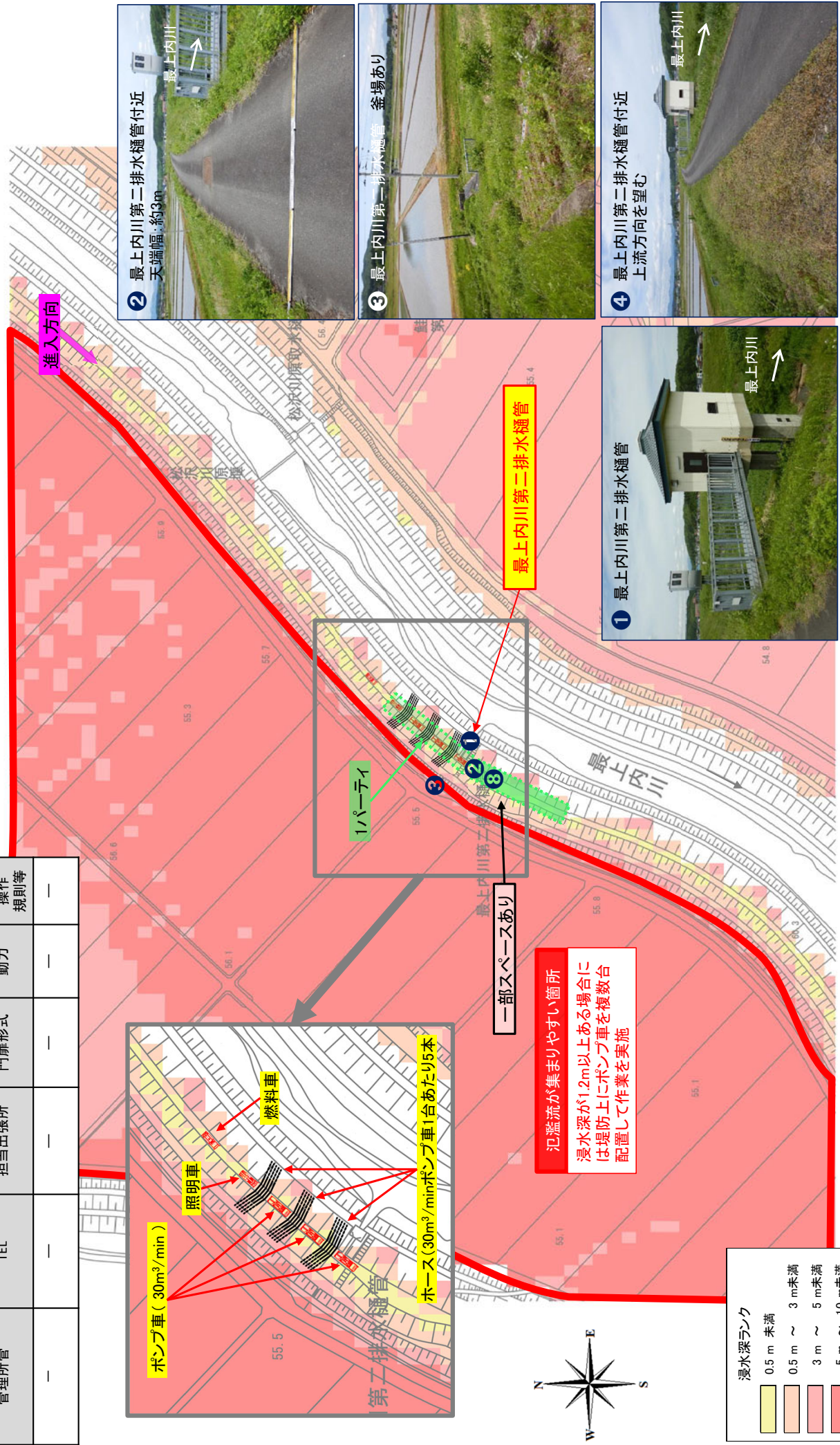
1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

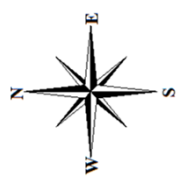
確拠地点	参集場所
鮭川左岸17.4k	道の駅尾花沢
	庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
最上内川第二排水樋管	約3m	最上内川第二排水樋管 水路	最上内川右岸0.6k付近
管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式
-	-	-	-
			動力
			操作規則等
			-
			-
			30m <sup>3</sup> /minポンプ車
			60m <sup>3</sup> /minポンプ車
			○ 配置可能
			× 配置不可

TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
-	-	-	-	-



30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数 : 約 6 台  
(1パーティ3台 × 2パーティ = 6台)



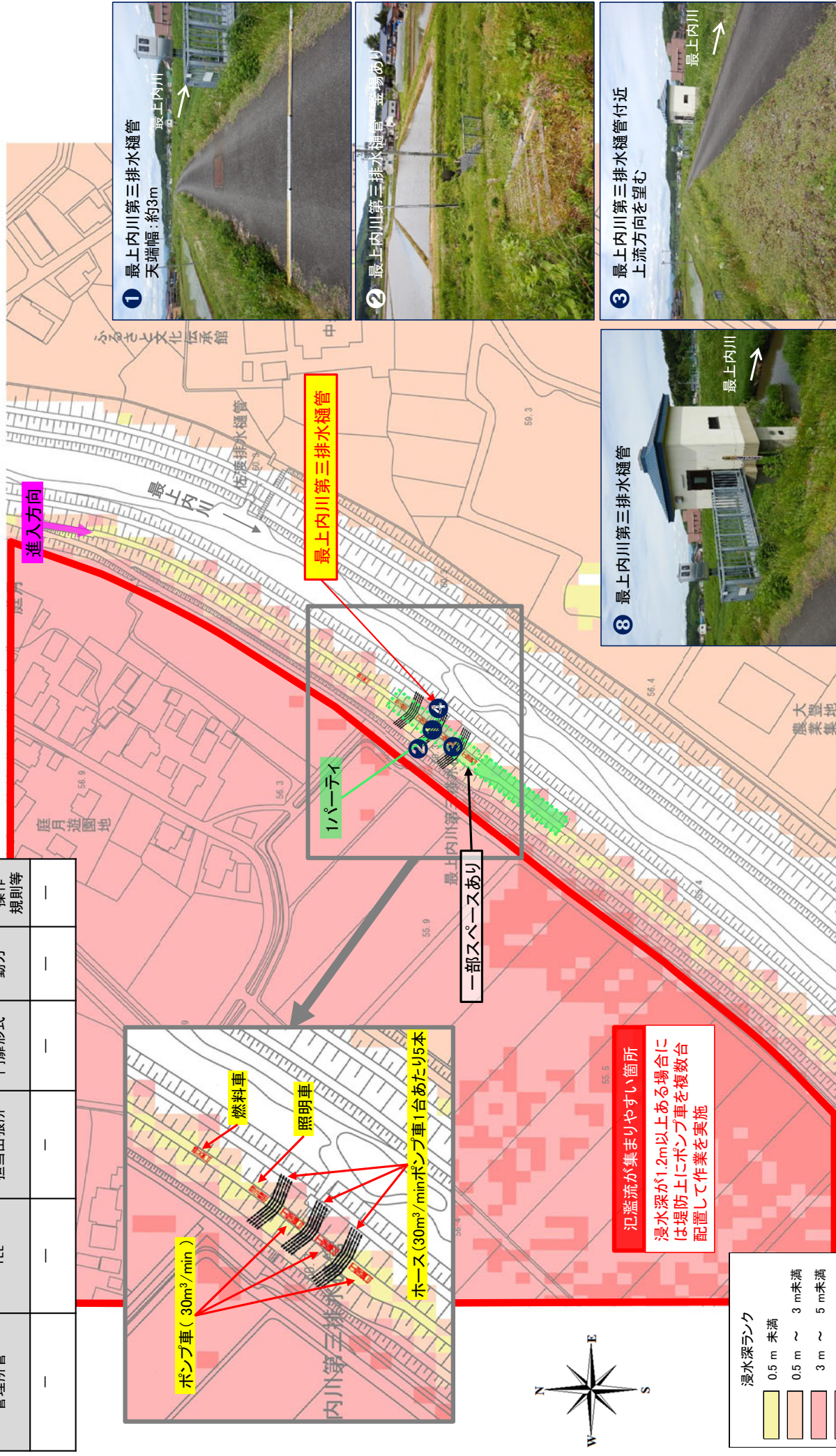
庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、  
最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

道の駅尾花沢

鮭川左岸17.4k

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	ポンプ車
最上内川第三排水樋管	約3m	最上内川第三排水樋管 水路	最上内川右岸1.0k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車
管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力
-	-	-	-	-
-	-	-	操作規則等	-
-	-	-	配置可能	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
-	-	-	× 配置不可	

TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
-	-	-	-	-



ポンプ車 (30m<sup>3</sup>/min)

燃料車

照明車

ホース (30m<sup>3</sup>/minポンプ車1台あたり15本)

一部スペースあり

氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

浸水深ランク

0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

1パーティ目安

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 6 台  
(1パーティ3台 × 2パーティ = 6台)

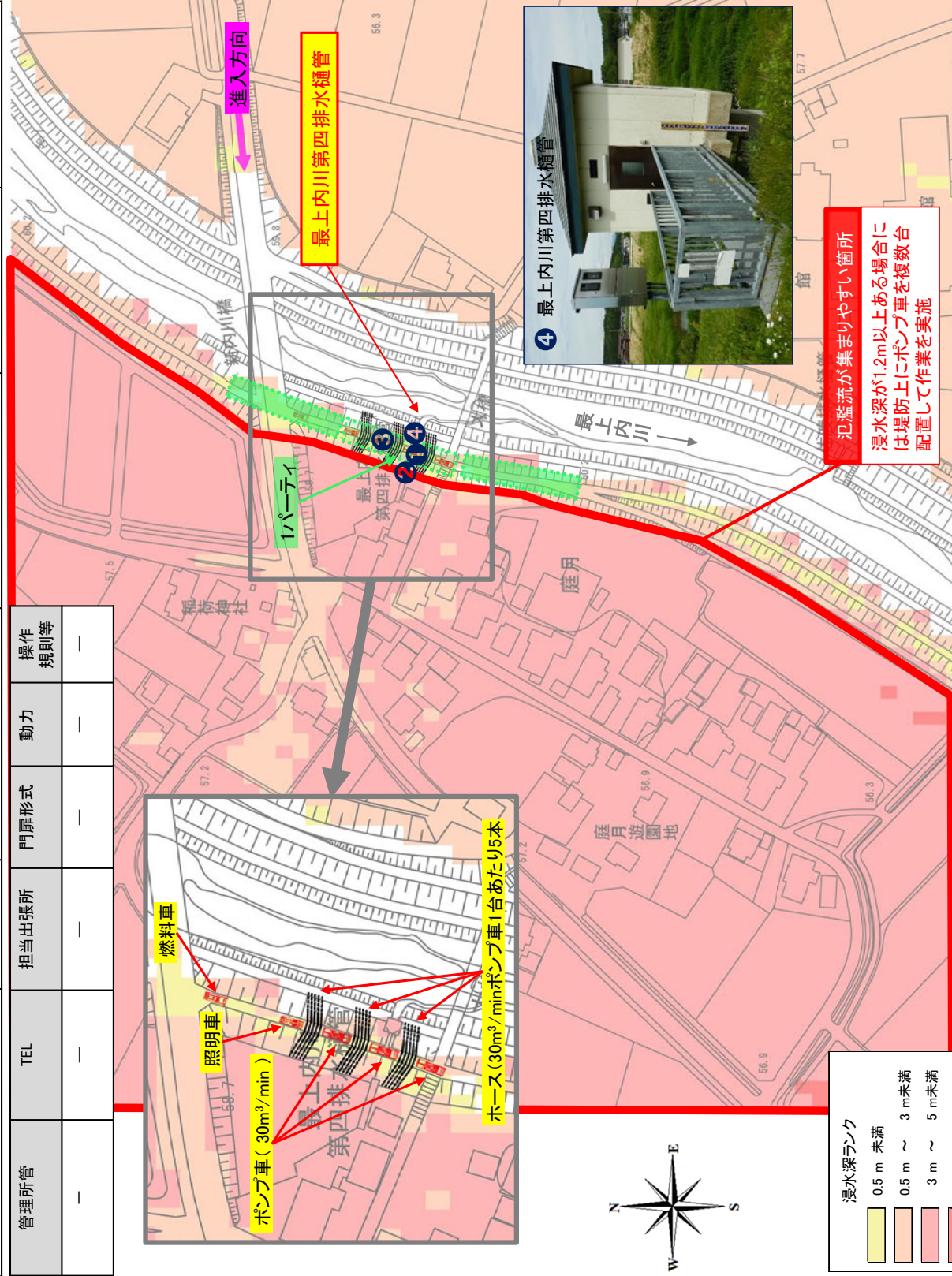
※L2浸想最大浸水深を表示

参考場所  
道の駅尾花沢

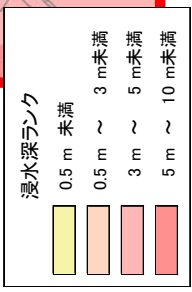
庭月第二排水樋管、最上内川第一排水樋管、最上内川第二排水樋管、最上内川第三排水樋管、最上内川第四排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
最上内川第四排水樋管	約3m	最上内川第四排水樋管 水路	最上内川右岸1.3k付近	○ 配置可能	× 配置不可

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
-	-	-	-	-	-



氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には堤防上にポンプ車を複数台配置して作業を実施

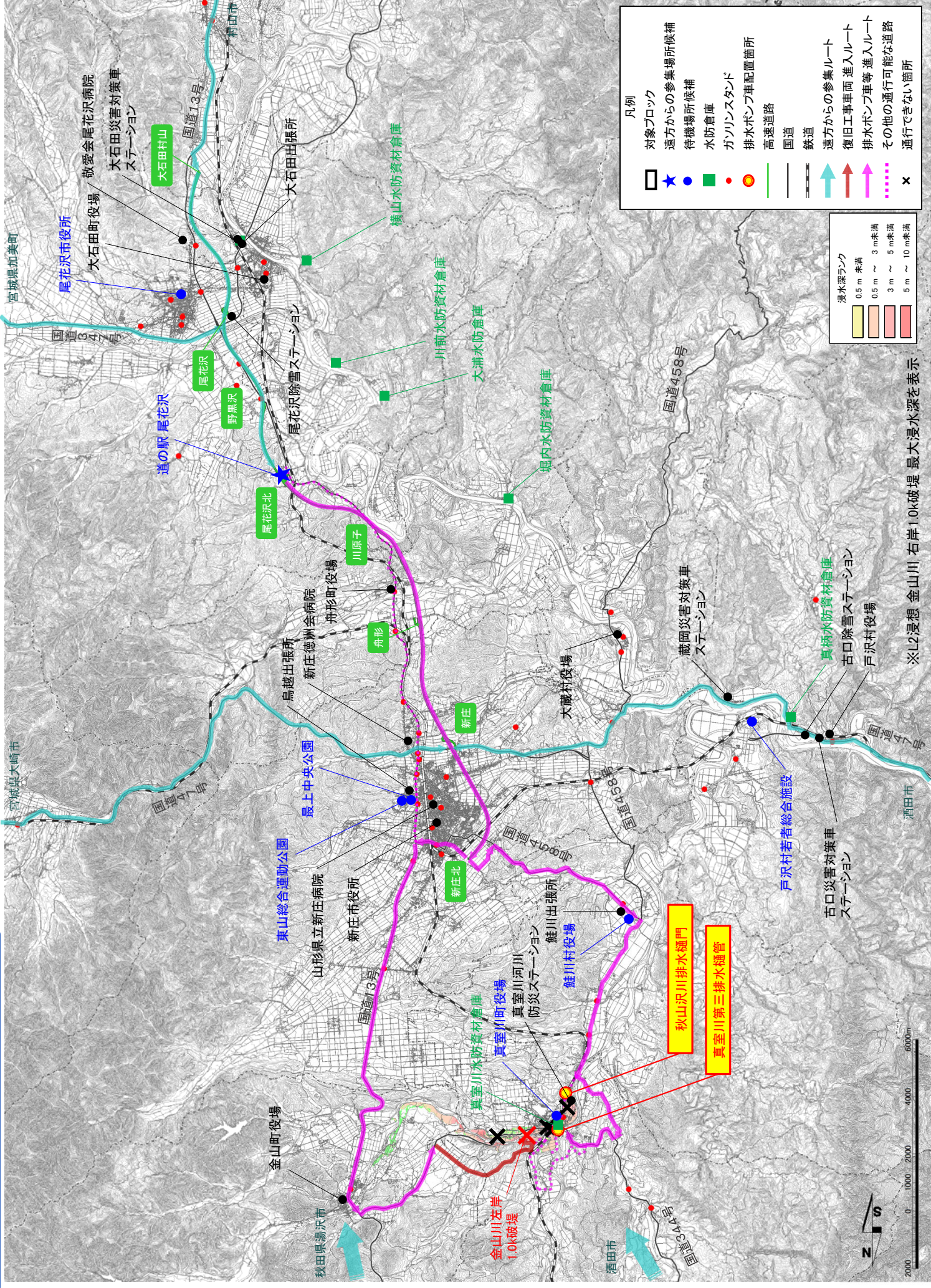


30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 9 台  
(1パーティ3台 × 3パーティ = 9台)



## ブロック⑫ 真室川町 庭月、真室川、新田平岡地区(KL-MAL-1)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図



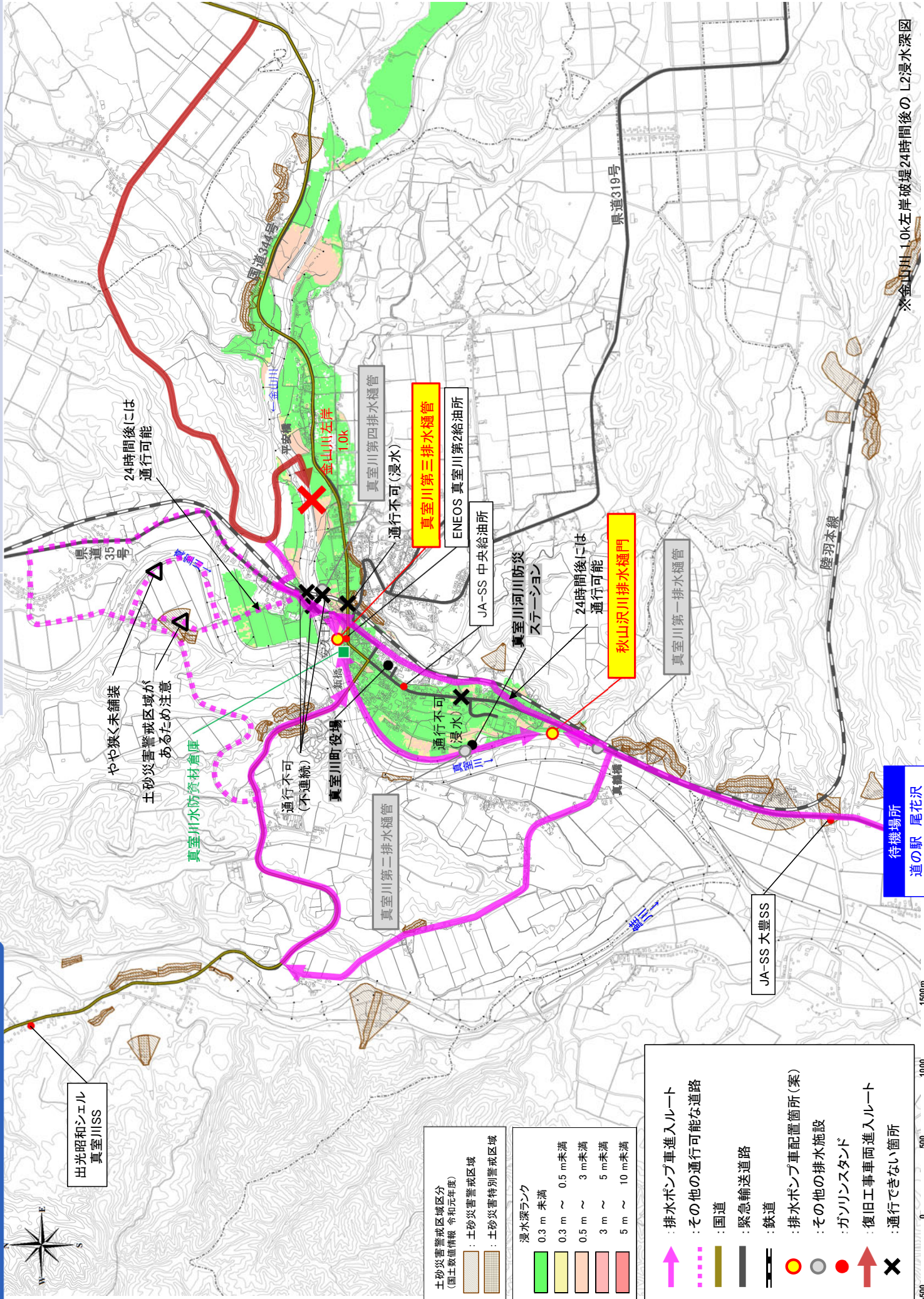
凡例

- 対象ブロック
- 遠方からの参集場所候補
- 待機場所候補
- 水防倉庫
- ガソリンスタンド
- 排水ポンプ車配置箇所
- 高速道路
- 国道
- 鉄道
- 遠方からの参集ルート
- 復旧工事車両進入ルート
- 排水ポンプ車等進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 通行できない箇所

浸水深ランク

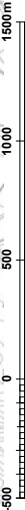
- 0.5 m 未満
- 0.5 m ~ 3 m 未満
- 3 m ~ 5 m 未満
- 5 m ~ 10 m 未満

※L2浸想定 金山川 右岸1.0k破堤 最大浸水深を表示



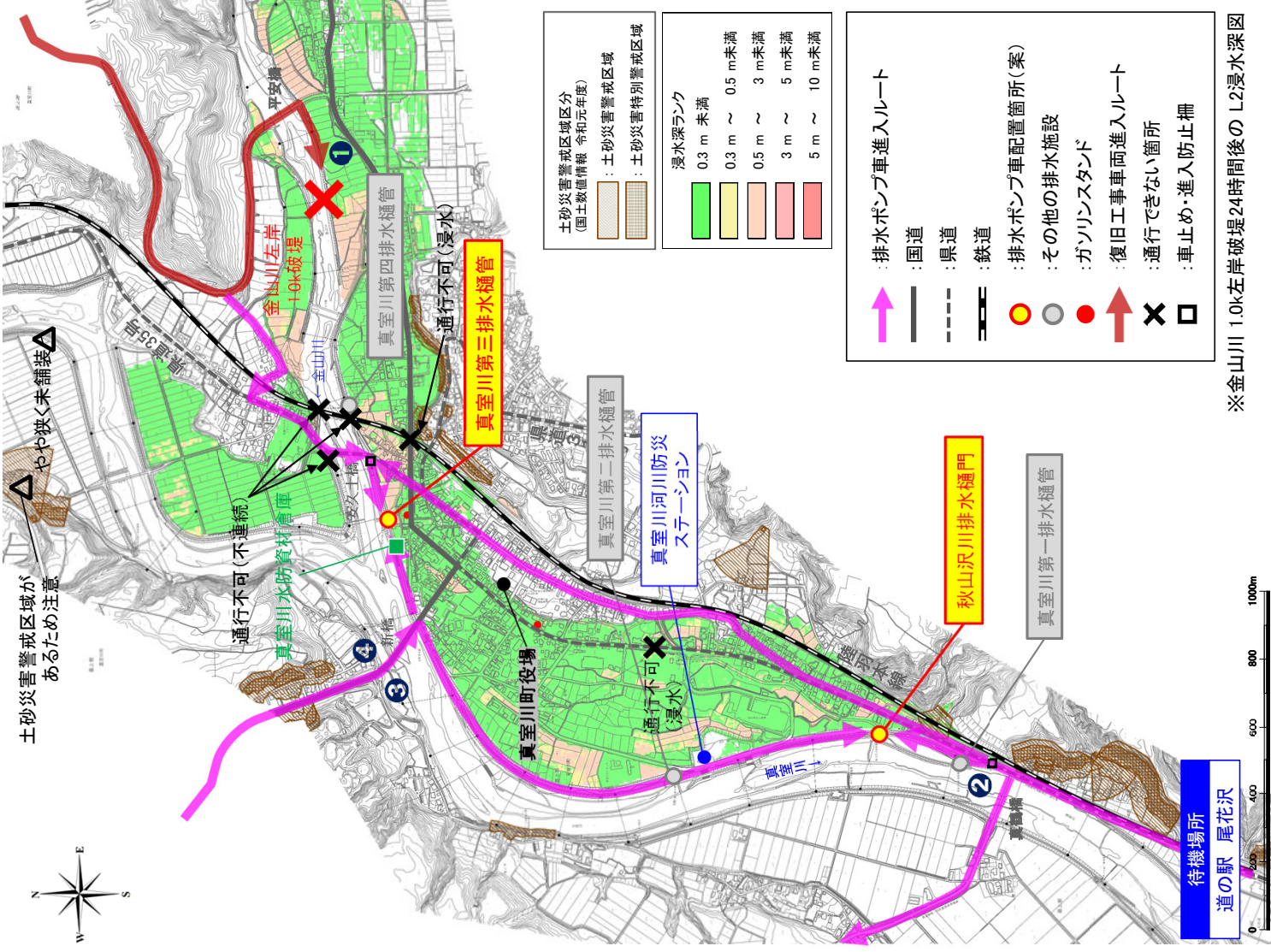
土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和5年度)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域			
浸水深ランク	0.3 m 未満	0.3 m ~ 0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満

↑	排水ポンプ車進入ルート
⋯	その他の通行可能な道路
—	国道
—	緊急輸送道路
—	鉄道
●	排水ポンプ車配置箇所(案)
●	その他の排水施設
●	ガソリンスタンド
↑	復旧工事車両進入ルート
×	通行できない箇所

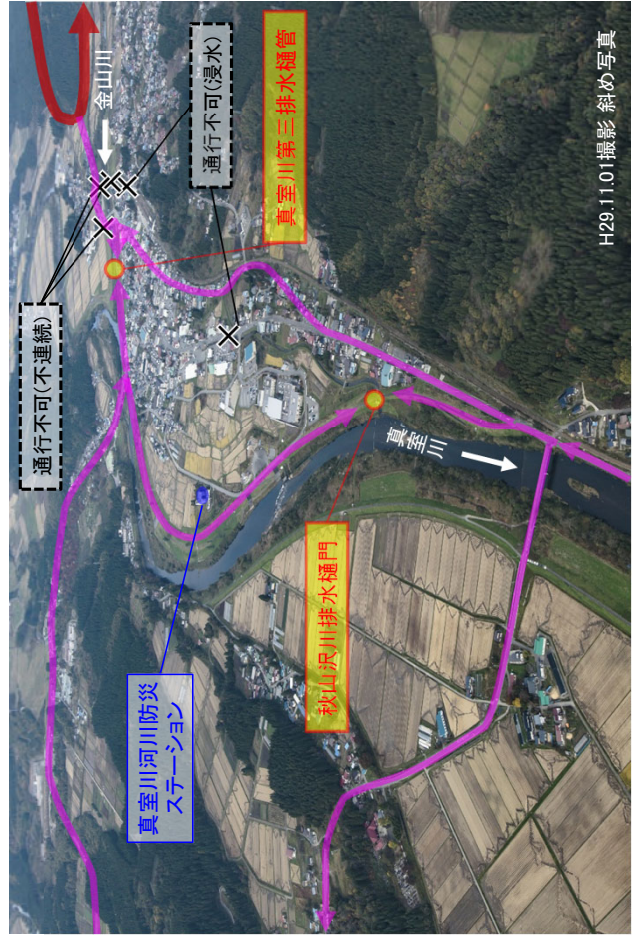


待機場所  
道の駅 尾花沢

※金山川1.0k左岸破堤24時間後のL2浸水深図

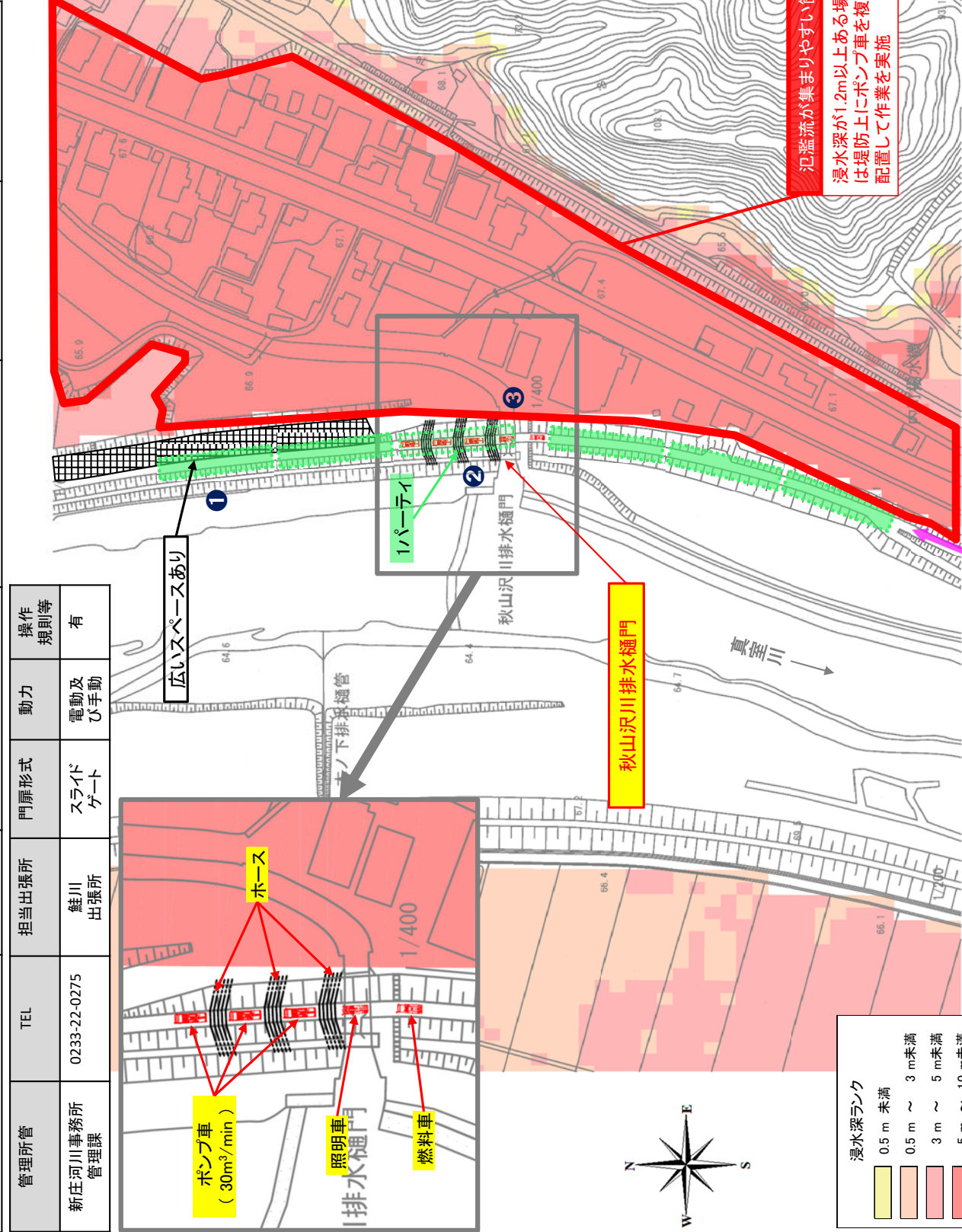


※金山川 1.0k左岸破堤24時間後の L2浸水深図

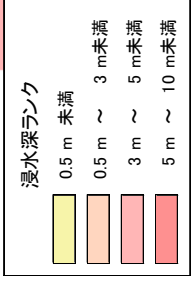


排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先
秋山沢川排水樋門	約4m	秋山沢川排水樋門 水路	真室川左岸1.4k付近
管理所管	TEL	門扉形式	動力
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	スライド ゲート	電動及 び手動
		担当出張所	操作 規則等
		鯉川 出張所	有

30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
○ 配置可能	× 配置不可



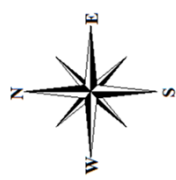
氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合には  
堤防上にポンプ車を複数台  
配置して作業を実施



進入方向

※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 18 台  
(1パーティ 3台 × 6パーティ = 18台)



### ③ 排水ポンプ車等の配置図(2/2)

ブロック⑩ 真室川町  
庭月、真室川、新田平岡地区(KL-MAL-1)

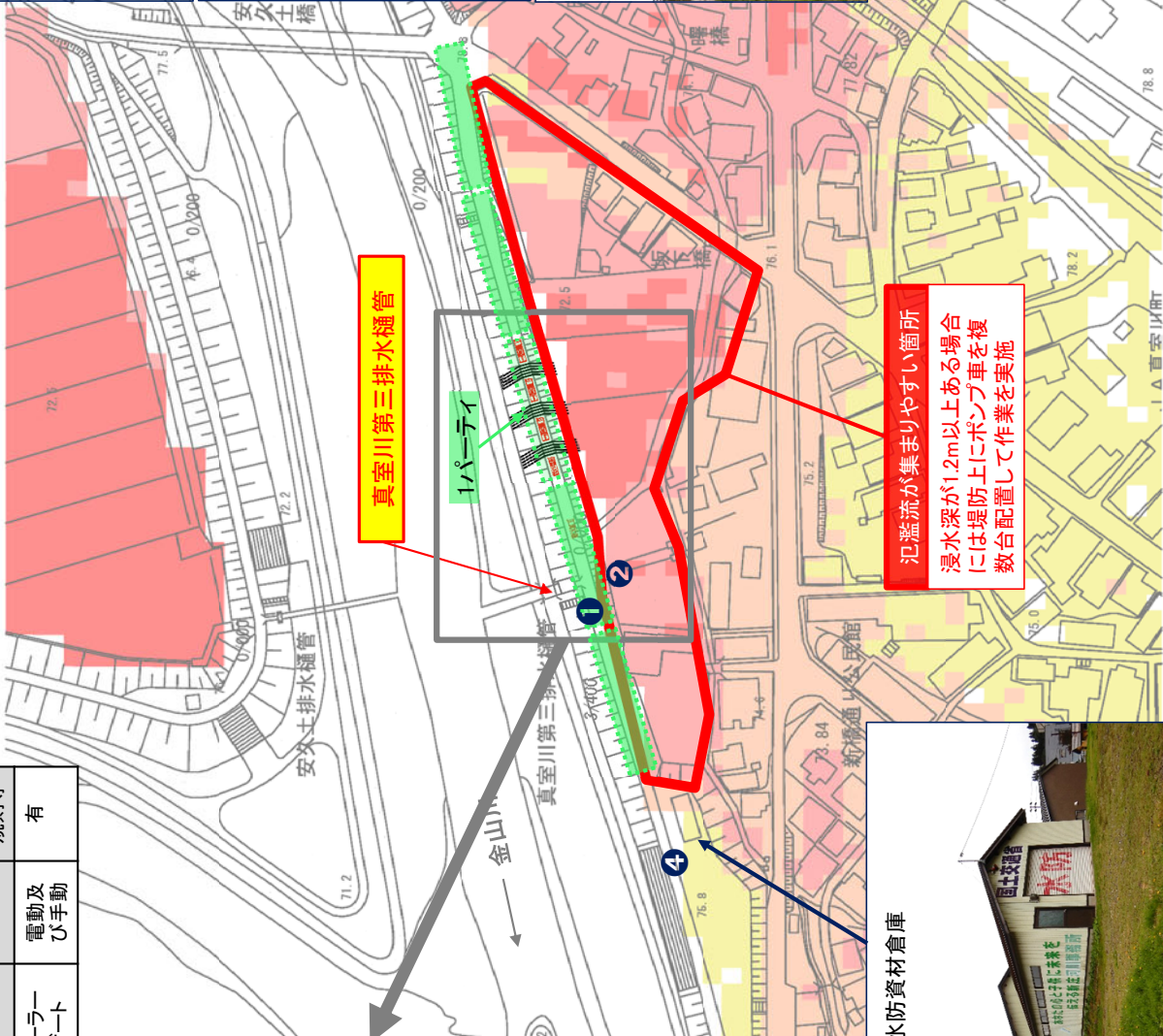
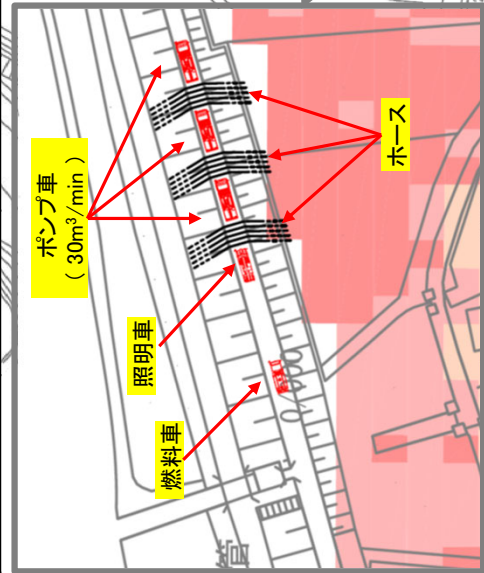
破堤地点  
金山川左岸1.0k

参集場所  
道の駅 尾花沢

排水ポンプ車配置箇所  
秋山沢川排水樋門、真室川第三排水樋管

排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
真室川第三排水樋管	約3.5m	真室川第三排水樋管 水路	金山川左岸0.0k付近	○ 配置可能	x 配置不可

管理所管	TEL	担当出張所	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鯉川 出張所	電動及 び手動	有



氾濫流が集まりやすい箇所  
浸水深が1.2m以上ある場合  
には堤防上にポンプ車を複  
数台配置して作業を実施

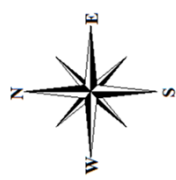


浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	10 m 未満

：1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数：約 15 台  
(1パーティ3台 × 5パーティ = 15台)



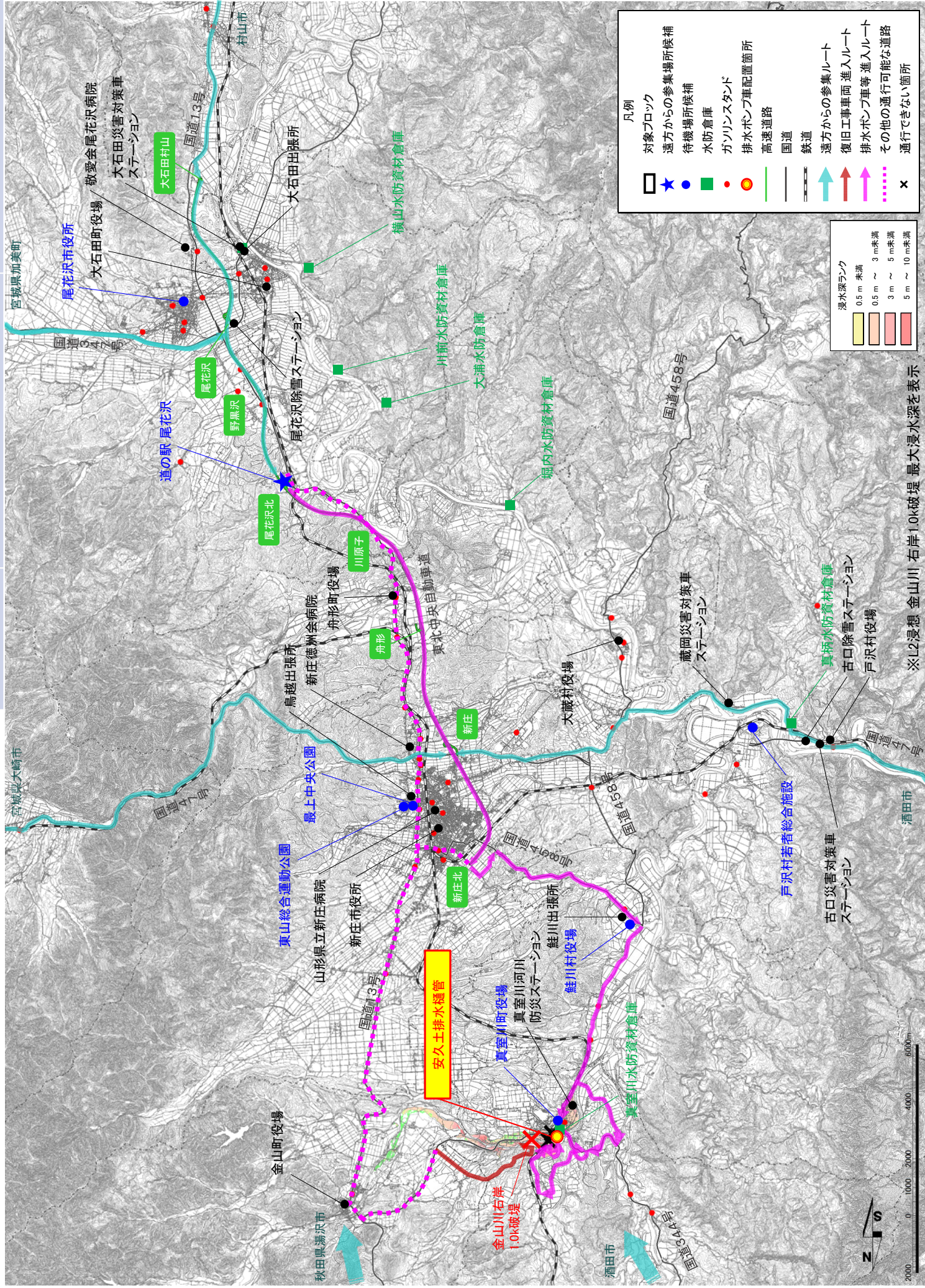
## ブロック⑬ 真室川町 安久土地区(KR-3)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

金山川 右岸1.0k

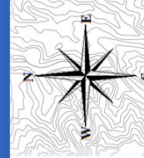
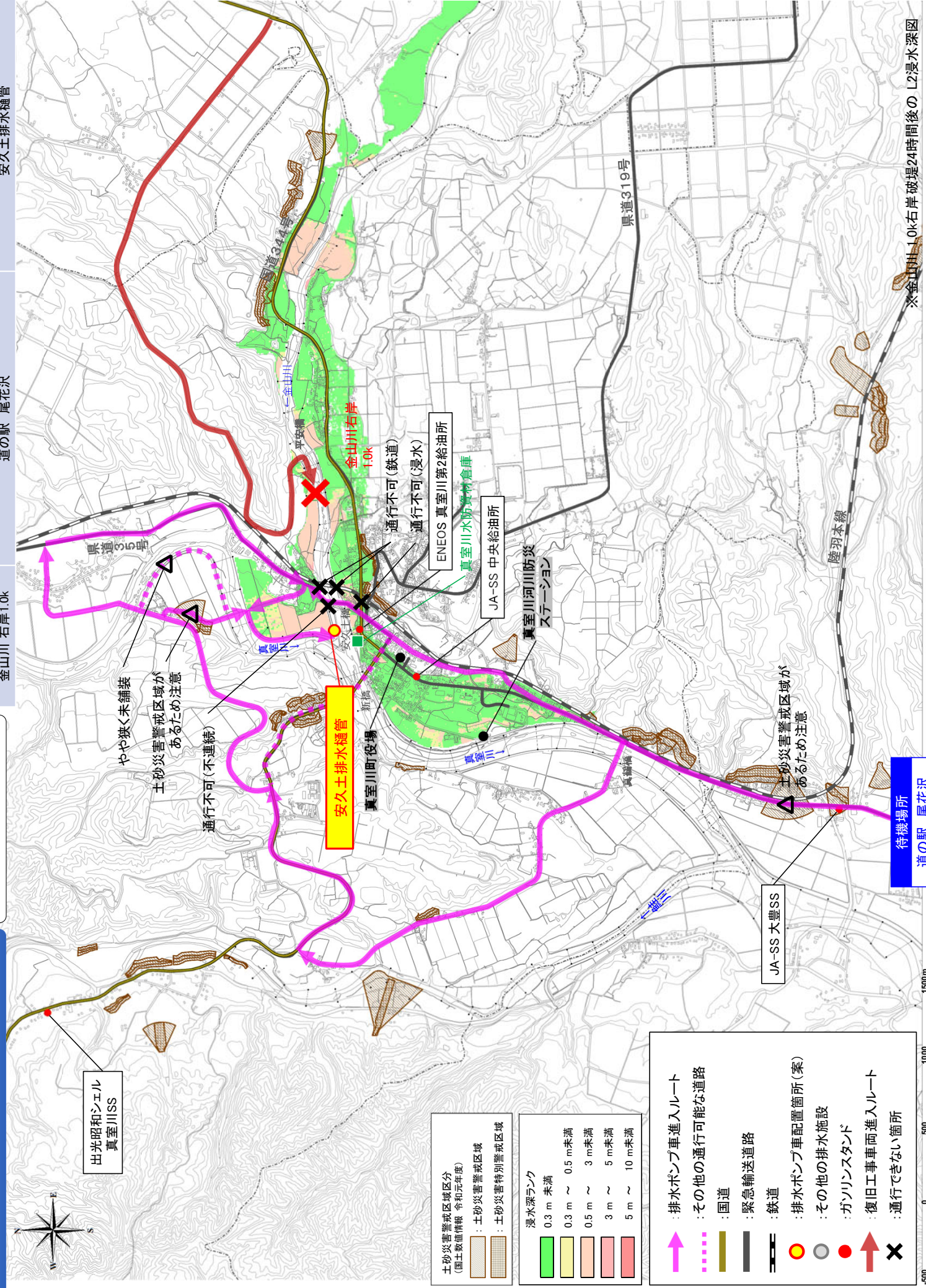
道の駅 尾花沢

安久土排水樋管



※L2浸想定 金山川 右岸1.0k破堤 最大浸水深を表示





出光昭和シェル  
真室川SS

やや狭く未舗装  
土砂災害警戒区域が  
あるため注意  
通行不可(不連続)

安久土排水涵管

真室川町役場

通行不可(鉄道)  
通行不可(浸水)

土砂災害警戒区域区分  
(国土数値情報 令和5年度)  
: 土砂災害警戒区域  
: 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク
0.3 m 未満
0.3 m ~ 0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

- 排水ポンプ車進入ルート
- その他の通行可能な道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 復旧工事車両進入ルート
- 通行できない箇所



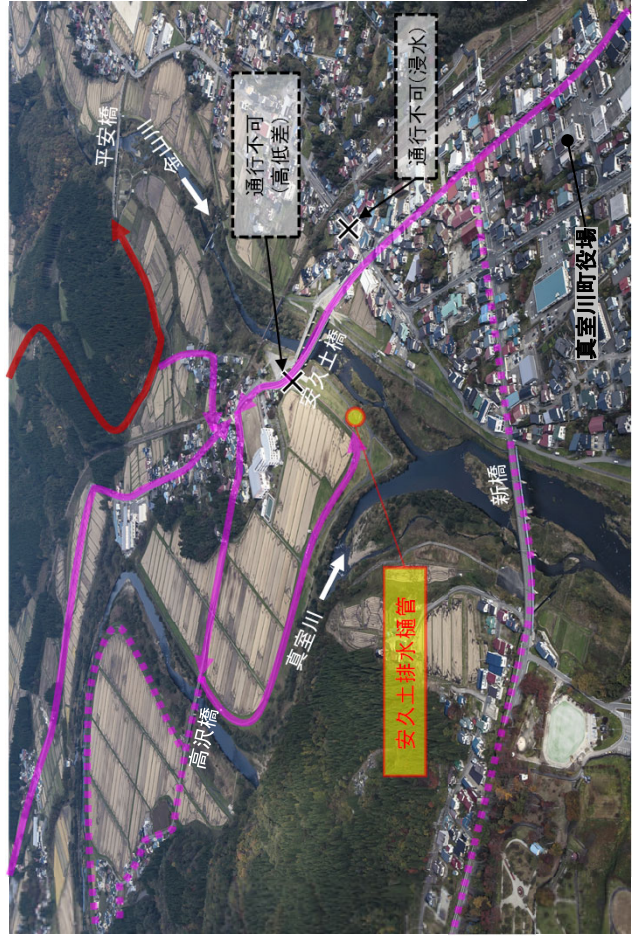
待機場所  
道の駅 尾花沢

※金山1.0k右岸破堤24時間後のL2浸水深図

破堤地点  
金山川 右岸1.0k

道の駅 尾花沢

安久土排水樋管



① 安久土橋(県道35号)幅員5m以上橋から右岸堤防へはアクセス不可



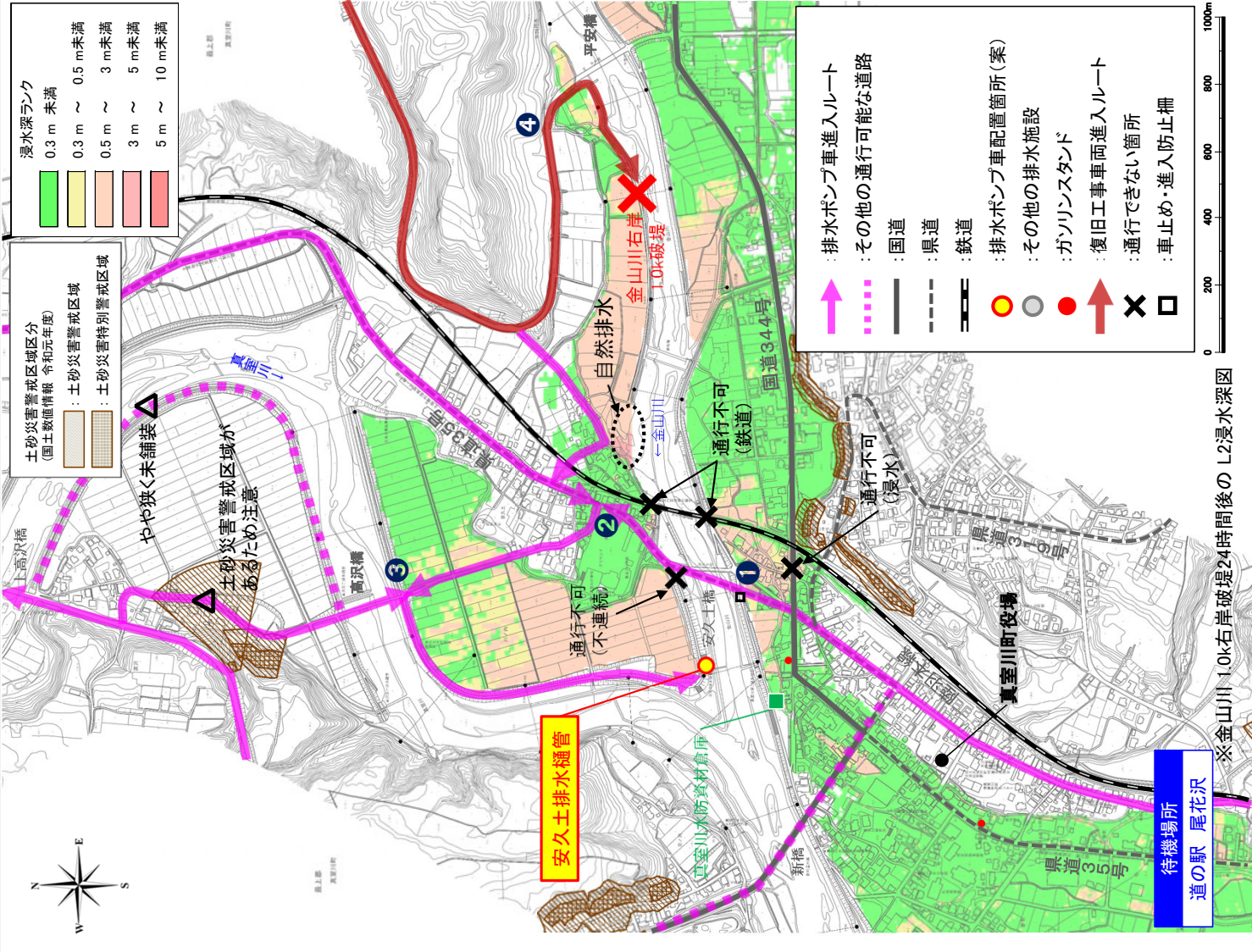
② 安久土排水樋管への進入路真室川小学校の丁字路を曲がる



③ 安久土排水樋管への進入路 天端幅3m程度



④ 破堤箇所への進入路 天端幅3m程度 堤防上は砂利道



浸水深ランク	浸水深
未満	0.3 m
0.5 m未満	0.3 m ~ 0.5 m
3 m未満	0.5 m ~ 3 m
5 m未満	3 m ~ 5 m
10 m未満	5 m ~ 10 m

土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域

やや狭く未舗装  
土砂災害警戒区域があるため注意

↑	排水ポンプ車進入ルート
⋯	その他の通行可能な道路
—	国道
- - -	県道
≡	鉄道
●	排水ポンプ車配置箇所(案)
○	その他の排水施設
●	ガソリンスタンド
↑	復旧工事車両進入ルート
×	通行できない箇所
□	車止め・進入防止柵

待機場所  
道の駅 尾花沢

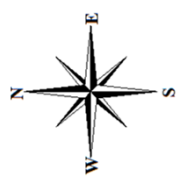
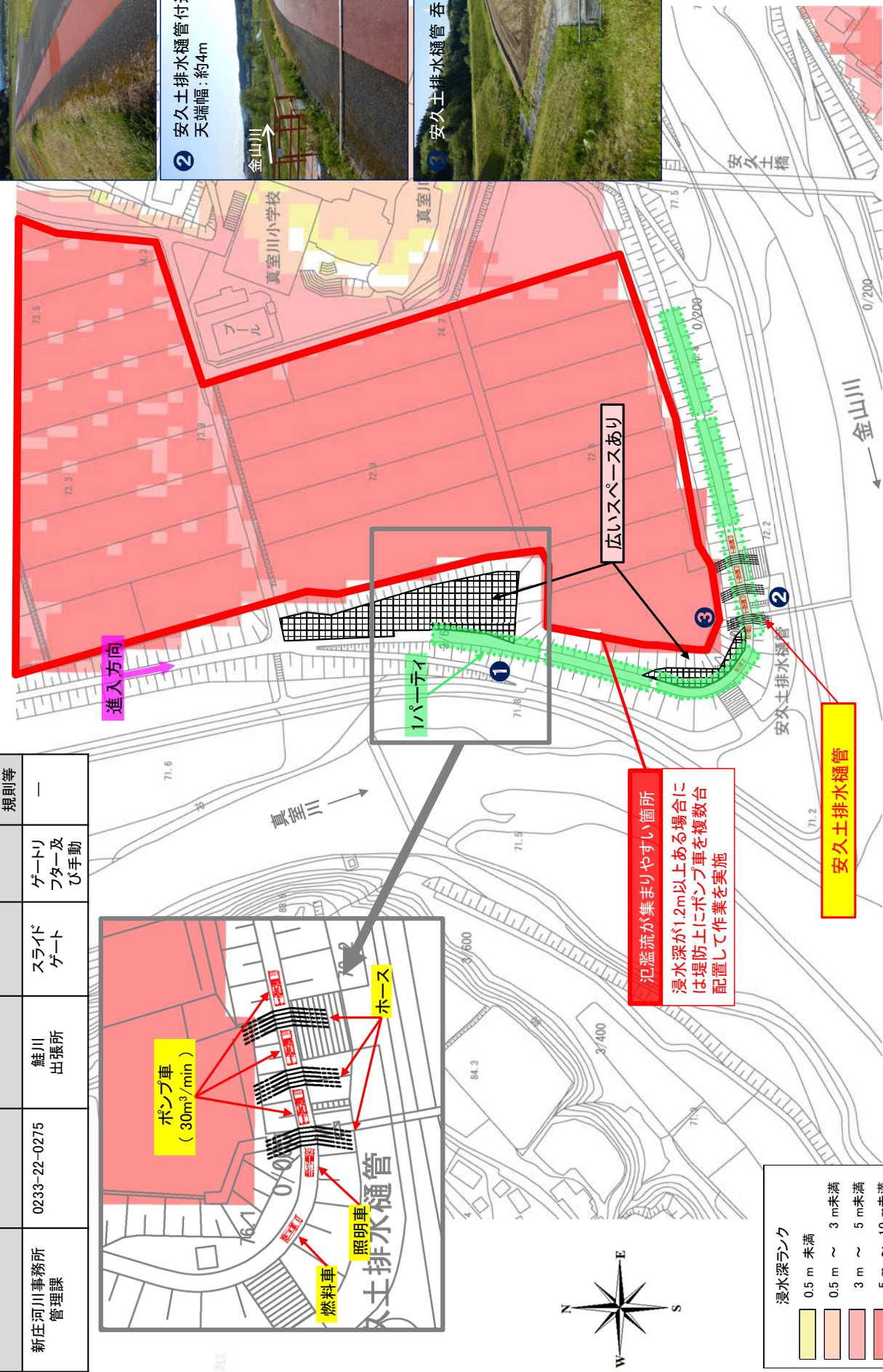
※金山川 1.0k右岸破堤24時間後の L2浸水深図

ブロック⑬ 真室川町 安久土地区 (KR-3) ③ 排水ポンプ車等の配置図 (1/1)

被災地点 金山川 右岸 1.0k  
 参集場所 道の駅 尾花沢  
 排水ポンプ車配置箇所 安久土排水樋管

排水ポンプ車配置箇所 安久土排水樋管	天端幅 約4m	排水元 安久土排水樋管 水路	排水先 真室川左岸1.4k付近	30m <sup>3</sup> /minポンプ車 ○ 配置可能	60m <sup>3</sup> /minポンプ車 ○ 配置可能(側帯にて)
-----------------------	------------	-------------------	--------------------	-------------------------------------	---

管理所管 新庄河川事務所 管理課	TEL 0233-22-0275	担当出張所 鯉川 出張所	門扉形式 スライド ゲート	動力 ゲートリ フター及 び手動	操作 規則等 —
------------------------	---------------------	--------------------	---------------------	---------------------------	----------------



浸水深ランク	
0.5 m 未満	3 m 未満
0.5 m ~	5 m 未満
3 m ~	5 m ~ 10 m 未満
5 m ~	

1パーティ目安

※L2浸想最大浸水深を表示

30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 18 台  
 (1パーティ 3台 × 6パーティ = 18台)



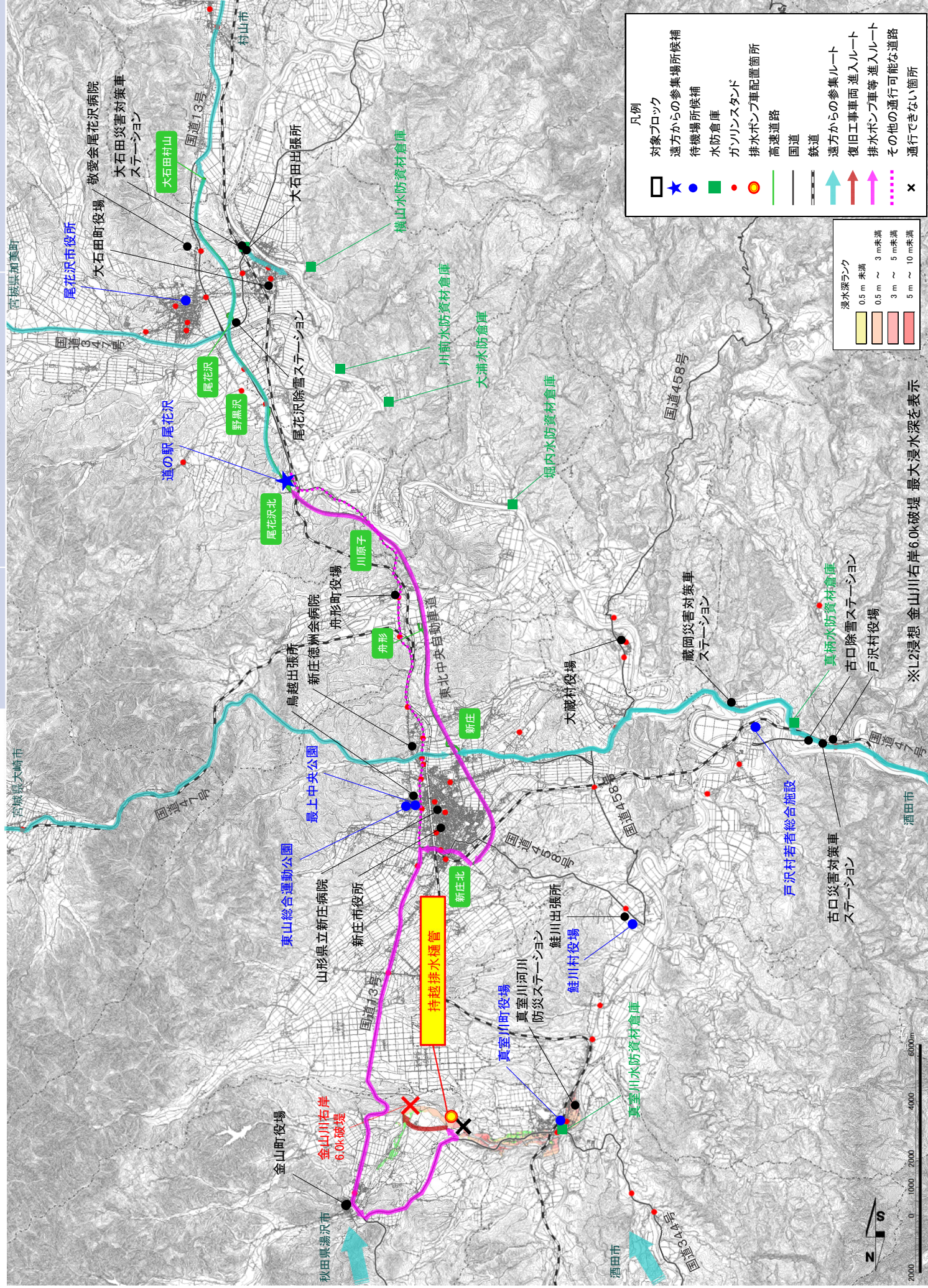
## ブロック⑭ 金山町 凝山地区(KR-1)

- ① 全体図 (待機場所、待機場所から排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ② 進入ルート図 (排水ポンプ車配置箇所への進入ルート)
- ③ 排水ポンプ車の配置図

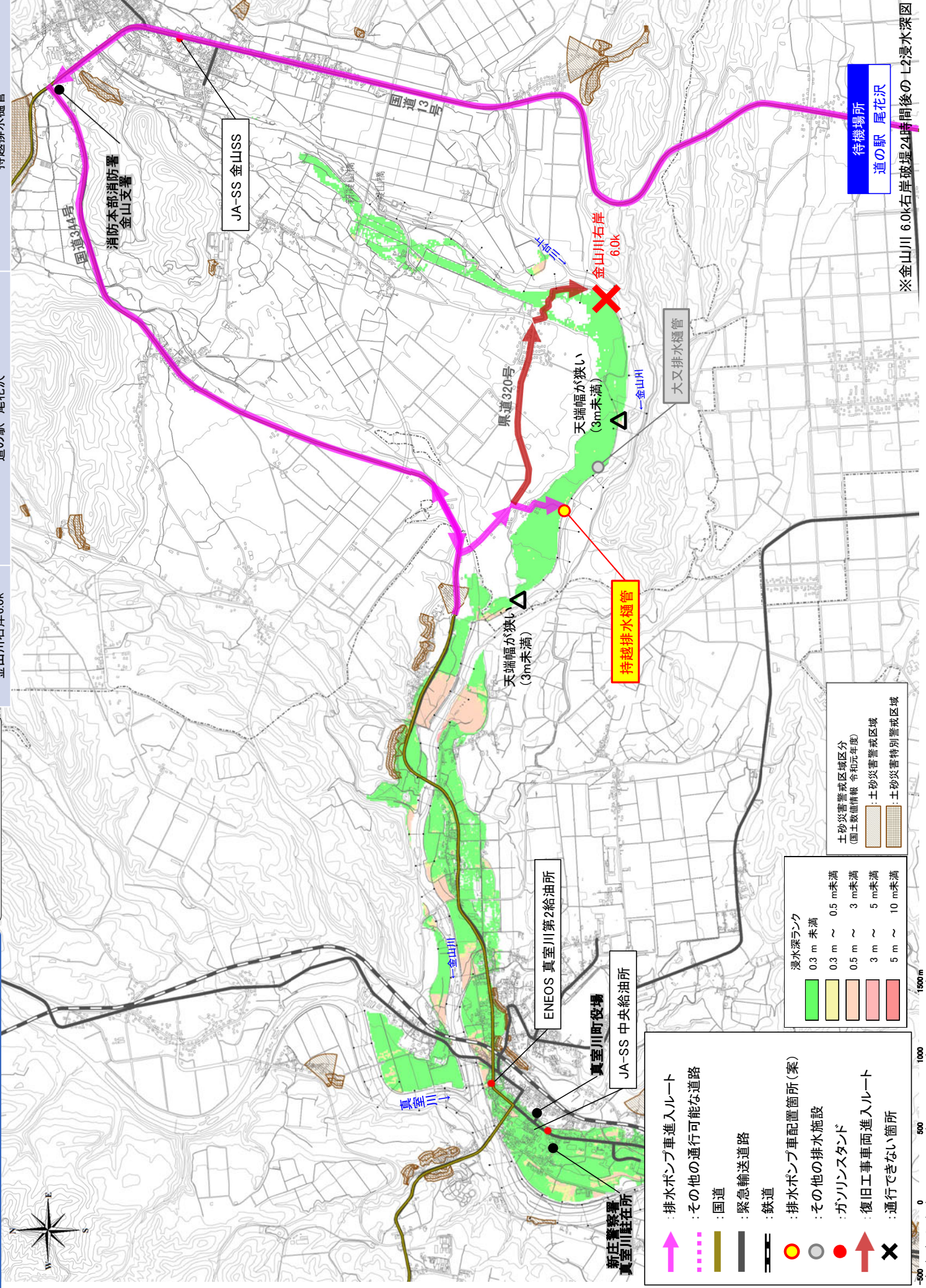
金山川右岸6.0k

道の駅 尾花沢

持越排水樋管



※L2浸想 金山川右岸6.0k破堤 最大浸水深を表示



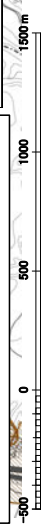
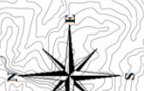
	排水ポンプ車進入ルート
	その他の通行可能な道路
	国道
	緊急輸送道路
	鉄道
	排水ポンプ車配置箇所(案)
	その他の排水施設
	ガソリンスタンド
	復旧工事車両進入ルート
	通行できない箇所

浸水深ランク	色
0.3 m 未満	緑
0.3 m ~ 0.5 m 未満	黄緑
0.5 m ~ 3 m 未満	黄
3 m ~ 5 m 未満	オレンジ
5 m ~ 10 m 未満	赤

土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和元年度)	色
土砂災害警戒区域	黄緑
土砂災害特別警戒区域	黄

待機場所  
道の駅 尾花沢

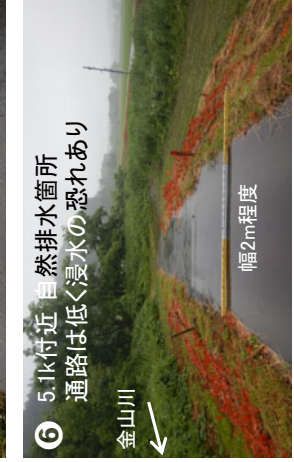
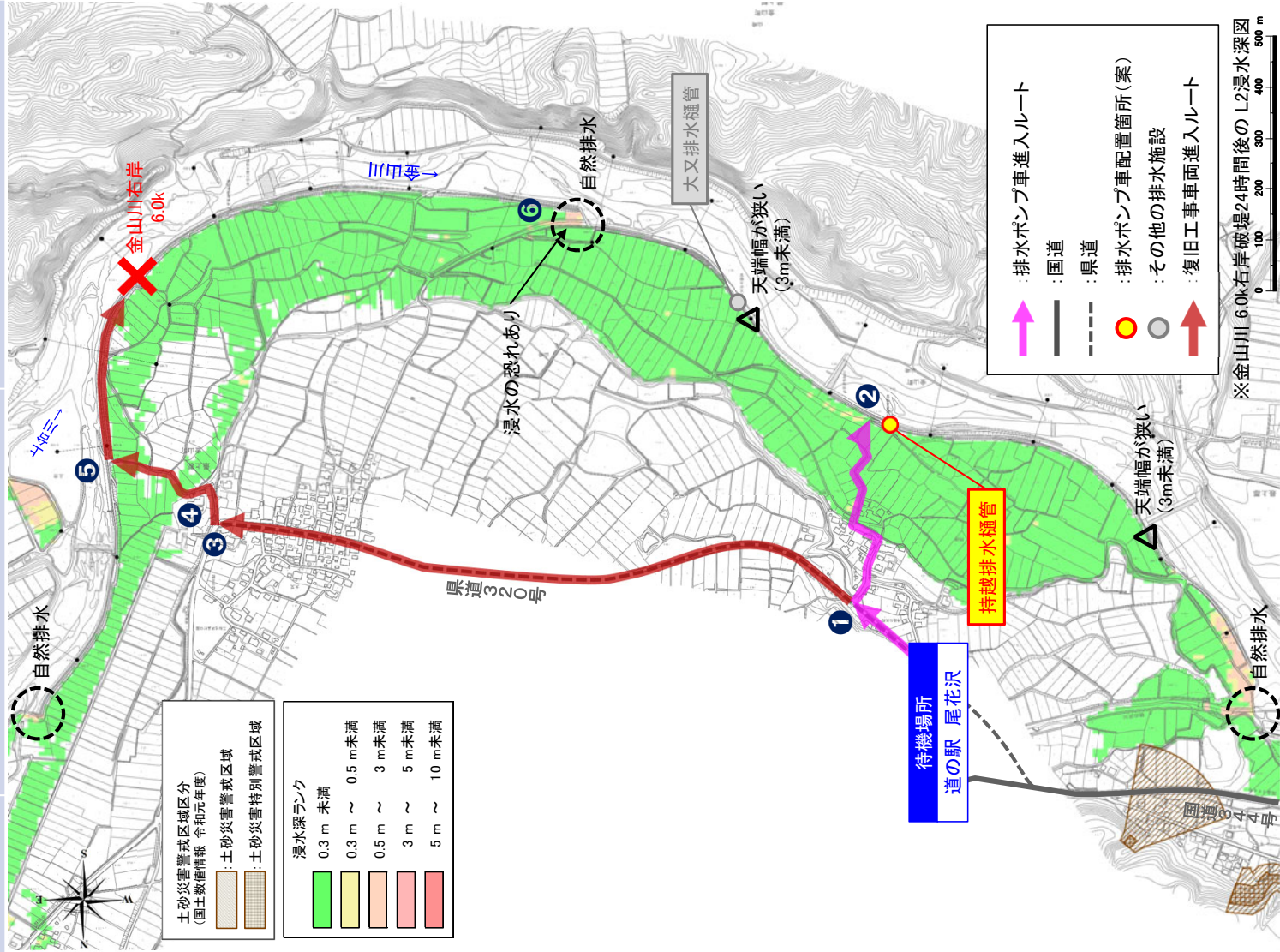
※金山川 6.0k右岸破堤24時間後のL2浸水深図



金山川右岸6.0k

道の駅 尾花沢

持越排水樋管



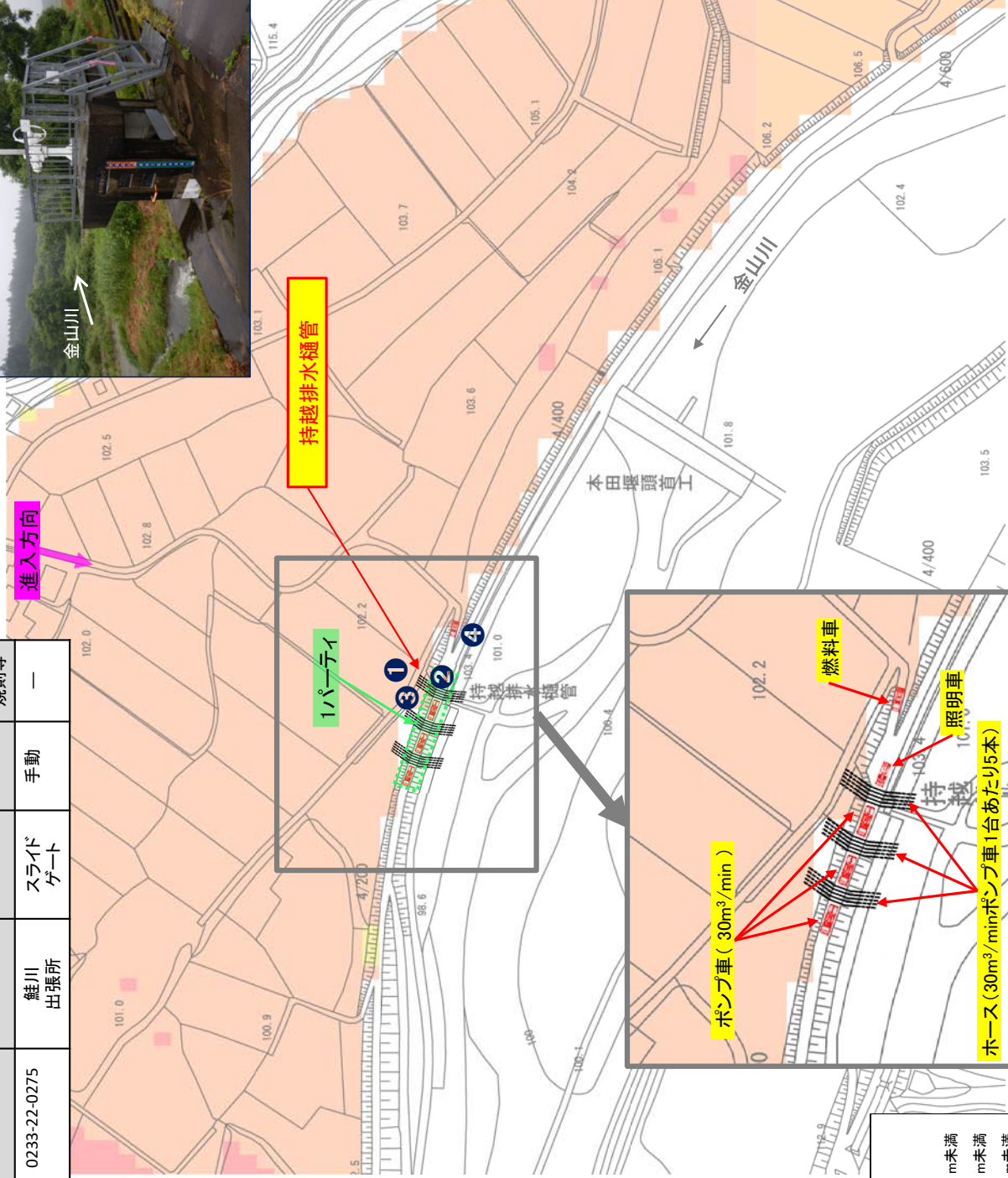
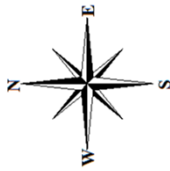
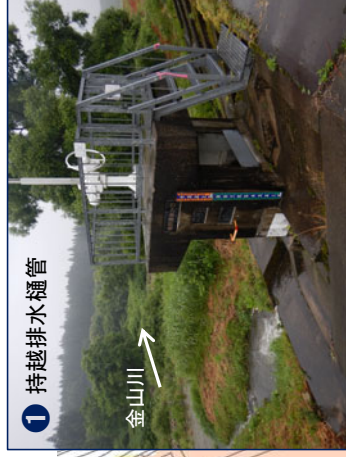
道 尾花沢

金山川右岸6.0k

持越排水樋管

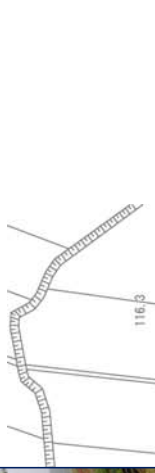
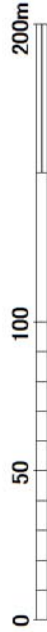
排水ポンプ車配置箇所	天端幅	排水元	排水先	30m <sup>3</sup> /minポンプ車	60m <sup>3</sup> /minポンプ車
持越排水樋管	約3m	今宿第三排水樋管 水路	金山川右岸4.31k付近	○ 配置可能	× 配置不可

管理所管	TEL	担当出張所	門扉形式	動力	操作規則等
新庄河川事務所 管理課	0233-22-0275	鯉川 出張所	スライド ゲート	手動	—



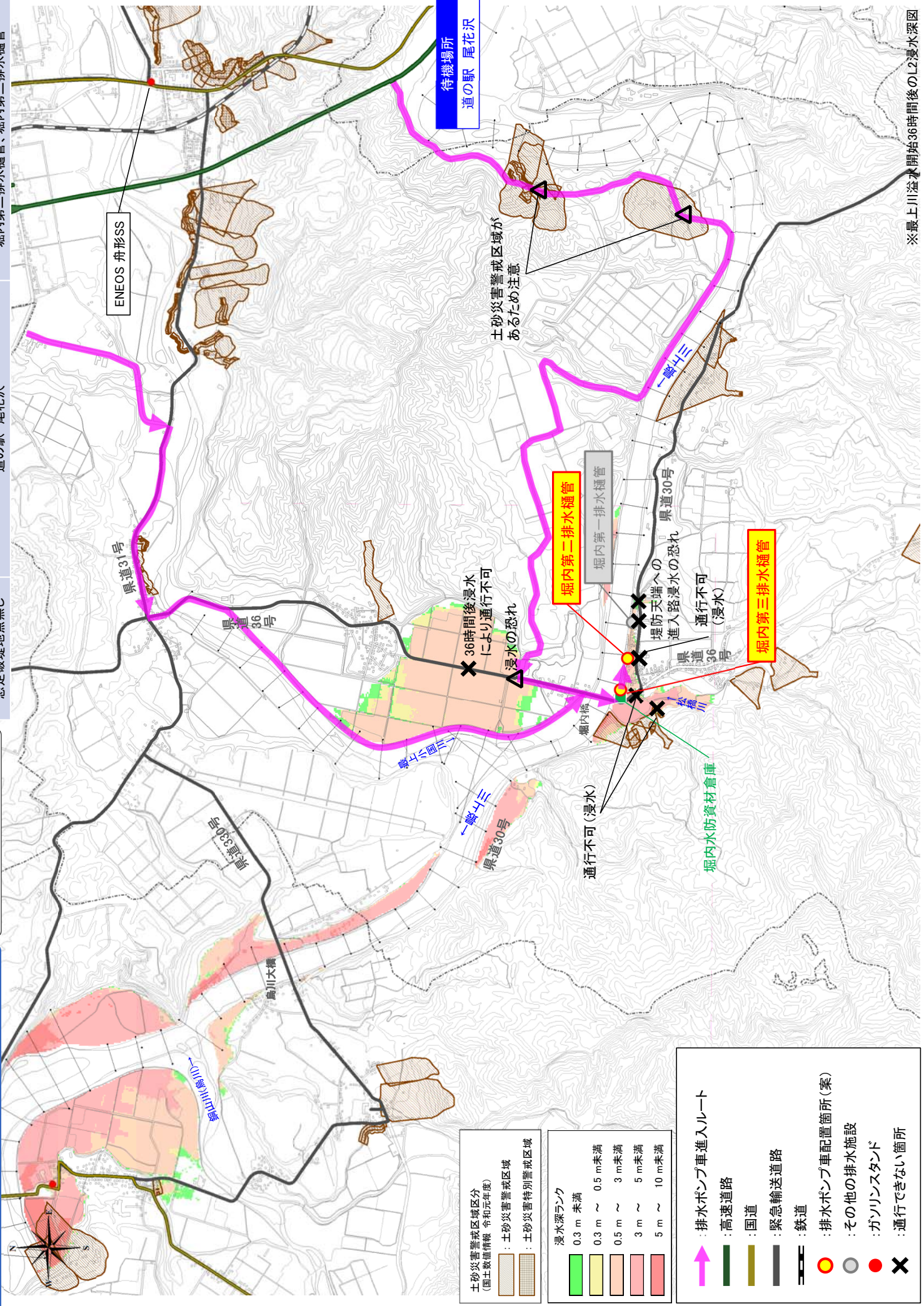
浸水深ランク	0.5 m 未満	0.5 m ~ 3 m 未満	3 m ~ 5 m 未満	5 m ~ 10 m 未満
--------	----------	----------------	--------------	---------------

1パーティ目安



30m<sup>3</sup>/min排水ポンプ車 配置可能台数: 約 3台  
(1パーティ3台 × 1パーティ = 3台)





土砂災害警戒区域区分 (国土数値情報 令和5年度)

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

浸水深ランク

0.3 m 未満
0.3 m ~ 0.5 m 未満
0.5 m ~ 3 m 未満
3 m ~ 5 m 未満
5 m ~ 10 m 未満

②進入ルート

- 排水ポンプ車進入ルート
- 高速道路
- 国道
- 緊急輸送道路
- 鉄道
- 排水ポンプ車配置箇所(案)
- その他の排水施設
- ガソリンスタンド
- 通行できない箇所

※最上川溢水開始36時間後のL2浸水深図



想定破堤地点無し

道の駅 尾花沢

堀内第二排水樋管、堀内第三排水樋管

